



ダイハツ純正

SDナビゲーション

SDナビゲーション

取扱書



保証書別添付

- この取扱書と添付の保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全のために」(P.4~7)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
その後大切に保管し、わからないとき再読してください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。

ダイハツ工業株式会社

主な特長

安心運転サポート機能

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。

高速道路の合流付近では

この先、左からの合流車両に注意してください。



ライト点灯が必要になったら

ライトの点灯を確認してください。



無償地図更新

新しい道路が開通した場合などに、お客様自身で本機に収録の地図を5年間無償で更新する事が出来ます。

●部分地図更新: 最大5年間可能

●全地図更新: 期間中2回可能

※パソコンでインターネットを利用できる環境が必要です。また、Web登録が必要な場合があります。(P.156)

本書の読みかた

●本書では、NSZN-W67Dを例に説明しています。

●機種ごとに仕様が異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。

NSZN-W67D / **NSZN-X67D**

●NSZN-X67Dは、Tantoを例に説明しています。

●タッチキーとナビゲーションユニットのボタンを、下記のように描き分けています。

例: 行き先設定 案内開始 : タッチキー

Ⓐ Ⓛ Ⓜ Ⓝ : ナビゲーションユニットのボタン

●本書では、**タイヤハヤシ**オプション品と、純正品以外のオプション品を、下記のように区分しています。

・別売: **タイヤハヤシ**オプション品

・市販: 純正品以外のオプション品

もくじ

安全のために 4

その他

P.148

はじめに

P.8

使用上のお願い	8
各部のなまえとはたらき	10
タッチパネルの操作について	13
ご使用になる前に	14
基本操作・準備(確認・調整)	15
取り付け・配線を確認する	19
初期設定をする	20
メニュー画面の操作	24
セキュリティ機能を設定する	27

ナビゲーション

P.30

地図の紹介	32
地図の見かた	36
ランチャーメニューで操作する	40
ルート・案内・地図・VICSをアレンジする (ナビチューン)	42
地図の操作	44
行き先までのルートを作るには	52
行き先を探す	54
ルートを探索する	58
ルート探索について	59
ルートを保存する	63
ルートを編集する	64
ルート案内中に	66
地点を登録する(登録地)	70
VICS情報を見る	74

オーディオ

P.79

オーディオの基本操作	80
テレビを見る	82
ラジオを聞く	89
交通情報を聞く	90
ディスクを再生する	91
BLUETOOTH Audioを再生する	97
SDメモリーカードに音楽CDを録音する	98
本機で録音した音楽データを再生する	100
本機で録音した音楽データを編集する	102
SDメモリーカード/USBメモリーを再生する	110
iPodを再生する	114
現在地画面にオーディオ映像を表示する	117
音質・音場を調整する(オーディオチューン)	118
映像を調整する	122

BLUETOOTH®

P.124

BLUETOOTH対応機器を本機に登録する	126
BLUETOOTH対応機器を手動で本機と接続する	128
BLUETOOTH対応機器の詳細情報を見る	130
本機の本体情報を確認する	131
ハンズフリーで通話する	132
Drive P@ssを利用する(スマートフォン連携)	136
ここに↗/NaviCon®(スマートフォン連携)	141
スマートフォンをリモコンとして使う (スマートフォン連携)	144
音声認識で目的地を検索する	145

安全上のご注意

はじめに

ナビゲーション

オーディオ

登録・接続

ハンズフリー

スマートフォン

音声認識

その他の機能

別売品

設定

困ったとき

必要なとき

DAIHATSU SDナビゲーション

このたびはDAIHATSU SDナビゲーションをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。

本書は紛失しないよう車の中に保管してください。なお、本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。

本機は、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をする場合があります。

案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがうとともに道路状況に即した運転を心がけてください。

規制標識の変更などにより目的地案内で表示されるルートは、車両進入禁止などのルートを案内する場合があります

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。



記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること。



記載事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあること。

お知らせ

快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

お願い

安全にご使用いただく上で守っていただきたいことを記載しています。

安全のために



●本機はDC12 V \ominus アース車専用です。

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24 V車で使用しないでください。火災の原因になります。

●本機の取り付け、取り外し、配線の変更はしないでください。

不適切な取り付けや配線の場合、故障や車両火災などの事故につながるおそれがあり危険です。

本機の取り付け、取り外しは安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

●必ず規定容量のヒューズをご使用ください。

規定容量を超えるヒューズを使用すると発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●SDメモリーカードは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。

誤って飲み込むと、窒息するおそれがあります。

万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



警告

●走行中の操作は危険ですので、停車して安全を確認の上、操作してください。

安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。操作は安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で行ってください。走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。なお、本機は安全のため、走行中一部の機能が使えなくなります。走行中は一部の細街路を消去します。

●運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

●実際の交通規制を守ってください。

本機の表示するデジタル地図は、道路の変更、通行止めなどは表示されません。また、ルート案内で表示されるルートは推奨ルートであり、災害、工事などでも道路状況が変わります。実際の交通規制を必ず守って運転してください。

●ドライブレコーダーにmicroSDHCメモリーカードを抜き差しするときは、ドライブレコーダー本体の温度を確認してください。

高温環境での放置（直射日光などが長時間あたっていた場合）や連続使用した場合などは、高温になりやけどをするおそれがあります。



注意

●モニター収納動作中、手などをはさまないように注意してください。

手などをはさんでケガをしたり、ディスプレイの故障の原因になります。また、エンジンを切るとモニターは自動で全閉状態になります。

●車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。

車外の音が聞こえにくくと、交通事故の原因になります。

●画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。

事故、火災、感電の原因になるおそれがあります。また、煙や異音がでたり、異臭がする場合には、すぐにオーディオ機能の電源をOFFにしてお買い上げの販売店にご相談ください。

●本機を分解したり、調整することは、絶対にさけてください。

本機内部は、精密な構造になっているので、万一不具合が生じた場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。故障の原因になります。

●バッテリー上がりにはご注意ください。

エンジンを停止させたまま、本機を長時間作動することは避けてください。バッテリー上がりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

⚠ 注意

●車内温度は上げすぎたり、下げすぎたりしないでください。

夏期は車内の温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。
冬期は車内の温度が低くなることがありますので、車内の温度を上げてからお使いください。
そのまま使用すると故障の原因になります。

●ラジオアンテナにモーターアンテナをご使用のときはアンテナを折らないように注意してください。

本機ではFM多重放送のVICS情報を常時受信するため、オーディオの電源をOFFにしてもモーターアンテナは下がらません。
モーターアンテナをご使用のときは、ナビゲーションの車種設定にてモーターアンテナ車に設定してください。(P.20)
モーターアンテナ車に設定するとオーディオ機能の電源をOFFにしたときにアンテナが下ります。
駐車場など天井の低い場所にはいる前は、必ずオーディオ機能の電源をOFFにしてアンテナが収納されたことを確認してください。
アンテナを下げるときに天井の低い場所にはいると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。

●AT車/CVT車の場合

- ディスクを取り出す際、Pレンジでモニターとシフトレバーが接近または干渉する場合は、指などを挟むおそれがありますので、Nレンジに切り替えてから操作してください。(コラムATの場合はPまたはNレンジで操作してください。)
- チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

●MT車の場合

- ディスクを取り出す際、1・3・5(R)ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。
- チルト位置を設定する際、1・3・5(R)ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。

●プログラム読み込みが終了するまで電源を切らないでください。

バッテリーとの接続が断たれた場合や、電圧が下がった場合には本機にダウンロードされているプログラムが消去されてしまいます。この場合には次回起動時の初期画面(オープニング画面)表示中に、再度プログラムのダウンロードが行われます。

プログラム読み込みが終了するまでしばらくそのままお待ちください。
プログラムの読み込み中に電源が断たれると、ナビが起動しなくなるなど思わぬ故障の原因になります。

●ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。

故障の原因になります。

お知らせ お願い

●現在地の表示について

本機をお買い上げ後、初めてご使用になる時や、長時間バッテリーを外しておいた場合などには、自車の現在地を正しく表示しないことがあります、しばらくするとGPSの測位によって表示位置を修正します。

●結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部のレンズが結露して正常に作動しないことがあります。
このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ正常に作動するようになります。
何時間たっても正常に戻らない場合は販売店にご相談ください。

●画面のムラについて

寒冷時にエンジンスイッチをONにしたあと、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。
しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。

●タッチパネルについて

本機の画面に市販の液晶保護フィルムを貼り付けると、タッチスイッチが反応しなくなる場合がありますので使用しないでください。

●本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動などにより記録されたデータが消失する場合があります。

ご購入後、お客様が本機に記録される情報内容やデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとったりバックアップをとるなどして保管してください。

●なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

①本機の故障、誤作動、または不具合などにより、あるいは本機が電気的なノイズの影響などを受けたことにより、お客様が本機に記録された情報内容やデータなどが変化・消失した場合。

②お客様または第三者者が本機の使用を誤ったことにより、お客様が本機に記録された情報内容やデータなどが変化・消失した場合。

③本機の故障・修理に際し、お客様が本機に記録された情報内容やデータなどが変化・消失した場合。

* なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

使用上のお願い

エンジンをかけてご使用ください

- エンジンを止めて、長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例等に従ってください。

携帯電話を使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、映像や音声などに不具合が生じることがあります。その場合は、本機からの距離などを変えてご使用ください。

液晶ディスプレイについて

- 先端が硬いもの(ボールペン、ピン、爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたたいたり、強く押さないでください。傷、破損、誤動作の原因となります。
- 表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。
- 車から離れるとき(本機を使用しないとき)は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをお使いください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。
- 市販の液晶保護シートを使用しないでください。視認性や操作性が損なわれる場合があります。
- 液晶ディスプレイの画素は、99.99%の精度で管理されていますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。
そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報(登録地の位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 番組表などの地上デジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合により、これらの情報が消失した場合、復元できません。また、その内容の補償はできません。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

大切な情報(登録地など)は、万一に備えてメモなどをとておくことをおすすめします。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は全く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

地図SDHCメモリーカードについて

- 本地図SDHCメモリーカードは、使用規定に基づき本機のみで使用する権利が許諾されています。他のナビゲーションに挿入されていた地図SDHCメモリーカードを本機に挿入して使用した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

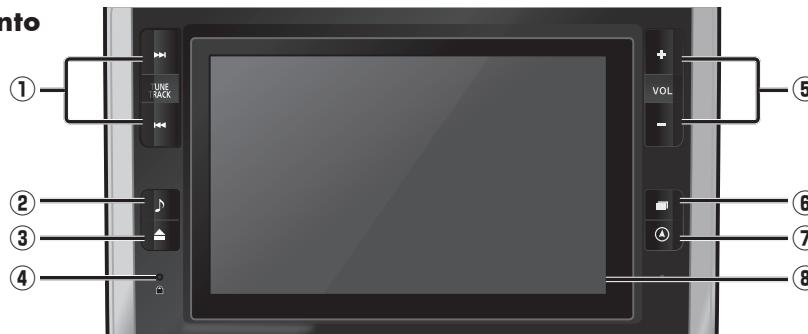
地上デジタル放送の受信について

- 受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面や黒画面となり音声が出なくなることがあります。
 - 家庭用に比べて受信エリアは狭くなり、また、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。
 - 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
 - 本機の仕様は、ARIB(電波産業会)規格に基づいています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
 - 本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できる新RMP方式*を採用しているため、B-CASカードを付属しておりません。
- * 新RMP方式とは、地上デジタル放送のコンテンツ権利保護専用方式です。
詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送RMP管理センター
<http://www.trmp.or.jp/>

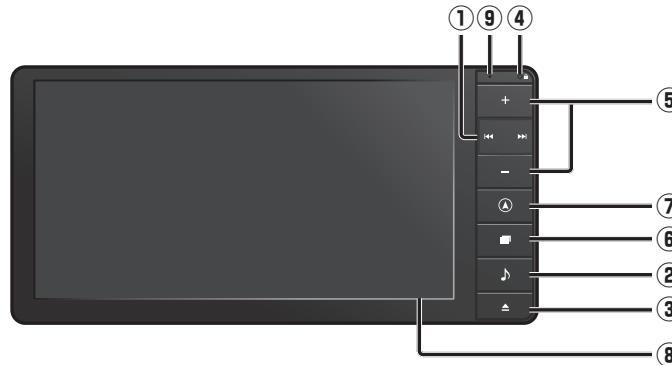
各部のなまえとはたらき

NSZN-X67D

例:Tanto



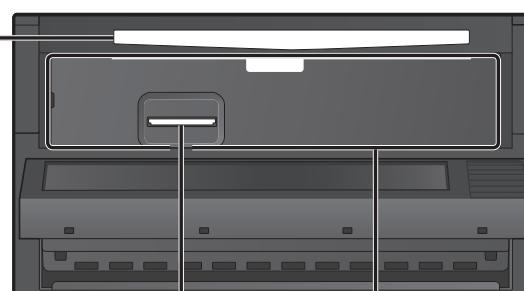
NSZN-W67D



<モニター開>

NSZN-W67Dを例に説明しています。

ディスク挿入口



SDメモリーカード挿入口

●付属のSDメモリーカード(P.110,204)を挿入する。

パネルを取り外すと、

地図SDHCメモリーカード挿入口(P.157)があります。

①	◀◀ ▶▶ (チューン/トラック)	DVD CD MEMORY MUSIC USB SD BLUETOOTH Audio iPod	●頭出し ●早送り・早戻し(押し続ける)
		FM AM	●選局する ●シーク選局(1秒以上押す)
		TV	●選局する ●連続選局(押し続ける)
②	♪ (オーディオ)		●オーディオ画面に切換 ●オーディオメニューを表示 ●オーディオOFF/ON(2秒以上押す)
③	△ (チルト/イジェクト)		●チルト/イジェクト画面の表示/消去 ●モニターを閉じる
④	セキュリティインジケータ		●セキュリティ機能の設定をすると、お車を離れた際に点滅し、盗難を抑止します。
⑤	ボリューム VOL		●音量を調整
⑥	■ (メニュー)	DVD	●ツートップメニューを表示 ●画質調整画面を表示(2秒以上押す) ●タッチキーを表示 (タッチキーを表示していないときに押す) ●ツートップメニューを表示 (タッチキー表示中に押す)
⑦	▲ (現在地)	NSZN-X67D	●自車位置(現在地)を表示 ●音声認識を開始(2秒以上押す)
⑧	タッチパネル		●タッチ操作時に使用
⑨	マイク MIC NSZN-W67D		●ハンズフリー通話時に使用

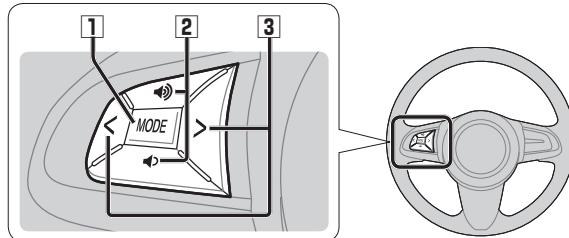
お知らせ

- NSZN-X67D には、マイクが内蔵されておらず、車室内に外付けで設置されています。
マイクは、ハンズフリー通話と音声認識に使用します。



ステアリングスイッチの設定について

純正ステアリングスイッチを装備している場合、お買い上げ時に、下記のオーディオ操作がステアリングスイッチに設定されております。



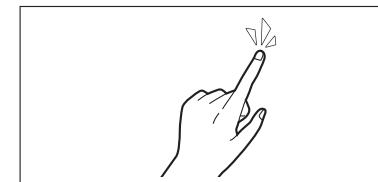
1 MODE	<ul style="list-style-type: none"> ● 押すごとにオーディオが切り換わる <ul style="list-style-type: none"> *1 *2 MEMORY MUSIC ← BLUETOOTH Audio *7 *3 DVD・CD ↑ *6 iPod ↑ USB FM ↑ *1 SD ↑ *5 AM ↑ HDMI ↑ *4 *5 TV → Drive P@ss <p>* 1 SDメモリーカード挿入時のみ * 2 本機で録音した音楽データの再生 * 3 ディスク(CD・MP3/WMA・DVD)挿入時のみ * 4 Drive P@ss接続時のみ * 5 後席モニターには出力できません。 * 6 USBメモリーまたはiPod接続時のみ(同時に接続できません。) * 7 BLUETOOTH Audio機器接続時のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一時的に消音する(2秒以上押す) *8 <p>NSZN-X67D</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音声認識を開始(2秒以上押す) *8 * 8 音声認識設定(P.147)で機能が切り換わります。(NSZN-W67Dには音声認識機能はありません) 																														
2 ボリューム アップ (VOL UP) ボリューム ダウン (VOL DOWN)	<ul style="list-style-type: none"> ●音量を調整 																														
3 > (TRACK UP) トラック アップ < (TRACK DOWN) トラック ダウン	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>DVD</td> <td>CD</td> <td>MEMORY MUSIC</td> <td>USB</td> <td>●頭出し</td> </tr> <tr> <td>(SD)</td> <td>BLUETOOTH Audio</td> <td>iPod</td> <td></td> <td>●早送り・早戻し(押し続ける)</td> </tr> <tr> <td>FM</td> <td>AM</td> <td></td> <td></td> <td>●選局する</td> </tr> <tr> <td>TV</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●シーク選局(1秒以上押す)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●選局する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●連続選局(押し続ける)</td> </tr> </tbody> </table>	DVD	CD	MEMORY MUSIC	USB	●頭出し	(SD)	BLUETOOTH Audio	iPod		●早送り・早戻し(押し続ける)	FM	AM			●選局する	TV				●シーク選局(1秒以上押す)					●選局する					●連続選局(押し続ける)
DVD	CD	MEMORY MUSIC	USB	●頭出し																											
(SD)	BLUETOOTH Audio	iPod		●早送り・早戻し(押し続ける)																											
FM	AM			●選局する																											
TV				●シーク選局(1秒以上押す)																											
				●選局する																											
				●連続選局(押し続ける)																											

お知らせ

- イラストは機能説明用です。
ハンドルやステアリングスイッチの形状、表示、操作可能な機能は、車両・形式・グレードなどにより、異なる場合があります。

タッチパネルの操作について

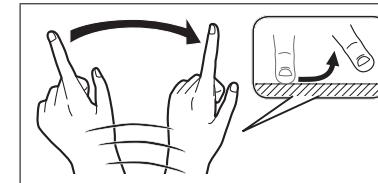
本機のタッチパネルの操作のしかたは、下記のとおりです。



■タッチ

指で画面に軽く触れる。

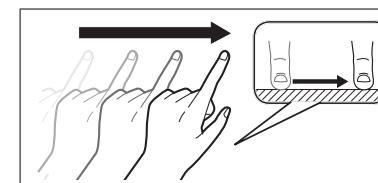
- 本書で「○○を選ぶ」と記載している場合は、タッチで項目を選んでください。
- 本書で「1秒以上タッチする」「タッチし続ける」と記載している場合は、長くタッチしてください。



■フリック

指で画面をはらう。

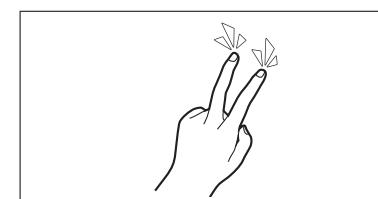
- メニュー画面をフリックした方向に切り換える。
- リストの項目をフリックした方向に移動させる。
- 地図画面をフリックした方向にスクロールする。



■ドラッグ

指で画面をタッチしたまま、なぞる。

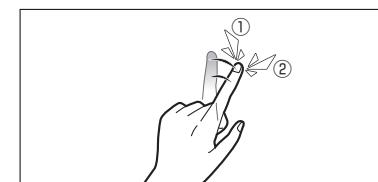
- メニュー画面をドラッグした方向に切り換える。
- リストの項目をドラッグした方向に移動させる。
- 地図画面をドラッグした方向にスクロールする。



■2点タッチ(同時に2カ所をタッチ)

同時に2カ所をタッチする。

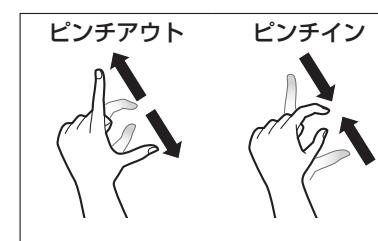
- 地図の縮尺を「広域」に切り換える。



■ダブルタップ(連続して2回タッチ)

同じ場所を連続して2回タッチする。

- 地図の縮尺を「詳細」に切り換える。



■ピンチ

2本の指で、間隔を広げる/狭めるようになぞる。

- ピンチアウト(広げる)
地図の縮尺を「詳細」に切り換える。
・指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。
- ピンチイン(狭める)
地図の縮尺を「広域」に切り換える。

ご使用になる前に

NSZN-X67D

- はじめに車種を選択してから、利用開始を行ってください。
- 通常は、この操作は必要ありません。販売店が行う設定です。

NSZN-W67D

- 利用開始のみ行ってください。(車種選択は不要です)

車種を選択する NSZN-X67D

本機を車両に取り付けた後、初めて本機を起動したときは、利用開始確認画面（車種選択）が表示されます。

車種選択を選び、本機を取り付けた車種名を選択してください。

- 本機の設定（スピーカー設定・音の匠・オープニング画面など）が、選択した車種に合わせた内容に設定・調整されます。

- 設定のしかたについて、詳しくは、お買い上げの販売店にご確認ください。
- 車種選択が完了したら、いったん車のエンジンを止め、再度エンジンをかけて（ACC ON）本機を再起動してください。

- 本機を再起動すると、利用開始確認画面が表示されます。
引き続き利用開始の作業を行ってください。（下記）

お知らせ

- 誤った車種を選択した場合は、お買い上げの販売店に再設定をご依頼ください。

利用開始をする

- 利用開始日は、無料地図更新サービスの有効期限を算出するのに使用します。（P.156）
- GPSを受信しないと、**利用開始**を選べません。

NSZN-X67D

- 車種選択（上記）を行わないと、利用開始できません。

1 車のエンジンをかける（ACCをONにする）

- 本機の電源が入り、利用開始確認画面が表示されます。

2 見晴らしの良い場所に車両を移動し、GPS衛星からの信号を受信させる

- 受信すると、**利用開始**を選べるようになります。

3 利用開始を選ぶ



4 はいを選ぶ

5 OKを選ぶ

- 利用開始日が設定され、本機の利用を開始します。

基本操作・準備（確認・調整）

電源を入れる

1 車のエンジンをかける (ACCをONにする)

- 本機の電源が入ります。
- セキュリティコード入力画面が表示されたら→P.28

2 警告画面の注意事項を確認する

- 警告画面が表示された後、現在地画面（自車位置）が表示されます。
- オーディオ画面が表示されたときは、□④を押すとナビゲーション画面（現在地）に切り換わります。
- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETCカードの状態などをお知らせします。
- BLUETOOTH対応機器を本機に接続しているときは、本機の電源を入れるとBLUETOOTH対応機器との接続確認のメッセージが表示される場合があります。
- メンテナンス情報の設定をすると、本機の電源を入れたときに、メンテナンス情報の案内画面が設定された条件で表示されます。（P.154）

お知らせ

- 起動時に、エコドライブをすすめる音声案内が出力される場合があります。（P.68「エコ運転アドバイス」）

電源を切るには

車のエンジンを止める (ACCをOFFにする)

- 本機の電源が切れます。
- ETC2.0車載器を接続している場合は、カード抜き忘れ案内をお知らせします。（P.160）
- iPodを接続している場合は、iPod抜き忘れ案内をお知らせします。（P.29）
- 盗難多発地点でエンジンを止めた場合は、盗難多発地点音声案内と表示案内をお知らせします。（P.29）

自車位置を確認する

本機を起動したときに、自車位置と異なる地図が表示される場合がありますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自車位置付近の地図（現在地画面）が表示されます。

見晴らしの良い場所で下記の操作を行ってください。

1 GPSを受信していることを確認する



2 見晴らしの良い道路を、そのまましばらく走行する（60分以上）

- 地図画面上の自車マークの位置と実際の自車位置との誤差が補正されます。

お知らせ

- しばらくたっても自車位置が表示されないときは、GPS情報を（P.16）から受信状態を確認してください。

基本操作・準備(確認・調整)

GPS情報を確認する

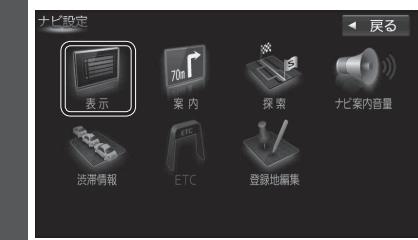
- 1 ツートップメニュー(P.24)から情報・設定を選ぶ
- 2 情報・設定メニュー(P.24)から情報を選ぶ
- 3 情報メニュー(P.24)からGPS情報を選ぶ
- 4 GPS情報を確認する



- 緯度: 現在位置の緯度を表示
- 経度: 現在位置の経度を表示
- 捕捉数: 測位に使用している衛星の数を表示
- 年月日: 現在の日付を表示
- 現在時刻: 現在時刻を表示

自車位置を変更する

- 通常は、この操作は必要ありません。
- 1 ツートップメニュー(P.24)から情報・設定を選ぶ
 - 2 情報・設定メニュー(P.24)からナビ設定を選ぶ
 - 3 ナビ設定画面から表示を選ぶ



- 4 自車位置の修正するを選ぶ
- 5 位置を調整し、セットを選ぶ



- 6 で自車マークを進行方向に合わせ、セットを選ぶ

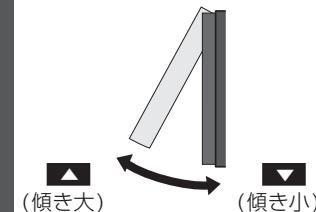


モニターの角度を調整する(TILT)

- 1 ▲を押す
- 2 角度を調整する



- ▲: 傾きが大きくなる
- ▼: 傾きが小さくなる



- 3 ▲を押す

お願い

- 周辺に物を置くなど、動きを妨げないでください。
- 手で動かすなど、無理な力を加えないでください。
- 可動部周辺に異物が挟まらないようにしてください。

お知らせ

- エンジンを切ると、全閉状態になります。
- 次回エンジンをかけたとき、今回調整した角度まで開きます。
- より見やすくするには、画面の明るさを調整してください。(P.122)

画面を一時的に消す

- 1 情報・設定メニュー(P.24)から画面OFFを選ぶ
- 2 画面を再度表示するには□△のいずれかを押すか、画面をタッチする

基本操作・準備(確認・調整)

音量を調整する

ナビゲーションの音量を調整する

1 情報・設定メニュー(P.24)から
ナビ設定を選ぶ

2 ナビ設定画面(P.16)から
ナビ案内音量を選ぶ

3 ナビの音量を調整する



- - / + : 音量を調整する(15段階)
[お買い上げ時の設定: 5]
- 消音 : 音声案内なし

お知らせ

- 音声案内の詳細な項目(出力するスピーカー、高速走行時の音量など)を設定するには
→ P.182
- ナビゲーションの音声案内中は、音量ボタンでナビゲーションの案内音量を調整できます。
- 音声案内および操作音は、リアスピーカーからは出力されません。

オーディオの音量を調整する

VOL(+/-)を押して、 音量を調整する(64段階)

- + : 音量大
- - : 音量小

お知らせ

- 音量は、オーディオごとに記憶されます。

オーディオの音量を一時的に消音するには(ミュート)

準備

- ランチャーメニューに「消音」タッチキーを表示させてください。(P.40)

1 現在地画面で「LAUNCHER」を選ぶ



2 ランチャーメニュー(P.40)から
「消音」を選ぶ



お知らせ

- ステアリングスイッチの「MODE」を2秒以上押しても、ミュートできます。

NSZN-X67D

音声認識設定(P.147)が「しない」に設定されている場合に、ステアリングスイッチからミュートできます。

取り付け・配線を確認する

車両信号情報を確認する

1 情報メニュー(P.24)から
車両信号情報を選ぶ

2 車両信号情報を確認する(右記)



センサー学習値初期化

学習レベルを初期化します。
初期化後は、車のエンジンを止め(ACC OFF)、約10秒以上過ぎてから再度電源を入れてください。

項目	確認内容
走行状態 (パーキング ブレーキ)	パーキングブレーキ ^{*1} を引くと、「停車」に、解除すると「走行」に変わりますか?
リバース	シフトレバーをリバース(R)に入れると「ON」、解除すると「OFF」に変わりますか?
スマート ランプ	車のスマートランプを点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わりますか?
車速パルス	走行後、数字が変化していますか?
+B電圧	バッテリーの電圧が表示されます。 12 V(11 V～16 V)になっていますか?
学習レベル	走行後、数字が変化していますか? <ul style="list-style-type: none"> ● 距離: Level 1～Level 5 ● 回転: Level 1-1～Level 5-5 ● 3D: Level 1～Level 5

* 1本書では、「パーキングブレーキ」「サイドブレーキ」「フットブレーキ」「ハンドブレーキ」などのことを、「パーキングブレーキ」と呼称して、表記しています。

お知らせ

- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
 - ・渋滞・停車を頻繁に繰り返す
 - ・右左折が多い
 - ・右左折が極端に少ない
 - ・GPS信号を受信しにくい
- 次の場合にも「センサー学習値初期化」をしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・タイヤを交換した
 - ・タイヤをローテーションした
- 本機は普段使用する道を学習しており、ルート設定では学習した道を優先的に探索するため、他の効率の良い道が見つかっても、ルート設定に反映されない場合があります。そのときは「ルート学習結果の初期化」(P.184)をして、学習しなおすことをおすすめします。
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 車種によっては、速度を上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

拡張ユニット情報を確認する

1 情報メニュー(P.24)から
拡張ユニット情報を選ぶ

2 拡張ユニット情報を確認する(右記)



項目	確認内容
iPod ^{*2}	iPodを接続している場合、ON表示になっていますか?
USB ^{*2}	市販のUSBメモリーを接続している場合、ON表示になっていますか?
ETCユニット ^{*3}	別売のETC車載器を接続している場合、ON表示になっていますか?
ETC2.0ユニット ^{*3}	別売のETC2.0車載器を接続している場合、ON表示になっていますか?
ドライブレコーダー	別売のドライブレコーダーを接続している場合、ON表示になっていますか?

* 2同時に接続できません。
* 3同時に接続できません。

初期設定をする

車種を設定する

車種を設定すると、有料道路の料金計算に利用されます。

NSZN-X67D

- 通常は、この操作は必要ありません。販売店が行う設定です。

NSZN-W67D

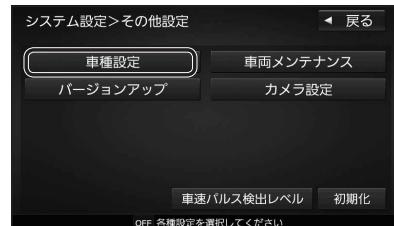
- 本機を取り付けた車種に応じて、下記の設定を行ってください。

1 情報・設定メニュー(P.24)から、**システム設定**を選ぶ

2 システム設定画面から **その他設定**を選ぶ



3 車種設定を選ぶ



4 車種を選ぶ

- 軽自動車 [お買い上げ時の設定]
- 普通車両
- 大型車両
- モーターアンテナ車**

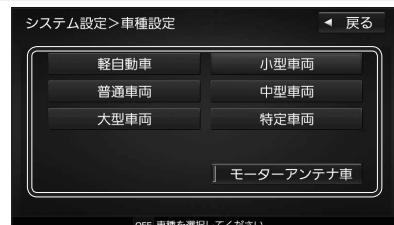
選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。
[お買い上げ時の設定 : OFF]

■モーターアンテナ車の場合^{＊1}

ONに設定する。(インジケータ点灯)
● オーディオのON/OFFに連動して、アンテナが伸縮します。

■モーターアンテナ車以外の場合

OFFに設定する。(インジケータ消灯)



* 1 モーターアンテナ車の留意点

- オーディオをOFFにするとアンテナが収納されるため、FM-VICS情報が受信できなくなります。
- モーターアンテナ車の設定をOFFにすると、アンテナが伸びたままになりますので、立体駐車場など天井の低い場所に入るときはご注意ください。

車種に応じてオープニング画面を設定する NSZN-X67D

下記サイトからオープニング画像をダウンロードして、変更することができます。

<http://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>

準備

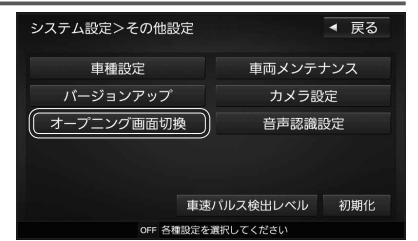
- 下载したオープニング画像(ファイル名: Opening.opn)が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入してください。(P.110)

1 情報・設定メニュー(P.24)から、**システム設定**を選ぶ

2 システム設定画面から **その他設定**を選ぶ



3 オープニング画面切換を選ぶ



4 はいを選ぶ

- オープニング画像が本機に保存されます。

5 オープニング画面の保存が完了したら、車のエンジンを切り(ACC OFF)、約10秒間放置してから、再度車のエンジンをかける(ACC ON)

- 本機が再起動し、ダウンロードしたオープニング画面が表示されます。

お願い

- オープニング画像のファイル名は、変更しないでください。
- オープニング画像ファイルは、バックアップとして保管してください。

お知らせ

- 「出荷状態に戻す」(P.184)の操作を行うと、設定したオープニング画面もお買い上げ時の状態に戻ります。

初期設定をする

自宅を登録する

目的地メニューから登録する

1 自宅が登録されていない状態で、目的地メニュー(P.25)から**自宅**を選ぶ

2 **はい**を選ぶ

自宅の場所を検索する

●検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(→P.54~57)

4 自宅に設定するを選ぶ

●カーソルの地点が、自宅として登録されます。
●引き続き、自宅へのルートを探索できます。
●自宅に出入り口の情報がある場合は、メッセージが表示されます。**はい**を選ぶと、出入り口の位置が自宅として登録されます。

自宅を編集するには

1 ナビ設定画面(P.16)から**登録地編集**を選ぶ

2 **自宅編集**を選ぶ

●自宅の登録地詳細画面が表示されます。

3 自宅の登録地詳細画面から 自宅を編集する



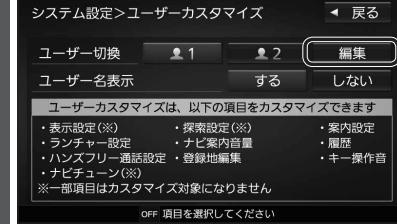
●編集のしかたは、「登録地を編集する」と同じです。(→P.72~73)

ユーザー名を設定する

1 システム設定画面(P.20)から**ユーザーカスタマイズ**を選ぶ

●現在地画面でユーザーカスタマイズタッチキー(P.36)を選んでも、ユーザーカスタマイズ画面を表示します。

2 ユーザーカスタマイズ画面から**編集**を選ぶ



●ユーザー切換
[お買い上げ時の設定: ユーザー 1]

●ユーザー名表示
[お買い上げ時の設定: する]

3 ユーザー名を入力し、**決定**を選ぶ

●全角4文字(半角8文字)まで
●文字入力のしかた→P.200

ユーザーを切り換える

ユーザーカスタマイズ画面(左記)から**▲1 / ▲2**を選び、**はい**を選ぶ

●選んだユーザーに切り換わります。
●ユーザー名表示するに設定すると、地図画面にユーザーカスタマイズタッチキーが表示されます。(P.36)
●ユーザーごとに、下記の項目を記憶させることができます。

- ・表示設定(昼夜切換は記憶されません)
- ・探索設定(到着予想は記憶されません)
- ・案内設定
- ・ランチャー設定
- ・ナビ案内音量
- ・履歴
- ・ハンズフリー通話設定
- ・登録地編集
- ・キー操作音
- ・ナビチューン
(ガイドンスの事故多発地点案内、VICSの設定は記憶されません)

登録地編集画面から登録する

1 自宅が登録されていない状態で、ナビ設定画面(P.16)から**登録地編集**を選ぶ

2 **自宅編集**く登録されていません>を選ぶ

3 自宅の場所を検索する

●検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(→P.54~57)

4 自宅に設定するを選ぶ

●カーソルの地点が、自宅として登録されます。
●出入口の情報がある場合は、メッセージが表示されます。**はい**を選ぶと、出入口の位置が自宅として登録されます。

お知らせ

- 登録した自宅を呼び出すには→P.56
- 自宅を別の地点に変更するときは、自宅を削除(→P.22)してから、再度登録してください。

メニュー画面の操作

ツートップメニューを表示する

- を押す
●ツートップメニューが表示されます。

●DVD画面では、タッチキーが表示されていない状態でを押すとタッチキーが表示されます。タッチキーが表示された状態でもう一度を押すと、ツートップメニューが表示されます。

オーディオメニュー

メニューカスタマイズ(P.26)



- TV P.82
- FM/AM P.89
- DISC(DVD/CD) P.92～96
- MEMORY MUSIC^{*1} P.100
- SD P.110
- iPod P.114
- BLUETOOTH Audio P.97
- ドライブレコーダー P.168
- USB^{*2} P.110
- HDMI^{*2} P.179
- 交通情報^{*2} P.90

ツートップメニュー

NSZN-X67D
音声認識(P.145)

目的地ショートカット



オーディオショートカット

- AUDIO ON(OFF) P.81
- ハンズフリー P.133
- Drive P@ss P.140
- 情報・設定 下記
- ルート P.59

目的地メニュー

メニューカスタマイズ(P.26)



お知らせ

- 目的地ショートカットおよびオーディオショートカットの項目を変更できます。(P.26)

情報メニュー



- 渋滞情報 P.75
- GPS情報 P.16
- ETC情報 P.159
- エコ P.150
- システム情報：ナビID、地図更新IDを表示
- バージョン情報：ソフトのバージョンを表示
- 車両信号情報 P.19
- 拡張ユニット情報 P.19

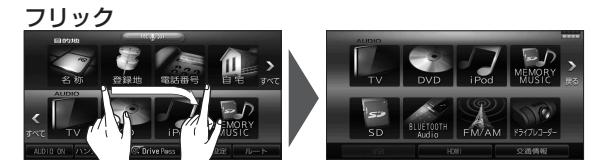
情報・設定メニュー



- 情報 左記
- ナビ設定 P.180
- オーディオチューン P.118
- システム設定 P.183
- 画面OFF P.17

ツートップメニュー/目的地メニュー/オーディオメニューの切り換えかた

左右にフリック/ドラッグすると、フリック/ドラッグした方向に切り換わります。



ドラッグ



* 1 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生

* 2 オーディオショートカットへの登録はできません。

* 3 目的地ショートカットへの登録はできません。

メニュー画面の操作

ツートップメニューに表示させる項目を変更する(メニュークスタマイズ)

オーディオメニューの並びを変更する

- 1 オーディオメニュー(P.24)から
[] を選ぶ

- 2 メニューカスタマイズ画面から
入れ換える項目を選ぶ

例:
「MEMORY MUSIC」のかわりに「FM/AM」
をツートップメニューに表示するには
① MEMORY MUSIC を選ぶ
② FM/AM を選ぶ



- AUDIO初期化
オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

- 全初期化
目的地メニュー・オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

- 選んだ項目が入れ換わります。



オーディオショートカットとして
ツートップメニューに表示されます。

目的地メニューの並びを変更する

- 1 目的地メニュー(P.25)から
[] を選ぶ

- 2 メニューカスタマイズ画面から
入れ換える項目を選ぶ

例:
「名称」のかわりに「履歴」をツートップ
メニューに表示するには

- ① 名称 を選ぶ
② 履歴 を選ぶ



- 目的地初期化
目的地メニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

- 全初期化
目的地メニュー・オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

- 選んだ項目が入れ換わります。



目的地ショートカットとして
ツートップメニューに表示されます。

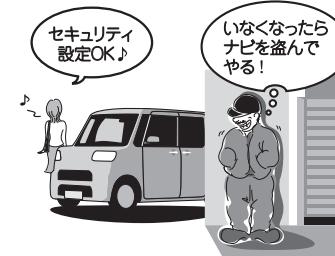
セキュリティ機能を設定する

セキュリティ機能を設定すると、バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合に、ナビゲーションやオーディオなどの機能をロック(使用不可)することができます。

エンジンスイッチがOFFのときはセキュリティインジケーターを点滅させることができます。また、表示されるシリアルナンバーを控えておくと、盗難などにあったとき、本機と所有者の確認をすることができます。

セキュリティコードを忘れた場合、本機を使用できなくなります。
お買い上げの販売店にご相談ください。

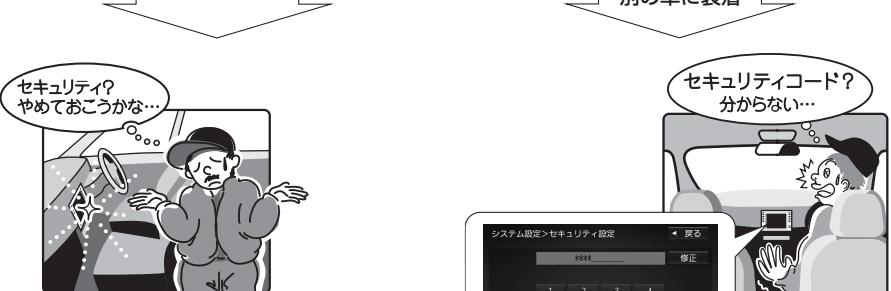
お車を離れる前に



万一盗難にあっても



別の車に装着



- 💡 セキュリティインジケーターの点滅により
盗難を抑止!!

- セキュリティインジケーターの設定 → P.29



- 💡 セキュリティ設定によりナビゲーション
の起動を停止することで個人情報を保護

- セキュリティコードの設定 → P.28

セキュリティ機能を設定する

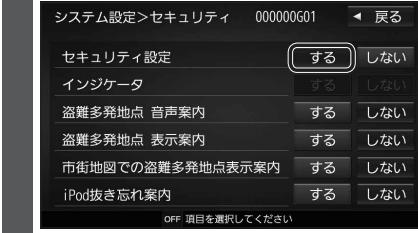
セキュリティコードを設定する

セキュリティコードは、忘れないようにメモしておいてください。

**1 情報・設定メニュー(P.24)から
システム設定を選ぶ**

**2 システム設定画面から
セキュリティを選ぶ**

**3 セキュリティ画面から
セキュリティ設定[する]を選ぶ**



4 OKを選ぶ

**5 (初めて設定する場合のみ)
初期パスワード「9876」を
入力する**

**6 セキュリティコードを入力し、
決定を選ぶ**



- 修正：1文字消去します。
- 文字種：数字・A～Fの大文字
- 文字数：3文字～12文字

7 はいを選ぶ

- セキュリティコードが設定されます。

本機を起動時にセキュリティコード 入力画面が表示されたら

バッテリー交換時など、バッテリーコードが外されたあとに本機を起動した場合のみ、セキュリティコード入力画面(下記)が表示されます。

セキュリティコードを入力してください。

セキュリティコードを入力し、 決定を選ぶ



- ロックが解除され、本機が再起動します。

セキュリティコードの設定を 解除する

他人に譲渡する場合などは、セキュリティ設定を解除してください。

**1 セキュリティ画面(左記)から
セキュリティ設定[しない]を選ぶ**

2 OKを選ぶ

**3 セキュリティコードを入力し、
決定を選ぶ**

- セキュリティ設定が解除されます。

セキュリティインジケータを設定する

セキュリティ設定「する」に設定されているとき、セキュリティインジケータを点灯する/しないを設定できます。

**セキュリティ画面(P.28)から、インジケータ [する]/[しない]を選ぶ
[お買い上げ時の設定:しない]**

お知らせ

- セキュリティ設定「しない」の状態では、インジケータの設定を変更できません。

セキュリティに関する案内の設定をする

セキュリティ画面(P.28)から、各項目の[する]/[しない]を選ぶ

[太字: お買い上げ時の設定]

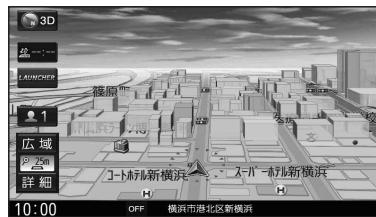
項目	設定内容
盗難多発地点音声案内	「する」: 盗難多発地点を音声で案内する 「しない」: 盗難多発地点を音声で案内しない
盗難多発地点表示案内	「する」: 盗難多発地点を表示で案内する 「しない」: 盗難多発地点を表示で案内しない
市街地図での盗難多発地点表示案内	「する」: 市街地図で盗難多発地点を表示で案内する 「しない」: 市街地図で盗難多発地点を表示で案内しない
iPod抜き忘れ案内	「する」: iPodの抜き忘れ案内をする 「しない」: iPodの抜き忘れ案内をしない

ナビゲーション

地図の紹介	32	行き先までのルートを作るには	52	ルートを保存する	63	地点を登録する (登録地)	70
市街地図	32	ルート案内を中止する	53	ルートを保存する	63	登録地について	70
広域地図	32	ルートを消去する	53	保存したルートを呼び出す	63	カーソルの地点を登録する	70
標高地図	32			保存したルートを削除する	63	現在地を登録する	70
案内図表示	33	行き先を探す	54	ルートを編集する	64	登録地をフォルダで管理する	70
拡大図表示	34	施設の名称で探す	54	経由地・目的地を追加する	64	お気に入り地点を登録する	71
地図の見かた	36	電話番号で探す	54	区間ごとの探索条件を変更する	64	登録地の情報を見る	72
地図画面	36	目的地・経由地の履歴から探す	54	出発地・経由地・目的地を変更する	65	登録地を編集する	72
現在地画面	38	周辺の施設から探す	55	迂回するルートに設定する	65		
地図モード画面	38	住所で探す	55	出発地・経由地・目的地を消去する	65	VICS情報を見る	74
ルート案内中の画面	39	ジャンルから探す	56	経由地・目的地を並べ換える	65	VICSとは	74
安心運転サポート情報	39	登録地から探す	56	ルート案内中に	66	VICS情報を受信するFM放送局を 設定する	75
ランチャーメニューで操作する	40	自宅へ帰る	56	一般道路走行中の音声案内	66	文字表示型 (レベル1)・图形表示型 (レベル2) のVICS情報を受信すると	76
ランチャーメニューの項目を変更する	40	マップコードで探す	57	高速道路・有料道路走行中の音声案内	66	画像・音声情報のVICS情報を受信すると (ETC2.0)	76
ルート・案内・地図・VICSをアレンジする (ナビチューン)	42	緯度経度で探す	57	トンネルに入ると	66	地図表示型 (レベル3) のVICS情報を 受信すると	77
ルート	42	郵便番号で探す	57	前方が渋滞していたら (VICS案内)	67	事象・規制マークの内容を確認する	77
ガイダンス	42	施設の出入口・提携駐車場を探す	57	経由地・目的地の音声案内	67	VICS情報を確認する	77
マップ	42	ルートを探索する	58	ルート案内中の曜日時間規制探索	67	緊急情報 (特別警報) を受信すると	78
VICS WIDE	42	目的地に設定する	58	ルート案内中のVICS自動再探索 (スイテルート案内)	67		
地図の操作	44	経由地に設定する	58	新しいルートと前のルートを比較する (新旧ルート比較)	67		
地図を動かす (スクロール)	44	ルート探索について	59	ルートから外れたときの自動再探索	68		
縮尺を切り換える	45	手動で全ルート図を表示させる	59	休憩メッセージ案内	68		
向きを切り換える (ノースアップ/ヘディングアップ/3D)	46	5つの条件のルートから選ぶ	59	エコ運転アドバイス	68		
3Dの地図を操作する	46	ルート情報を見る	60	次の交差点などの音声案内を聞く	68		
右画面を表示する (2画面)	47	ルートをシミュレーションする	60	もう一度ルートを探索する	68		
走行軌跡を表示する	48	探索条件について	61	走行中の道路を誤って認識したとき (道路切換)	69		
表示するランドマークを選ぶ	49	細街区探索について	61				
ランドマークを表示する	49	横付け探索について	61				
地点メニューから操作する	49	曜日時間規制探索について	61				
地図上に表示される VICS情報 (レベル3)	51	VICS考慮について	62				
		スマートICを通るルートについて	62				

地図の紹介

市街地図



広域地図



- 道幅が5.5 m以上の道路を走行中は、細街路は表示されません。
- 走行中に地図を動かすと、細街路は表示されません。
- 標高地図を表示「する」に設定されている場合は、縮尺を5 km～100 kmに切り換えると標高地図が表示されます。

標高地図



- 標高地図色が「季節運動」に設定されている場合は、季節に連動して、地図の色が切り換わります。(P.180)
- 3Dでの表示はできません。
- 表示する/しないの設定→P.180

案内図表示



■方面看板

一般道を走行中に、交差点の方面看板と進むべき方向の矢印が表示されます。

- 常時表示/ルート案内中のみ表示/常時非表示を選べます→P.182



■ルート情報

ルート案内時、道路名・交差点の名称、進むべき方向、距離などが表示されます。
高速道路走行中は、自動的にハイウェイマップに切り換わります。

- ▲ ▼:スクロール
- 現在区間:現在の区間に戻る
- 表示する/しないの設定→P.182



■ハイウェイマップ

都市高速、都市間高速道路、一部の有料道路を走行すると自動的に表示されます。
SA・PA・IC・JCT・料金所の名称、自車からの距離、SA・PAの施設がわかりやすく表示されます。

- ▲ ▼:スクロール
- 現在区間:現在の区間に戻る
- SA/PA: SA・PAのみを表示
- 詳: SA・PA・料金所の詳細な情報を表示
- ルート情報の表示が「しない」に設定された状態で、ハイウェイモードの表示を「しない」に設定すると、ハイウェイマップは表示されません。(P.182)

SA・PAの施設情報が表示されます。

地図の紹介

拡大図表示

- ルート案内中に自動的に表示されます。
- 地図データの整備上、拡大図や看板などは表示されない場合があります。

一般道路では



■交差点拡大図

交差点までの距離、交差点名称、曲がる方向が表示されます。

- 約300m手前から
- 直進でも表示される場合があります。
- 表示する/しないの設定→P.182



■側道拡大図

側道のある分岐点で表示されます。

- 約300m手前から
- 直進でも表示される場合があります。
- 交差点拡大図の表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.182)



■リアル3D表示

複雑な交差点では、リアルなビル表示とともに、交差点までの距離、曲がる方向が表示されます。

- 約300m手前から
- 直進でも表示される場合があります。
- 表示する/しないの設定→P.182



■ハイウェイ入口案内

都市高速の入口付近で表示されます。

- 約300m手前から
- 直進でも表示される場合があります。
- 交差点拡大図の表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.182)

補助地図

- 地図スクロール(P.44)と向きの切り換えができます。(P.46)

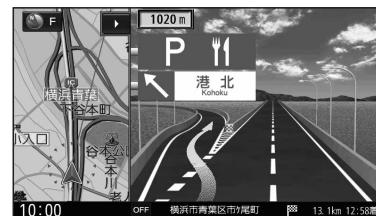
高速道路では



■ジャンクションビュー

高速道路や主要有料道路を走行中に、ジャンクションまでの距離、方面案内、分岐方向が表示されます。

- 約2km手前から
- 直進でも表示される場合があります。
- 表示する/しないの設定→P.182



■SA・PA入口案内

高速道路や主要有料道路を走行中に、SA・PAまでの距離と進入方向が表示されます。

- 約2km手前から
- JCTビューの表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.182)



■ETCレーン案内

料金所手前でレーン拡大図が表示されます。

- 約2km手前から
- 表示する/しないの設定→P.182

※表示は実際のレーン運用と異なる場合があります。必ず、実際の状況に従って運転してください。

拡大図を消去・再表示するには



■消去するには

- 補助地図(P.34)から▶を選ぶ
- 拡大図が消去されます。

■再表示するには

- 現在地画面(P.38)から◀を選ぶ
- 拡大図が表示されます。

地図の見かた

地図画面

方位マーク (地図の向きを表示)
タッチすごとに、地図の向きが
切り換わる

- ノースアップ (北が上/2D)
- ヘディングアップ (進行方向が上/2D)
- 3D (進行方向が上/3D)

GPS受信状態

現在地の測位の状態を方位マークの色で表示

- 黄色: 測位完了
- 灰色: 測位未完了(測位計算中)

VICS WIDEマーク

09:50 VICSの情報が提供された時刻を表示(P.50)
ルート案内中にタッチすると、渋滞/規制の地
点の地図に切り換わる

ユーザーカスタマイズ

1 本機の設定を2ユーザー分登録し、ワンタッチで
切り換える(P.23)
(地図画面の種類によっては、表示され
ない画面があります。)

縮尺表示

地図の縮尺が切り換わる(P.45)

- 広域
- 広域 現在の縮尺を表示
- 詳細



ランドマーク

目印となる施設などを地図上にマークで表示(縮尺5 m~200 mで表示)
●表示させるランドマークを選ぶには→P.49

立体ランドマーク

全国の有名施設を地図上に立体ランドマークで表示(縮尺50 m~100 mで表示)

エコタッチキー/エコ運転状態表示

- 運転状況 (減点なし) → (減点小) → (減点大)
- キャラクター (成長前) → (成長後)
- タッチすると、エコメニューを表示
- 表示する/しないの設定→P.153

●ドライブレコーダー接続時は、手動録画タッチキーが表示されます。
手動録画タッチキーを「表示しない」に設定すると、エコタッチキーを表示
できるようになります。(P.168)

凡例

表示	内容
○	都道府県庁舎
◎	市役所・特別区庁舎
○	町村役場・政令指定都市区役所庁舎
□	官公署・市町村役場支所(出張所)
○	消防署(含む: 分署・支署・出張所)
■	自衛隊
文	学校
✚	病院
✖	警察署・交番・駐在所
書	図書館
水	海水浴場・(湖水、池)水泳場
館	デパート・スーパー・ショッピング施設
S	スーパーマーケット・その他ショップ
H	ホテル・旅館・宿泊施設
●	史跡・旧跡、観光名所
社	神社
寺	寺院(仏閣、地蔵)
教	教会
城	城跡
美	美術館
博	博物館

表示	内容
〒	郵便局
△	銀行
飛	飛行場・空港
⚓	港
⛴	フェリーターミナル
塔	展望タワー
象	動物園
樹	植物園
水族館	水族館
ゴルフ	ゴルフ場
温泉	温泉
スキー	スキー場
遊園地	遊園地・テーマパーク
テーマパーク	テーマパークゲート
キャンプ	キャンプ場
料金所	料金所
出入	ランプ(出入口)
出	ランプ(出口専用)
P	駐車場
マリーナ	マリーナ
事故多発地点	事故多発地点
冠水注意ポイント	冠水注意ポイント
盗難多発地点警告(赤色、黄色、青色)	盗難多発地点警告(赤色、黄色、青色)

表示	内容
季節	冬季通行止め
●	その他目標施設
競馬	JRA競馬場・ウインズ
ガソリン	ガソリンスタンド
展望	展望タワー
動物	動物園
植物	植物園
水族	水族館
ゴルフ	ゴルフ場
温泉	温泉
スキー	スキー場
遊園	遊園地・テーマパーク
テーマ	テーマパークゲート
キャン	キャンプ場
料金	料金所
出入	ランプ(出入口)
出	ランプ(出口専用)
P	駐車場
マリ	マリーナ
事故	事故多発地点
冠水	冠水注意ポイント
盗難	盗難多発地点警告(赤色、黄色、青色)

情報バー

以下の情報を表示

- 現在時刻
- 現在地またはカーソル付近の地名・道路名称
- 目的地までの距離
- 到着予想時刻
- 再生中のオーディオ
- ハンズフリー通話中
- ETCカード挿入済
- 録音中
- ドライブレコーダーの録画状態
- VICS緊急情報タッチキー

お知らせ

- 表示する項目の設定→P.180

地図の見かた

現在地画面

Ⓐを押すと、現在地画面が表示されます。

LAUNCHER

ランチャーメニューを表示(P.40)
(地図画面の種類によっては、表示されない画面があります。)



交差点情報表示

交差点名称、レーン、踏切などの情報を表示
●常時表示/ルート案内中のみ表示/常時非表示を選べます。
→P.182

ルート案内中の画面

経由地マーク

経由地(P.58)に設定した場所を表示



交差点情報表示

交差点の通るべき車線を黄色で表示
●常時表示/ルート案内中のみ表示/常時非表示を選べます→P.182

案内ルート

目的地までの案内ルートを表示

目的地マーク

目的地(P.58)に設定した場所を表示

残距離表示/到着予想時刻

目的地までの距離と、到着する予想時刻を表示

地図モード画面

現在地からスクロール(P.44)すると地図モード画面になります。



微調整

カーソルの位置を微調整(P.44)

緯度経度

●表示する/しないの設定→P.181

設定

地点メニューを表示(P.49)

マップコード→P.213

●表示する/しないの設定→P.180

安心運転サポート情報

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。

地図画面での割り込み表示



凡例

表示	内容
	ライト点灯
	事故多発地点
	カーブ
	踏切
	合流

お知らせ

●安心運転サポート情報の案内について
→P.69

拡大図表示中の割り込み表示



ランチャーメニューで操作する

現在地画面で **LAUNCHER** を選ぶと、ランチャーメニューが表示されます。



- ランチャーメニューによく使う機能を登録しておくと、ランチャーメニューから直接その機能を呼び出すことができます。
- ランチャーメニューの項目は、変更できます。(右記)

ランチャーメニューの項目を変更する

1 ランチャーメニューから設定を選ぶ



2 LAUNCHERメニュー配置から項目を変更したいタッチキーを選ぶ



- TUNEは変更できません。
- 解除：選んだ項目を解除
- 全解除：すべての項目を解除

3 メニュー候補 (P.41)から変更する項目を選ぶ



- 複数の項目を変更する場合は、手順 **2～3** を繰り返してください。

お買い上げ時の設定に戻すには

初期化を選ぶ

■ ランチャーメニュー機能一覧

[太字 : お買い上げ時の設定]

項目	変更できる項目	機能
自宅	● 未登録：自宅を登録する (P.22) ● 登録済：自宅へ帰る (P.56)	
お気に入り地点	● 未登録：お気に入り地点を登録する (P.71) ● 登録済：お気に入り地点を目的地にしてルート探索する (P.71)	
登録地	登録地から行き先を探索する (P.56)	
周辺施設	周辺施設検索をする (P.55)	
地点を登録* ¹	現在地を登録地として登録する (P.70)	
登録・履歴消去	登録地・目的地履歴・走行軌跡・登録ルートを消去する	
右画面表示	右画面に表示する項目を設定する (P.47)	
再探索	再探索を開始する (P.68)	
案内スタート/ストップ	ルート案内を開始/中止する (P.53)	
ルート編集	ルート編集画面を表示する (P.64)	
ルートの全表示	全ルート画面を表示する (P.59)	
ナビ案内音量	ナビ案内音量を設定する (P.18)	
渋滞地点	渋滞している地点を表示する	
VICS文字情報	VICS文字情報を表示する (P.76)	
VICS図形情報	VICS図形情報を表示する (P.76)	
ETC2.0受信情報	ETC2.0受信情報を表示する (P.76)	
ETC情報	ETC情報を表示する (P.159)	
走行軌跡	走行軌跡の設定をする (P.48)	
ランドマーク表示/消去	ランドマークを表示/消去する (P.49)	
ランドマーク	ランドマークの設定画面を表示する (P.49)	
道路切換	自車位置を別の道路に切り換える (P.69)	
リダイヤル	リダイヤルする (P.133)	
携帯電話登録一覧	ハンズフリーの登録機器一覧を表示する (P.130)	
ユーザー切換	ユーザー1/2を切り換える (P.23)	
消音	オーディオの音声をミュートする (P.18)	
画面OFF	画面を一時的に消す (P.17)	
音声認識* ¹ NSZN-X67D	音声認識を起動する (P.145)	
ドライブレコーダー動画録画/録画終了	ドライブレコーダーで動画の録画を開始する/終了する (P.169)	
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーで静止画を撮影する (P.169)	

* 1 NSZN-W67Dは「地点を登録」、NSZN-X67Dは「音声認識」がお買い上げ時の設定となります。

項目	変更できない項目
ナビチューン	ナビチューンを行う (P.42)

ルート・案内・地図・VICSをアレンジする

(ナビチューン)

1 ランチャーメニュー(P.40)から、ナビチューンを選ぶ

2 各項目を設定する(下記)

1 ルートを選ぶ

2 ルート探索条件を設定する(右記)

ルート



1 ガイダンスを選ぶ

2 案内について設定する(右記)

ガイダンス



1 マップを選ぶ

2 地図表示について設定する(右記)

マップ



1 VICS WIDEを選ぶ

2 VICSについて設定する(右記)

VICS WIDE



●有料道路優先¹

少しでも節約するか、割高でも有料道路を利用するかの度合いを設定する[中]

●道幅優先¹

できるだけ遠回りせず距離優先にするか、多少遠回りでも広い道を利用するかの度合いを選ぶ[中]

●渋滞回避¹

VICSの渋滞情報を考慮する度合いを設定する[中]

●分岐案内頻度

IC・JCT・交差点・踏切・料金所・目的地付近などの案内の頻度を設定する[高]

* 1 探索条件が「おまかせ」(P.61)の場合のみ考慮されます。

* 2 必ず学習した内容でルート探索することを保証するものではありません。

* 3 別売のETC2.0車載器接続時のみ

[太字]はお買い上げ時の設定

●ルート学習: 本機が探索したルート以外を通ったときなどに、ルートを学習して次回の探索に反映させる度合いを設定する²[する]

●VICS考慮: VICS情報を考慮する/しないを設定する[する]

ETC2.0広域を選ぶと、自車位置周辺の道路と前方の高速道路の情報を利用して探索します。³

●スマートIC考慮: スマートICを考慮して探索する/しないを設定する[ON]

●季節規制考慮: 季節規制区間を避けて探索する/しないを設定する[ON]

各案内を、常時する/ルート案内のみする/しないを設定する

●合流案内 [常時](P.69)

●踏切案内 [常時](P.69)

各案内をする/しないを設定する

●ライト点灯案内 [ON](P.69)

●カーブ案内 [ON](P.69)

●事故多発地点案内 [OFF](P.69)

地図色について

●ノーマル

通常の地図



●道路メイン

道路が見やすい地図



●ポップ

地域を色分けした地図



●ハイコントラスト

夕暮れや夜間など、暗い車内で見やすい白基調の地図



渋滞情報の表示を設定する

●渋滞混雑: 渋滞・混雑の情報を表示する/しないを設定する[ON]

●渋滞なし: 渋滞の無い道路の情報を表示する/しないを設定する[OFF]

●統計情報: 統計情報を表示する/しないを設定する[ON]

規制情報の表示を設定する

●規制: 規制情報を表示する/しないを設定する[ON]

●範囲: 範囲情報のある規制を表示する/しないを設定する[[ON]]

地図の操作

地図を動かす(スクロール)

タッチ、フリック、ドラッグ操作で地図をスクロールできます。(タッチパネルの操作→P.13)

タッチでスクロールする

地図画面をタッチする



- タッチした地点が画面の中心になります。
- タッチし続けると、タッチしている方向にスクロールし続けます。

位置を微調整する

1 地図をスクロールさせ、 微調整を選ぶ

2 位置を微調整し、調整終了を選ぶ



お知らせ

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺を切り換ても、現在地画面に戻すと、もとの設定に戻ります。
- 走行中はスクロールできません。市街地図(P.32)以外では、走行中もタッチ操作によるスクロールができます。(フリック/ドラッグでは操作できません。)
- スクロールさせた3Dの地図は、回転させることができます。(P.46)
- フリック/ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。

フリックでスクロールする



ドラッグでスクロールする



- 指の動きに合わせてスクロールします。

縮尺を切り換える

タッチ、2点タッチ/ダブルタップ、ピンチ操作で縮尺を切り替えられます。
(タッチパネルの操作→P.13)

- 縮尺の範囲: 5m~250km

タッチキーで縮尺を切り換える

詳細/広域を選択

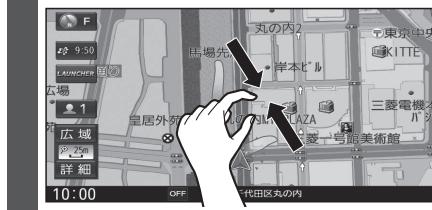


- タッチし続けると、ズームアウト/ズームインのイメージで縮尺が切り替わります。
- 縮尺バーにタッチすると、タッチした縮尺に切り替わります。

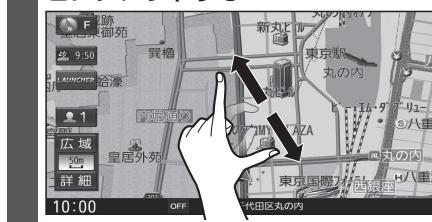


ピンチで縮尺を切り換える

■ 広域に切り換えるには ピンチインする



■ 詳細に切り換えるには ピンチアウトする



お知らせ

- 走行中にピンチ操作で縮尺を切り換えることはできません。

2点タッチ/ダブルタップで 縮尺を切り換える

■ 広域に切り換えるには 2点タッチする



■ 詳細に切り換えるには ダブルタップする



地図の操作

向きを切り換える (ノースアップ/ヘディングアップ/3D)

方位マーク(P.36)にタッチすると、地図の向きを切り換えられます。

方位マーク(P.36)にタッチする

- タッチするごとに、地図の向きが切り換わります。

ノースアップ(北が上/2D)



ヘディングアップ(進行方向が上/2D)



3D(進行方向が上/3D)



お知らせ

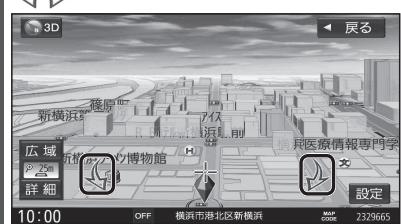
- 3Dの地図の傾きを調整できます。(P.47)

3Dの地図を操作する

地図を回転させる

3Dの地図をスクロールさせると、回転させることができます。

をタッチする



お知らせ

- 3Dの地図を回転させた状態でヘディングアップに切り換えると、3Dの地図の奥行き方向が上向きの2D地図に切り换わります。

傾きを調整する

メイン画面(1画面・左画面)、右画面(→右記)で、異なる傾きを設定できます。(10段階)

1 ナビ設定画面(P.16)から 表示を選択

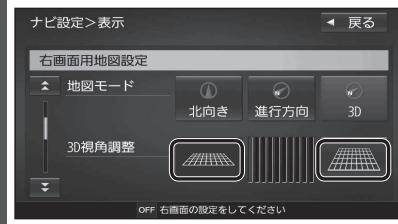
2 ■ メイン画面の傾きを調整する

メイン画面用地図設定の
3D視角調整の を
タッチする



■ 右画面の傾きを調整する

右画面用地図設定の
3D視角調整の を
タッチする

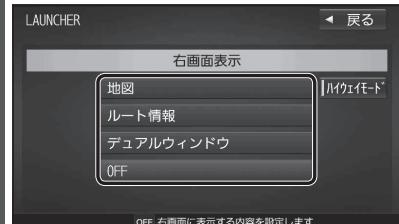


右画面を表示する(2画面)

1 現在地画面(P.38)で LAUNCHERを選ぶ

2 ランチャーメニューから 右画面表示を選ぶ

3 右画面表示設定画面から 右画面に表示させる画面を選ぶ



● 地図: 地図を表示



・右画面は縮尺と向きを切り換えられます。

● ルート情報: ルート情報を表示 (P.33)

● デュアルウィンドウ: オーディオを表示 (P.80)

● ハイウェイモード: ハイウェイモードの 表示をする/しない を設定する(P.182)

1画面に戻すには

右画面表示設定画面(上記)から OFFを選ぶ

- 1画面の地図に戻ります。

お知らせ

- ナビ設定から右画面を表示させることも
できます。
 - ・右画面に地図表示→P.180
 - ・ルート情報の表示→P.182
 - ・デュアルウィンドウを表示→P.181

地図の操作

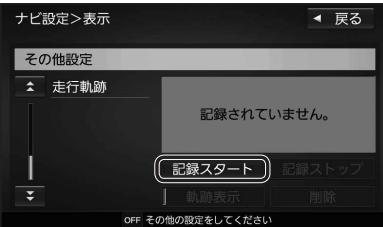
走行軌跡を表示する

走行軌跡の記録を開始するには

- 1 ナビ設定画面(P.16)から
表示を選ぶ

2 表示設定画面から

走行軌跡の記録スタートを選ぶ

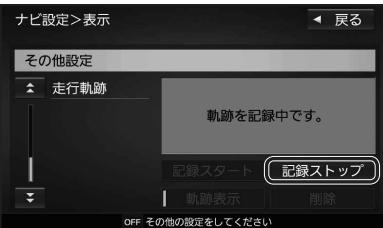


●走行軌跡が表示されます。

●走行軌跡の記録を開始します。

走行軌跡の記録を停止するには

表示設定画面(上記)から走行軌跡の記録ストップを選ぶ



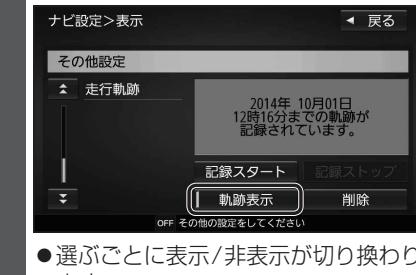
●走行軌跡の記録を停止します。

お知らせ

- 走行軌跡が記録されていないときは、**軌跡表示**を選べません。そのときは、走行軌跡の記録を開始してください。
- 走行軌跡は500 kmまで記録できます。500 kmを超えると、古いものから削除されます。
- 走行軌跡を非表示にしても、走行軌跡の記録は残ります。走行軌跡の記録を削除するには、表示設定画面から走行軌跡の**削除**を選んでください。
- 走行軌跡の記録中は非表示にしたり、記録を削除できません。非表示にしたり削除する際には、走行軌跡の記録を停止してください。

走行軌跡の表示/非表示を切り換える

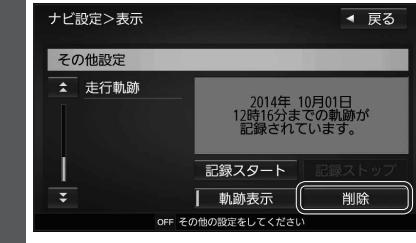
走行軌跡の記録が停止した状態で、表示設定画面(左記)から走行軌跡の**軌跡表示**を選ぶ



●選ぶごとに表示/非表示が切りわります。

走行軌跡の記録を削除するには

走行軌跡の記録が停止した状態で、表示設定画面(左記)から走行軌跡の**削除**を選ぶ



2 はいを選ぶ

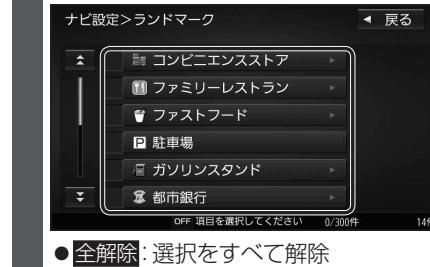
●走行軌跡の情報が削除されます。

表示するランドマークを選ぶ

最大300件選択できます。

- 1 表示設定画面(P.48)から
ランドマークの設定するを選ぶ

- 2 表示したいランドマークを選ぶ



●全解除: 選択をすべて解除

●全選択: すべての項目を選択

地点メニューから操作する

地点メニューから、目的地・経由地・出発地・登録地などを設定したり、施設の詳細情報を見ることができます。

- 地図モード画面(P.38)から
設定を選ぶ

●地点メニューが表示されます。



- 目的地に設定する
カーソルの地点を目的地に設定して、ルート探索を開始する
- 複数探索
異なる条件でルートを探索する
- 経由地に設定する(ルート案内中のみ)
カーソルの位置を経由地に設定して、ルート探索を開始する
- 地點を登録する
カーソルの地点を登録地として登録する
- 地點を編集する
(カーソルの地点が登録地の場合のみ)
登録地詳細画面を表示する
- 施設の詳細
施設の詳細情報が表示される
(情報がある場合のみ)
- テナント情報
施設のテナント情報が表示される
(市街地図でテナント情報のある地点にカーソルを合わせて地点メニューを表示させた場合のみ)
- 周辺の施設検索
カーソルの周辺の施設を検索する
周辺検索のしかた→P.55

ランドマークを表示する

表示設定画面(P.48)から
ランドマーク表示するを選ぶ



●ランドマークが表示されます。

[お買い上げ時の設定:する]

ランドマークを消去するには

表示設定画面(P.48)から
ランドマーク表示しないを選ぶ

●ランドマークが消去されます。

地図の操作

地図上に表示されるVICS情報(レベル3)

VICSマーク



タイムスタンプ

情報が提供された時刻を表示

- 受信した時刻ではありません。
- ルート案内中にタイムスタンプにタップすると、渋滞・規制のある地点の地図を表示します。

お知らせ

- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0のVICS情報を受信できます。
- 遠方の渋滞情報は表示されません。

ハイウェイマップ/ルート情報表示中は

●規制情報:

区間ごとにマークを表示(2件まで)



- 渋滞・混雑区間:
道路を色分けして表示

車線ごとの渋滞情報表示

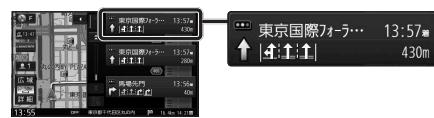
ルート案内中に、車線ごとの渋滞情報が、色分けして本数で地図上に表示されます。
(該当の情報が配信されているエリアのみ)

渋滞:赤3本線
混雑:橙2本線
渋滞なし:緑1本線

●市街地図/広域地図表示中は



●ルート情報表示中は



気象・災害情報表示

気象(1時間あたり50mm以上の大雪など)の情報を受信すると、地図にVICSマークが表示され、対象となる範囲が表示されます。



渋滞情報

色	リアルタイム情報		統計情報	渋滞度
	従来の渋滞情報	リアルプローブ情報		
赤				渋滞
橙	→	→	=====	混雑
緑				渋滞なし

●表示のしかたを設定できます。(P.42)

●従来の渋滞情報(リアルタイム情報)

道路に設置の車両感知器などで収集した現在の情報

●リアルプローブ情報(リアルタイム情報)

タクシーなどから収集した現在の情報

●統計プローブ情報(統計情報)

タクシーなどから収集した情報のデータを統計処理し、渋滞を予測した情報

※プローブ情報とは

走行している車から直接収集される「位置」と「時刻」のデータ(走行履歴)です。

VICS情報マーク(例)

道路上の事象・規制がマークで表示されます。

マーク	内容	マーク	内容
☒	事故	☒	チェーン規制
☒	故障車	☒	凍結
!	路上障害	⑩	速度規制
☒	工事	☒	徐行
☒	作業	-	進入禁止
☒	片側交互通行	☒	通行止め
☒	対面通行	☒	大型通行止め
☒	車線規制	☂	雨
☒	入口制限	☃	雪
☒	入口閉鎖	災害速報	災害速報
☒	行事等	氣象速報	氣象警戒情報
☒	火災	特別警報	特別警報

●マークの内容を確認できます。(P.77)

●表示する/しないの設定→P.42

駐車場マーク・SA/PAマーク

色	一般駐車場	SA	PA	状態
青				空車
橙	P	SA	PA	混雑
赤				満車
黒				不明
赤	☒	☒	☒	閉鎖

●表示する/しないを設定できます。(P.42)

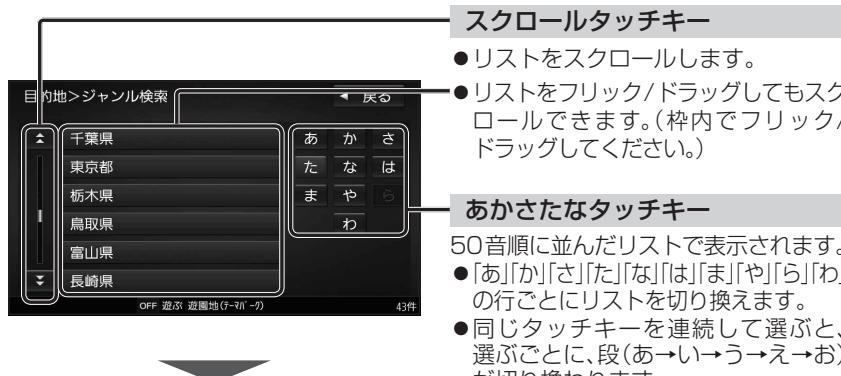
行き先までのルートを作るには

1 行き先を探す



例: ジャンル検索

検索方法によって、表示される画面や選択できるタッチキーは異なります。



検索結果画面(例: ジャンル)



2 行き先に設定する

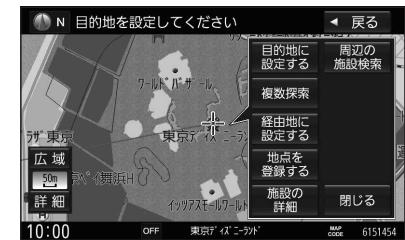
目的地に設定するを選ぶ

- ルート探索を開始します。
- 経由地に設定する → P.49
- 複数探索 → P.49
- 地点を登録する → P.49
- 地点を編集する → P.49
- 施設の詳細 → P.49
- テナント情報 → P.49
- 周辺の施設検索 → P.49

- 閉じる: 地図モード画面を表示
- 設定: 再度地点メニューを表示

ルート探索が完了し、全ルート図が表示されたら、案内スタートを選ぶ

- 案内を開始します。
- 全ルート図 → P.59~60
- ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます。(P.182)
ルートの全表示「しない」に設定すると、ルート探索完了後、自動的にルート案内を開始します。



全ルート図



ルート案内を中止する

1 ツートップメニュー(P.24)から ルートを選ぶ

2 ルートメニューから案内ストップを選ぶ



ルート案内を中止し、ルート表示が消去されます。

- ルートそのものは消去されません。

ルート案内を再開するには

ルートメニューから案内スタートを選ぶ



ルート案内が再開されます。

ルートを消去する

1 ルートメニュー(上記)から ルート削除を選ぶ

2 はいを選ぶ

ルートそのものが消去されます。

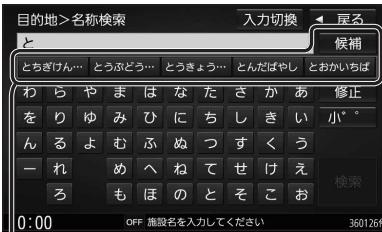
行き先を探す

施設の名称で探す

1 目的地メニュー(P.25)から 名称を選ぶ

2 名称を入力し、検索を選ぶ

- 修正：1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。
- 候補が10,000件を超える場合、**検索**は選べません。



- 入力した履歴から、候補が5件まで表示されます。候補をタッチするか、**候補**を選んでリストから候補を選ぶと検索を開始し、リストを表示します。

3 リストから施設を選び、決定を選ぶ

- 戻る：入力した名称を修正
- 距離順：現在地から近い順に並び換え
- 50音順：50音順に並び換え
- 詳細：施設の詳細情報を表示
- 出入口：施設の出入口がある場合、出入口を表示
- 電話：施設に電話をかける

施設を絞り込む

地域で絞り込むには

1 絞込み▶地域を選ぶ

2 都道府県▶市区町村を選ぶ

- 全国：地域絞り込みを解除

ジャンルで絞り込むには

1 絞込み▶ジャンルを選ぶ

2 絞り込むジャンルを選ぶ

- 全ジャンル：ジャンル絞り込みを解除

地図が表示されます。(P.58)

電話番号で探す

1 目的地メニュー(P.25)から 電話番号を選ぶ

2 電話番号を市外局番から入力し、 検索を選ぶ

- 修正：1文字削除
- 該当する施設が複数ある場合は、リストから選んでください。
- 市内局番までしかわからない場合は、市内局番までを入力して**検索**を選びます。
- 11桁の電話番号の場合は、10桁まで入力すると、該当する電話番号のリストが表示されます。(10件まで)
リストから施設を選んでください。

3 (個人宅の電話番号を検索したときのみ) 名字を入力し、検索を選ぶ

- 修正：1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。

地図が表示されます。(P.58)

目的地・経由地の履歴から探す

1 目的地メニュー(P.25)から 履歴を選ぶ

- 以前目的地・経由地に設定した場所のリストが新しい順に100件まで表示されます。

2 リストから履歴を選び、決定を選ぶ

- 削除：選んだ履歴を削除
- 全削除：すべての履歴を削除

地図が表示されます。(P.58)

お知らせ

- 履歴は100件まで自動的に保存され、100件を超えると古いものから自動的に消去されます。

周辺の施設から探す

現在地、目的地周辺や、ルート沿いの施設を検索できます。(最大100件)

1 目的地メニュー(P.25)から 周辺施設を選ぶ

2 検索方法を選ぶ

- 地図周辺：地図の中心周辺の施設
- ルート沿い：ルート沿いの施設^{*1}
- 目的地周辺：目的地周辺の施設

*1 現在地からルート沿いに左右約100m、進行方向に約10km以内を検索

3 ジャンルを選ぶ

リストから選ぶ

リストから ジャンル▶中分類▶小分類を選び、 検索を選ぶ

- 中分類・小分類は、複数の項目を選ぶことができます。選んだ項目には、チェックマーク(✓)が付きます。
- リストに■が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
- 全選択：すべての項目を選択する
- 全解除：すべての項目を解除する

ジャンル名を入力して選ぶ

1 ジャンル名入力を選ぶ

2 ジャンル名を入力し、検索を選ぶ

3 リストから項目を選ぶ

4 リストから施設を選び、 決定を選ぶ

地図が表示されます。(P.58)

住所で探す

リストから検索する

1 目的地メニュー(P.25)から 住所を選ぶ

2 都道府県▶市区町村▶町名▶丁目を選ぶ

- 市区町村を選んだあと、大字・小字を選ぶ場合があります。
- 住所が部分的にしかわからないときは、○○代表地点を選ぶと、その地域の地図を表示します。

3 数字キーで番地・号を入力し、 検索を選ぶ

- 番地・号は、「一」で区切ってください。
- 修正：1文字削除
- リストから番地・号を選ぶこともあります。

地図が表示されます。(P.58)

住所を入力して検索する

住所の一部を入力しても検索できます。

1 目的地メニュー(P.25)から 住所を選ぶ

2 地名部分入力を選ぶ

3 地名を入力し、検索を選ぶ

4 リストから地名を選ぶ

5 以下の住所を選び、検索を選ぶ

地図が表示されます。(P.58)

行き先を探す

ジャンルから探す

ジャンルから施設を検索できます。
(最大100件)

1 目的地メニュー(P.25)から ジャンルを選ぶ

2 ジャンルを選ぶ

リストから選ぶ

リストから
ジャンル▶中分類▶小分類を選ぶ

ジャンル名を入力して選ぶ

1 ジャンル名を選ぶ

2 ジャンル名を入力し、を選ぶ

3 リストから項目を選ぶ

3 検索する範囲の中心となる地点を 選び、決定を選ぶ

- 地図周辺 : 地図の中心周辺の施設
- 目的地周辺 : 目的地周辺の施設
- ルート周辺 : ルート周辺の施設*
- 都道府県 : 選んだ都道府県の施設
- 地域/路線 : 選んだ地域/路線の施設

* 1 現在地からルート沿いに左右約100m、
進行方向に約10km以内を検索

* 2 交通機関▶高速・都市高速・有料道路施設
▶IC/SA/PA選択時のみ

4 リストから施設を選び、 決定を選ぶ

地図が表示されます。(P.58)

登録地から探す

準備

- 地点を登録してください。(P.70)

1 目的地メニュー(P.25)から 登録地を選ぶ

2 リストから登録地を選び、 決定を選ぶ

- マーク順 : マーク(P.72)順で表示
- 登録順 : 登録された順で表示

フォルダのリストから選ぶ

1 フォルダを選ぶ

- フォルダ→P.70

2 メインフォルダ、 フォルダ1～フォルダ20を選ぶ

- 選んだフォルダの登録地のリスト
が表示されます。
- フォルダ名は変更できます。(P.70)
- 全表示 : すべてのフォルダの
登録地のリストを表示

3 リストから登録地を選び、 決定を選ぶ

地図が表示されます。(P.58)

自宅へ帰る

準備

- 自宅を登録していない場合は、自宅を登
録する画面が表示されます。(P.22)

1 目的地メニュー(P.25)から 自宅を選ぶ

2 (ルートが設定されている場合のみ) はいを選ぶ

現在地から自宅までのルートが探索され、
全ルート図が表示されます。(P.59)

マップコードで探す

マップコードについて、詳しくはP.213を
ご覧ください。

1 目的地メニュー(P.25)から マップコードを選ぶ

2 マップコードを入力し、を選ぶ ● 修正 : 1文字削除

地図が表示されます。(P.58)

お知らせ

- 本機は標準マップコードに対応してい
ます。(高分解能マップコードには対応
していません。)

緯度経度で探す

1 目的地メニュー(P.25)から 緯度・経度を選ぶ

2 緯度経度を入力し、を選ぶ ● 修正 : 1文字削除

地図が表示されます。(P.58)

郵便番号で探す

1 目的地メニュー(P.25)から 郵便番号を選ぶ

2 郵便番号を入力し、を選ぶ ● 修正 : 1文字削除

地図が表示されます。(P.58)

お知らせ

- 4桁以上入力してください。
- 入力の途中でを選ぶと、該当する郵
便番号のリストが表示されます。リスト
から郵便番号を選ぶと、周辺の地図が表
示されます。

施設の出入口・提携駐車場を探す

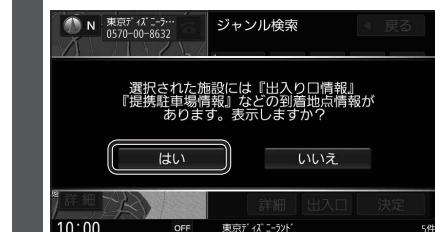
検索した施設に出入口の情報がひとつある
場合は、自動的に出入口へのルートを探索
します。

検索した施設に提携駐車場や複数の出入口の
情報がある場合は、メッセージが表示され
ます。下記の手順で出入口・提携駐車場などを
選択してください。

1 施設を検索する

- 検索のしかた→P.54～57

2 メッセージが表示されたら、 はいを選ぶ



3 リストから出入口・提携駐車場などを 選び、決定を選ぶ



地図が表示されます。(P.58)

お知らせ

- 検索結果画面からを選んでも、
出入口のリストが表示されます。

ルートを探索する

目的地に設定する

1 地点を検索する

- 検索のしかた→P.54~57

2 地点メニューから

目的地に設定するを選ぶ



- カーソルの地点を目的地に設定し、ルート探索を開始します。
- 検索した施設に出入り口や提携駐車場の情報がある場合や、有料道路、盗難多発地点のある場合は、メッセージで案内される場合があります。

3 案内スタートを選ぶ



- ルート案内を開始します。
- 全ルート図を表示後、約1分間何も操作しないと、ルート案内を開始します。
- ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます。(P.182) ルートの全表示「しない」に設定すると、ルート探索完了後、自動的にルート案内を開始します。

お知らせ

- ルートが設定されている場合、現在のルートは消去されます。

経由地に設定する

1 地点を検索する

- 検索のしかた→P.54~57

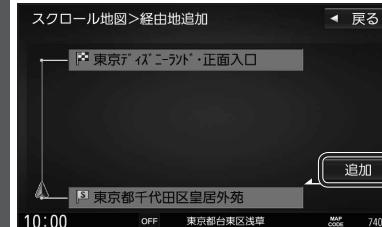
2 地点メニューから

経由地に設定するを選ぶ



- カーソルの地点を次の経由地に設定し、ルート探索を開始します。
- 検索した施設に出入り口や提携駐車場の情報がある場合や、有料道路のある場合は、メッセージで案内される場合があります。

3 経由地を追加する区間の、追加を選ぶ



- ルート探索を開始します。

4 案内スタートを選ぶ



- ルート案内を開始します。

お知らせ

- 経由地の順番を入れ換えるには→P.65

ルート探索について

ルート探索が完了すると、全ルート図が表示されます。

- ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます。(P.182)

ルートの全表示「しない」に設定した場合は、手動で全ルート図を表示させてください。(下記)



- 別ルート 右記
- 詳細情報 P.60
- シミュレーション P.60

手動で全ルート図を表示させる

1 ツートップメニュー(P.24)からルートを選ぶ

2 ルート画面からルートの全表示を選ぶ



- 全ルート図が表示されます。

5つの条件のルートから選ぶ

1 全ルート図(左記)から別ルートを選ぶ

- 5つのルートが表示されます。
- 同じルートが表示される場合があります。
- 経由地(P.58)を設定したときは、別ルート探索できません。
- 地点メニュー、ルート編集画面から、複数探索を選んでも、別ルート探索できます。

2 ルートを選ぶ

- おまかせ：高速道路・有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート
- 有料優先：高速道路・有料道路を優先して通るルート
- 一般優先：一般道路を優先して通るルート
- eco：燃料消費と有料道路料金をトータルで節約するルート
- 距離優先：距離が短くなるルート



ルートごとの走行距離、料金、所要時間などを比較できます。

3 案内スタートを選ぶ

- ルート案内を開始します。

お知らせ

- ルート画面(左記)から「ルートの全表示」を選んで表示させた全ルート画面からは、別ルート探索できません。

ルート探索について

ルート情報を見る

1 全ルート図(P.59)から 詳細情報を選ぶ

- 通過する道路名とその距離が表示されます。

2 ルート情報を確認する

- ▲: 目的地方向に進む
▼: 出発地方向に戻る



ルート案内を開始するには



ルートをシミュレーションする

全ルート図(P.59)から シミュレーションを選ぶ

- シミュレーションを開始します。



シミュレーションを終了するには

シミュレーション中に シミュレーション中止を選ぶ



- シミュレーションを終了します。
- []を押してもシミュレーションを中止します。

お知らせ

- 長距離のシミュレーションには時間がかかります。

探索条件について



おまかせ: 高速道路・有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート(通常はおまかせで探索します。)

有料優先: 高速道路・有料道路を優先して通るルート

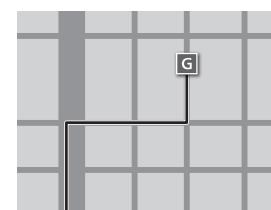
一般優先: 一般道路を優先して通るルート
距離優先: 距離が短くなるルート

eco: 燃料消費量と有料道路料金をトータルで節約するルート

お知らせ

- 一般優先で探索しても、有料道路を含むルートを探索する場合があります。
- 探索条件を変更するには→ P.64、68
- 「eco」で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、燃料消費量が多くなる場合があります。
- 「eco」で探索されるルートの算出には、パナソニック独自の技術を使用しています。

細街路探索について



出発地・経由地・目的地周辺は、道幅3 m以上5.5 m未満の細い道路も含めてルートを探索します。

走行できない道路、または交通規制により通行を禁止している道路も含めたルートを探索する場合があります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

●細街路上のルートは、一般道のルートとは異なる色で表示されます。

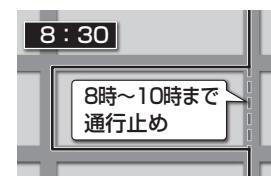
横付け探索について



目的地が中央分離帯のある道路に隣接している場合、施設の前に到着するように(施設が自車の左側になるように)ルートを探索します。

●横付け探索することによりルートが遠回りになる場合、横付け探索しないことがあります。

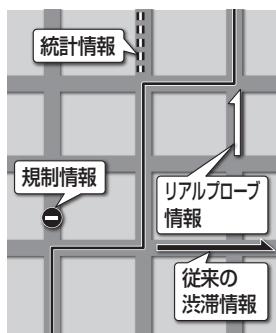
曜日時間規制探索について



月・曜日・時間による規制を考慮したルートを探索します。規制があっても案内することができますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

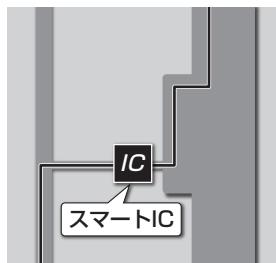
ルート探索について

VICS考慮について



- FM-VICSの渋滞/規制情報をもとに、渋滞/規制を避けたルートを探します。
- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制の場所を避けたルートを探します。
 - 現在地から遠く離れた場所の渋滞/規制の情報は、考慮されない場合があります。
 - 渋滞/規制情報をもとにVICS考慮する/しないの設定ができます。(VICS考慮→P.42)

スマートICを通るルートについて



- スマートICの利用を考慮したルートを探します。その際、通行できる時間帯や入口/出口の情報は考慮されますが、通行できる車種の情報は考慮されません。また、ETC車載器、ETC2.0車載器を搭載していない車両や、ETCカードを挿入していない場合でも、スマートICを通るルートが探索される場合があります。必ず、実際のスマートICの状況に従って通行してください。
- スマートIC考慮する/しないの設定ができます。(スマートIC考慮→P.42)

お願い

- スマートICは、ETC専用のインターチェンジです。ETC車載器、ETC2.0車載器を搭載していない車両の場合は、スマートIC考慮を「しない」に設定してください。
- スマートIC考慮の設定に関わらず、スマートICを経由地(P.58)に設定すると、スマートICを通るルートが探索されます。ただし、通行できる時間帯や入口/出口ICの情報は考慮されません。

ルートを保存する

ルートを保存する

探索したルートを登録しておいて、必要なときに呼び出せます。(20ルートまで)

ルート画面(P.64)から ルート保存を選ぶ



- 現在のルートが保存されます。

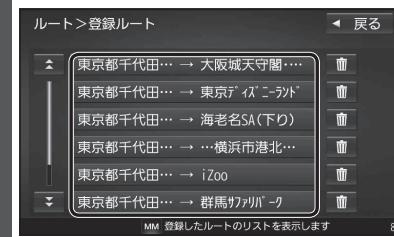
お知らせ

- すでに20ルート登録されている場合は、ルートを保存できません。不要なルートを削除してください。

保存したルートを呼び出す

1 ルート画面(P.64)から 登録ルートを選ぶ

2 登録ルートのリストから 呼び出したいルートを選ぶ



- 選択したルートが呼び出されます。

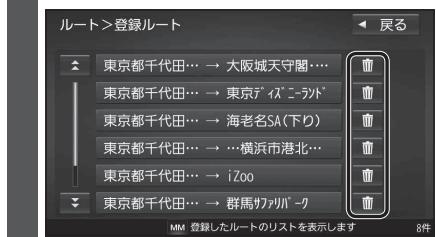
3 (すでにルートがある場合) はい を選ぶ

- 前のルートが削除され、選択したルートが呼び出されます。

保存したルートを削除する

1 ルート画面(P.64)から 登録ルートを選ぶ

2 登録ルートのリストから 削除したいルートの を選ぶ



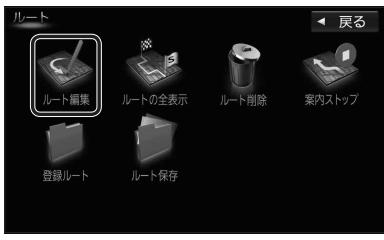
3 はい を選ぶ

- 選んだルートが削除されます。

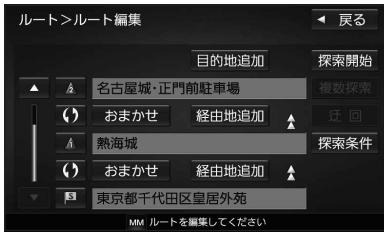
ルートを編集する

1 ツートップメニュー(P.24)からルートを選ぶ

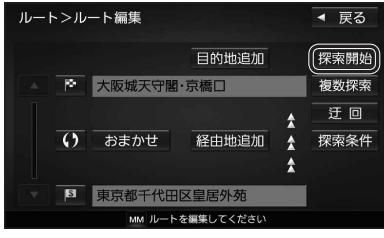
2 ルート画面からルート編集を選ぶ



3 ルート編集画面からルートを編集する→P.64～65



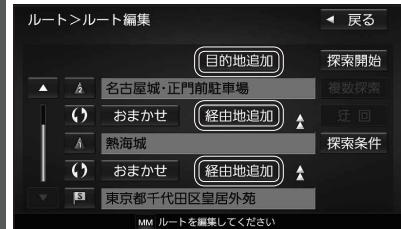
4 探索開始を選ぶ



- ルート探索を開始し、完了すると全ルート図が表示されます。

経由地・目的地を追加する

1 ルート編集画面(左記)から経由地・目的地を追加したい場所の経由地追加 / 目的地追加を選ぶ

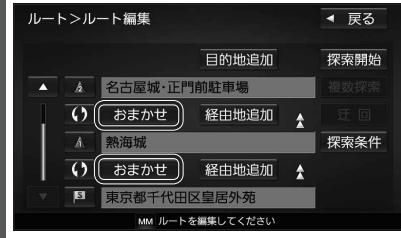


2 経由地・目的地にしたい場所を検索する(P.54～57)

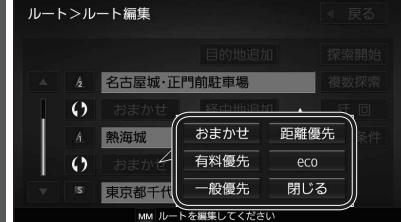
- 検索した地点が、経由地・目的地として追加されます。

区間ごとの探索条件を変更する

1 ルート編集画面(左記)から変更したい探索条件を選ぶ



2 探索条件を設定する(P.61)



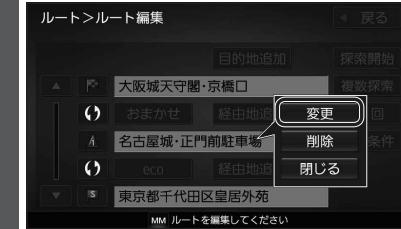
- 検索条件が変更されます。

出発地・経由地・目的地を変更する

1 ルート編集画面(P.64)から変更したい出発地・経由地・目的地を選ぶ



2 変更を選ぶ

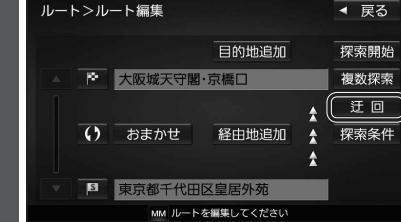


3 変更したい場所を検索する(P.54～57)

- 出発地・経由地・目的地の場所が変更されます。

迂回するルートに設定する

1 ルート編集画面(P.64)から迂回を選択

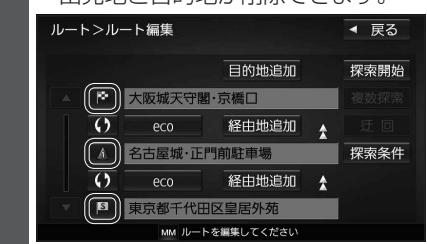


2迂回する距離を選ぶ

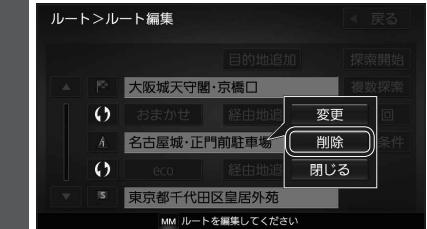
- 設定範囲: 1 km / 2 km / 5 km / 10 km
- 設定された距離を迂回するルートを探索します。
- 次の経由地または目的地までの距離が設定した距離より短い場合、設定した距離にかかわらず、次の経由地または目的地までを迂回するルートを探索します。

出発地・経由地・目的地を消去する

1 ルート編集画面(P.64)から変更したい出発地・経由地・目的地を選択



2 削除を選ぶ

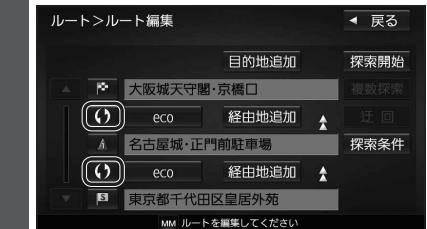


3 はいを選ぶ

- 出発地・経由地・目的地が消去されます。

経由地・目的地を並べ換える

ルート編集画面(P.64)から並べ換たい区間の(④)を選択

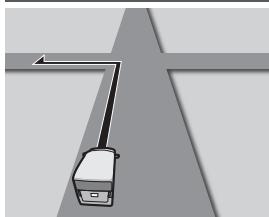


- 選んだ区間で順番が入れ換わります。

ルート案内中に

音声案内の「太字の下線」部は、走行するルートによって案内が異なります。

一般道路走行中の音声案内



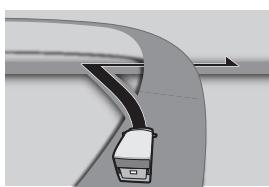
■ 交差点に近づくと

およそ300m先、大手町を左方向です。

まもなく大手町を左方向です。

左方向です。

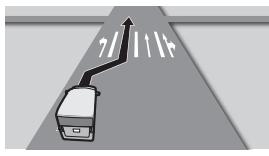
- 細街路でも交差点で音声分岐案内されます。



■ 側道では

まもなく、左方向、側道です。

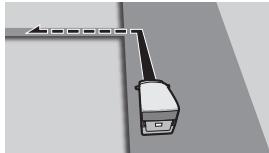
左方向です。



■ レーンのある道路では

およそ300m先、左折専用車線に注意してください。

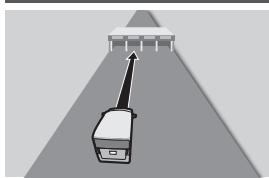
- 専用レーン案内の設定→P.182



■ 狹い道に入るときは

左方向です。
この先、実際の交通規制にしたがって走行してください。

高速道路・有料道路走行中の音声案内



■ 料金所付近では

まもなく、料金所です。

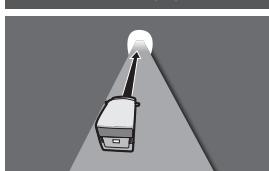


■ 分岐地点に近づくと

およそ2km先、左方向、外苑出口です。

まもなく、左方向、外苑出口です。

トンネルに入ると



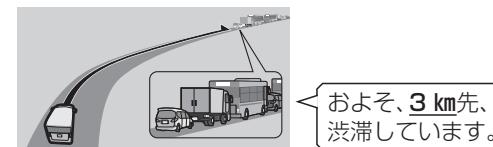
およそ600m先、トンネル出口です。

- トンネル出口案内の設定→P.182
- 距離の短いトンネルでは案内されない場合があります。
- 別の案内がある場合、案内されない場合があります。

前方が渋滞していたら(VICS案内)

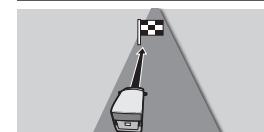
ルート上の渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。(前方約10km以内)

- VICS案内の設定→P.182



およそ、3km先、渋滞しています。

経由地・目的地の音声案内



目的地に到着しました。
ルートガイドを終了します。

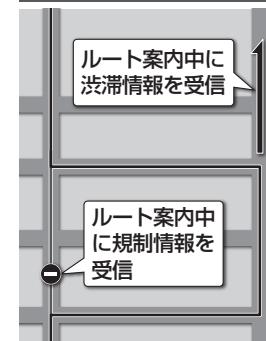
ルート案内中の曜日時間規制探索



ルート上の現在地周辺の月・曜日・時間による規制を常に確認し、それを考慮したルートに変更します。

規制があっても案内することができますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

ルート案内中のVICS自動再探索(スイテルート案内)



FM-VICSの渋滞/規制情報(P.51)を受信すると、渋滞/規制を考慮したルートに変更します。(DRGS^{*1})

- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制を避けたルートを探索します。
- 実際の道路状況によっては、早く着くとは限りません。
- 渋滞/規制情報をもとにVICS考慮する/しないの設定ができます。(VICS考慮→P.42)

*1 DRGS: ダイナミックルートガイダンスシステム

新しいルートと前のルートを比較する(新旧ルート比較)

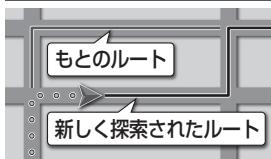


曜日時間規制探索やDRGSで新しいルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行できる場合は、変更後のルートと変更前のルートを約8秒間表示します。(新旧ルート比較) 表示が消えるまで何も操作しないと、変更後のルートで案内を開始します。

- 新旧ルート比較をしない場合があります。
 - ・ 変更前のルートを通行できないとき(通行止め、規制など)
 - ・ 現在地から約30km以上離れた場所のルートが変更されたとき
- 新旧ルート比較する/しないの設定→P.181

音声案内の「**太字の下線**」部は、走行するルートによって案内が異なります。

ルートから外れたときの自動再探索



ルートを外れても、自動的に再探索します。
●自動再探索する/しないの設定→P.181

休憩メッセージ案内

長時間の運転中、音声で休憩を促します。

例：長時間運転している場合、

そろそろ休憩しませんか。

●休憩メッセージ案内の設定→P.182

エコ運転アドバイス

エコドライブをすすめる音声案内を約1週間に一度の割合で出力します。

例：

タイヤの空気圧が適正でないと、抵抗が大きく燃費が悪くなります。

スピードを出し過ぎると燃費が悪くなります。
経済速度で運転しましょう。

●エコ運転アドバイスする/しないの設定
→P.153

※エコ運転のためのアドバイスであり、
実際の車の状況を案内しているわけ
ではありません。

次の交差点などの音声案内を聞く

ルート案内中に、Ⓐを押す

●次の分岐交差点などが案内されます。

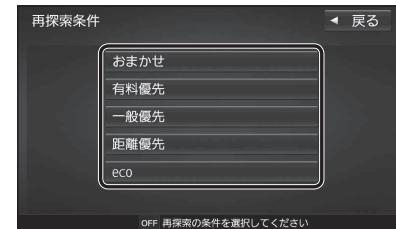
もう一度ルートを探索する

1 ランチャーメニュー(P.40)から、**再探索**を選ぶ

●経由地がある場合は、次の経由地までのルートが再探索されます。

2 探索条件を選ぶ

●選んだ条件で再探索します。



走行中の道路を誤って認識したとき(道路切換)

高速道路と一般道路が平行にあるときは、道路を取り違えることがあります。
(例えば、自車が高速道路を走行中なのに自車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など)

このような場合に、地図のマッチングを手動で切り換えて、正しい位置に修正します。

ランチャーメニュー(P.40)から

道路切換を選ぶ

- 自車位置の道路(高速道路/一般道路)を切り換えて再探索されます。
- 道路切換は、隣接して平行な道路を対象としています。

安心運転サポート情報の案内(一部地域のみ)

■急なカーブに近づくと*1



この先、カーブです。

●カーブ案内の設定→P.42

■高速道路で注意の必要な合流地点に近づくと*2



この先、右からの合流車両に注意してください。

●合流案内の設定→P.42

■踏切付近では



まもなく、踏切です。

●踏切案内の設定→P.42

■ライト点灯が必要になったら*3

トンネルに入ったときや日没時に案内されます。



ライトの点灯を確認してください。

●ライト点灯案内の設定→P.42

■一般道の事故多発地点に近づくと



この先、事故多発地点です。注意してください。

●事故多発地点案内の設定
→P.42

*1 カーブの形状や走行する速度によっては、案内されない場合があります。

*2 一部の一般道でも案内される場合があります。

*3 距離の短いトンネルでは、案内されない場合があります。

お知らせ

●複数の安心運転サポート情報がある地点では、情報のいずれか一つが案内されます。

地点を登録する(登録地)

登録地について

1ユーザーにつき最大900件まで登録できます。(自宅、お気に入り地点を含む)

- 登録された地点は、マークで表示されます。

カーソルの地点を登録する

登録したい場所にカーソルを合わせ、
地点メニュー(P.49)から
地点を登録するを選ぶ



- カーソルの位置(地点)が登録されます。

現在地を登録する

ランチャーメニュー(P.40)から
地点を登録を選ぶ



- 現在地が登録地として登録されます。

登録地をフォルダで管理する

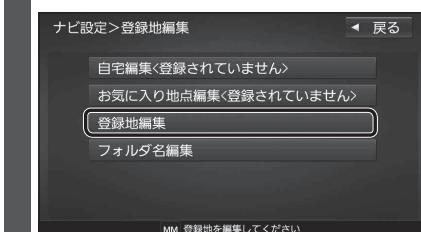
登録地をフォルダごとにまとめて管理できます。(20フォルダ+メインフォルダ)
フォルダ名は、変更することもできます。

フォルダを移動する

1 情報・設定メニュー(P.24)から
ナビ設定を選ぶ

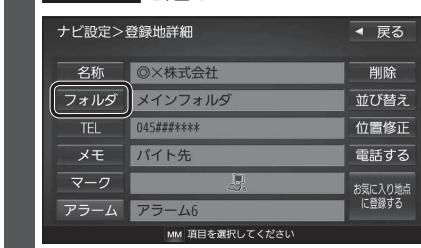
2 ナビ設定メニューから
登録地編集を選ぶ

3 登録地編集画面から
登録地編集を選ぶ



4 登録地のリストから登録地を選ぶ

5 登録地詳細画面から
フォルダを選ぶ



6 移動先のフォルダを選ぶ

- 選んだフォルダに移動します。

フォルダ名を変更する

1 登録地編集画面(上記)から
フォルダ名編集を選ぶ

2 名称を編集するフォルダを選ぶ

3 フォルダ名を入力し、決定を選ぶ
●全角14文字(半角29文字)まで
●文字入力のしかた→P.200

お気に入り地点を登録する

よく使う地点をお気に入り地点として登録すると、ランチャーメニューからかんたんに呼び出して、目的地に設定できます。(1件のみ)

お気に入り地点を登録する

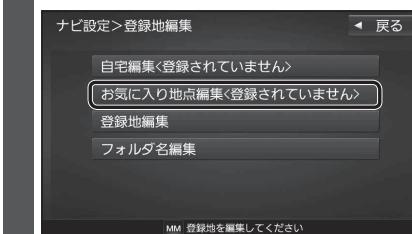
準備

- お気に入り地点にしたい地点を登録地として登録してください。(P.70)

1 情報・設定メニュー(P.24)から
ナビ設定を選ぶ

2 ナビ設定メニューから
登録地編集を選ぶ

3 お気に入り地点が登録されていない状態で
登録地編集画面から
お気に入り地点編集<登録されていません>
を選ぶ



- すでに登録されている場合は、登録地詳細画面(P.72)が表示されます。

4 リストからお気に入り地点にしたい
登録地を選ぶ

- お気に入り地点が登録されます。

お知らせ

- 登録地詳細画面(P.72)から
お気に入り地点に登録するを選んでも、
お気に入り地点に登録できます。

お気に入り地点を解除するには

1 お気に入り地点が登録された状態で、
登録地編集画面(上記)から
お気に入り地点編集を選ぶ

2 お気に入り地点の登録地詳細画面から
お気に入り地点を解除するを選ぶ

3 はいを選ぶ
●お気に入り地点が解除されます。

お気に入り地点を呼び出す

準備

- お気に入り地点を登録してください。(左記)
- ランチャーメニューに「お気に入り地点」が表示されるように設定してください。(P.40)

1 ランチャーメニュー(P.40)から
お気に入り地点を選ぶ



- お気に入り地点を目的地に設定し、ルート探索を開始します。

2 (ルートが設定されている場合のみ)
はいを選ぶ



地点を登録する(登録地)

登録地の情報を見る

地点メニューから情報を見る

- 1 登録地にカーソルを合わせ、**設定**を選ぶ

- 2 地点メニュー(P.49)から**地点を編集する**を選ぶ

●登録地詳細画面が表示されます。

情報・設定メニューから情報を見る

- 1 情報・設定メニュー(P.24)から**ナビ設定**を選ぶ

- 2 ナビ設定メニューから**登録地編集**を選ぶ

- 3 登録地編集画面(P.71)から**登録地編集**を選ぶ

- 4 リストから登録地を選ぶ

●選んだ登録地の登録地詳細画面が表示されます。

- 全削除:すべての登録地を削除
- 全表示:すべての登録地をリスト表示
- フォルダ:フォルダのリストを表示
- 登録順:登録された順に並べ替え
- マーク順:マーク順に並べ替え

登録地詳細画面

ナビ設定>登録地詳細

名称	◎×株式会社	削除
フォルダ	メインフォルダ	並び替え
TEL	045####	位置修正
メモ	バイト先	電話する
マーク	□	お気に入り地点に登録する
アラーム	アラーム6	MM 項目を選択してください

登録地を編集する

名称を編集する

- 1 **名称**を選ぶ

- 2 **名称**を入力し、**決定**を選ぶ

- 全角12文字(半角25文字)まで
- 文字入力のしかた→P.200

フォルダを移動する→P.70

電話番号を編集する

- 1 **TEL**を選ぶ

- 2 **電話番号**を入力する
(携帯電話・PHSの番号も可)

- 3 **決定**を選ぶ

メモを編集する

- 1 **メモ**を選ぶ

- 2 **メモ**を入力する

- 全角16文字(半角32文字)まで
- 文字入力のしかた→P.200

- 3 **決定**を選ぶ

マークを変更する

- 1 **マーク**を選ぶ

- 2 リストからマークを選ぶ

- 3 **戻る**を選ぶ

登録地詳細画面

ナビ設定>登録地詳細

名称	◎×株式会社	削除
フォルダ	メインフォルダ	並び替え
TEL	045####	位置修正
メモ	バイト先	電話する
マーク	□	お気に入り地点に登録する
アラーム	アラーム6	MM 項目を選択してください

- お気に入り地点に登録する→P.71

アラームを設定する

設定した方向から、設定した距離まで近づくと、アラームでお知らせします。

- 1 **アラーム**を選ぶ

- 2 **アラームの種類**を選ぶ

- 3 **案内距離**を選ぶ

- 4 **進入角度**を選ぶ

- 進入角度を設定しない場合は、全方位が対象となります。

- 5 **進入角度を調整し、セット**を選ぶ

- アラームを鳴らさないようにするにはOFFを選びます。

登録地を削除する

一度消去すると戻せません。
消去は十分確認のうえ行ってください。

- 1 **削除**を選ぶ

- 2 **はい**を選ぶ

登録地を削除します。
よろしいですか?

リストの順を変更する

- 1 **並び替え**を選ぶ

- 2 移動先の**挿入**を選ぶ

登録地の位置を修正する

- 1 **位置修正**を選ぶ

- 2 変更したい場所にスクロールさせる

- 3 **セット**を選ぶ

- 微調整:位置の微調整ができます。

登録地の番号に電話をかける

- BLUETOOTH接続中のみ

- 電話する**を選ぶ

- 登録地の電話番号に電話をかけます。

- 通話中の操作について→P.132

VICS情報を見る

VICSとは

渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。

●本機では、FM-VICSを受信できます。

●ETC2.0車載器(別売)を接続すると、ETC2.0のVICS情報を受信できます。

■ ETC2.0とは

これまでITSスポットサービスと呼ばれていたサービスを、「ETC2.0サービス」と呼ぶことになりました。

従来のETC(料金収受)や渋滞回避、安全運転支援などの情報提供サービスに加え、ITSスポットを通して収集される経路情報を活用した新たなサービスが導入される予定です。

交通情報の表示について

文字表示型(レベル1)



图形表示型(レベル2)



●縮尺や表示は切り換えられません。

地図表示型(レベル3)



画像・音声情報(ETC2.0のみ)



(例:多目的情報)

●受信する情報の内容

優先情報	安全運転支援情報 緊急メッセージ情報 注意警戒情報
一般情報	電子標識情報 多目的情報 長文読み上げ情報 センタ・ネットワーク障害通知

●ETC2.0の一般情報を割り込み表示する/しないの設定→P.183

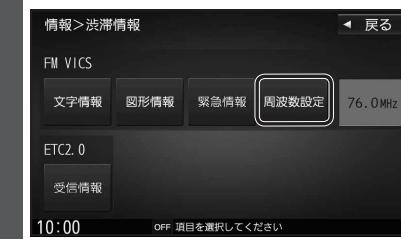
お知らせ

- 提供されるVICS情報は、あくまでも参考です。最新情報でない場合があります。
- 提供された情報と異なる場合は、実際の交通規制や道路状況に従ってください。

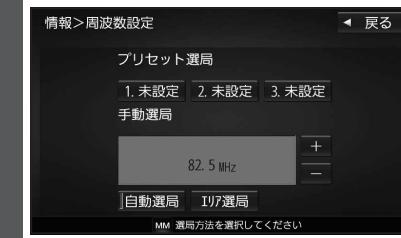
VICS情報を受信するFM放送局を設定する

1 情報メニュー(P.24)から 渋滞情報を選ぶ

2 渋滞情報画面から 周波数設定を選ぶ



3 周波数設定画面から 放送局の設定をする(右記)



お知らせ

- GPS信号で現在時刻の情報を受信していないときは、FM-VICSの情報を受信できません。

自車位置に応じて自動で選局する
(自動選局:推奨)

周波数設定画面(左記)から
自動選局を選ぶ

- 選ぶごとに、オン/オフが切り換わります。
- 自動選局がオンのときにエリア選局、手動選局、プリセット選局をすると、自動選局はオフに切り換わります。

自車位置周辺の放送局から選ぶ
(エリア選局)

1 周波数設定画面(左記)から エリア選局を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。

2 リストから放送局を選ぶ

- 選んだ放送局のFM-VICSを受信します。

周波数で選局する(手動選局)

周波数設定画面(左記)から
+/-で周波数を調整する

よく使う放送局を記憶させて
選局する(プリセット選局)

●記憶させる

1 周波数設定画面(左記)から 記憶させたい放送局を選局する

2 記憶させたいプリセット番号を 1秒以上タッチする



●呼び出す

周波数設定画面(左記)から
呼び出したいプリセット番号を選ぶ

- 選んだ放送局に切り換わります。

VICS情報を見る

文字表示型(レベル1)・図形表示型(レベル2)のVICS情報を受信すると

FM多重で受信すると

受信しても、自動的に表示されません。ただし、FM-VICSで緊急情報を受信した際は、自動的に表示されます。

- 受信した情報を見るには→P.77

ETC2.0車載器で受信すると

受信すると、地図画面に自動的に一定時間(7~15秒間)*1割り込み表示されます。

- 表示中の画面によって、割り込み表示しない場合があります。

*1 音声情報を含む場合は、それ以上の時間になることがあります。

画像・音声情報のVICS情報を受信すると(ETC2.0)

地図画面に、自動的に一定時間(7~15秒間)

割り込み表示されます。

音声情報がある場合は、音声情報も再生されます。

[優先情報]:

安全運転支援情報/緊急メッセージ情報/注意警戒情報

- 落物情報や渋滞末尾情報など注意や警戒を促すための情報が提供されます。災害発生時は停車や避難等の行動指示のための情報も提供されます。

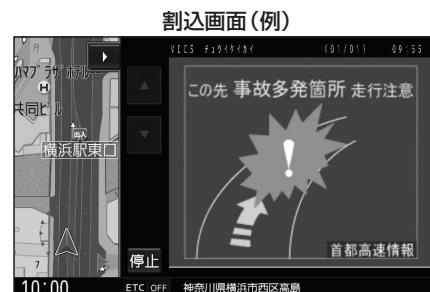
[一般情報]:

電子標識情報/多目的情報/長文読み上げ情報/広域文字情報/センタ・ネットワーク障害通知

- 広域の所要時間を案内する広域道路情報や静止画による前方状況情報などが提供されます。

お知らせ

- 表示中の画面(拡大図表示など)によって、割り込み表示や音声情報再生を中断したり、表示しない場合があります。
- ETC2.0割込みする/しないの設定で一般情報の割り込み表示を設定できます。(P.183)



- 停止 : 音声情報の停止
- 再生 : 音声情報の再生
- ▲ ▼ : ページ切換
- ▶ : 表示の消去
- ETC2.0の設定→P.183

地図表示型(レベル3)のVICS情報を受信すると

渋滞、規制、駐車場、SA・PA情報(レベル3)を受信すると、自動的に表示されます。



IC 羽沢 IC	15:08	12km
第三京浜道路	三区間	
IC 港北 IC	15:05	8.4km
第三京浜道路	三区間	
IC 都筑 IC	15:02	5.3km
第三京浜道路	三区間	

お知らせ

- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- 遠方の渋滞情報は表示されません。
- VICS表示設定→P.42
- レベル3情報の見かた→P.50~51

事象・規制マークの内容を確認する

事象・規制マークにカーソルを合わせる



- 情報が表示されます。

詳細を選ぶと、詳細な情報が表示されます。



VICS情報を確認する

1 渋滞情報画面(P.75)から 見たい情報を選ぶ

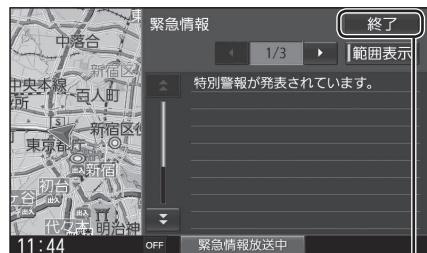


2 (FM-VICSの文字情報・图形情報の場合) 見たい情報の番号を選ぶ



緊急情報(特別警報)を受信すると

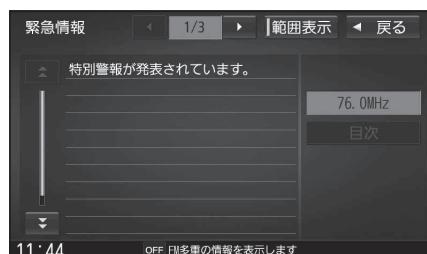
地図画面を表示中に受信するとただちに表示されます。



終了を選択すると、緊急情報画面が消去され、地図画面に戻ります。



地図画面で情報バーの**緊急情報放送中**を選択すると、緊急情報画面(詳細情報)が表示されます。



- ◀▶: ページ切換
- ▼▲: 行を送る/戻す
- 渋滞情報画面(P.75)から緊急情報を選んでも、緊急情報画面に切り換わります。
- 走行中に見ることはできません。
- 情報自体の提供が無い場合は表示されません。

オーディオの基本操作	80	本機で録音した音楽データを再生する	100
オーディオに切り換える	80	本機で録音した音楽データを編集する	102
オーディオの種類を選ぶ	80	アルバムの情報を編集する	102
オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り換える	81	曲の情報を編集する	102
オーディオをOFFにする	81	再生中のアルバム・曲を削除する	
お気に入りに登録する	104	お気に入りに登録する	104
アルバム・曲をお気に入りに登録する	104	アルバム・曲を削除する	
お気に入りフォルダの名称を変更する	104	お気に入りに登録したアルバム・曲を削除する	104
お気に入りに登録したアルバム・曲を削除する	104	ジャケット写真を登録する	105
アルバム・曲を再生する/しないを設定する	105	アルバム・曲を再生する	105
再生中のアルバム・曲にジャンルを登録する	105	再生中のアルバム・曲にジャンルを登録する	105
アルバム・曲を削除する	105	パソコンでGracenoteデータベースを更新する(ローカルアップデート)	106
パソコンでタイトル情報を個別に更新する(カスタムアップデート)	107	パソコンでタイトル情報を個別に更新する	107
スマートフォンでタイトル情報を確認する	108	SDメモリーカード内の録音状況を確認する	109
録音した音楽データを初期化する	109	SDメモリーカード/USBメモリーを再生する	110
		SDメモリーカードを挿入する	110
		SDメモリーカードを取り出す	110
		USBメモリーを本機と接続する	110
		音楽(MP3/WMA/AAC)を再生する	111
		静止画を再生する	112
		動画を再生する	113
iPodを再生する	114		
iPodを本機に接続する	115		
音楽を再生する	116		
現在地画面にオーディオ映像を表示する	117		
音質・音場を調整する(オーディオチューン)	118		
映像を調整する	122		
画質を調整する	122		
アスペクトを切り換える	122		

オーディオの基本操作

- 走行中は、TV、DVD、SD動画、USB動画、HDMI、Drive P@ss（動画など）の映像は表示されません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
- 走行中でも、後席モニターには映像が表示されます。
後席モニターに出力される映像について→P.179

オーディオに切り換える

♪を押す

- オーディオ画面に切り換わります。

オーディオの種類を選ぶ

オーディオメニューから

切り換えるオーディオを選択



- 選んだオーディオに切り換わります。

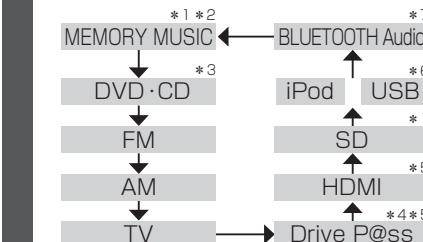
お知らせ

- オーディオの音量を調整するには→P.18

ステアリングスイッチで

ステアリングスイッチの MODE]を押す

- 押すごとにオーディオが切り換わります。



- オーディオOFF時はMEMORY MUSICに切り換わります。
- 交通情報時は、TVに切り換わります。
- ドライブレコーダー時は、オーディオOFFに切り換わります。
- 交通情報およびドライブレコーダーはステアリングスイッチで切り換えできません。

オーディオの音声を出力したまま ナビゲーションに切り換える

オーディオ画面表示中に Ⓐを押す

- オーディオ画面に戻るには、♪を押してください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオOFFにしてください。(右記)

お知らせ

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。(P.117)

オーディオをOFFにする

本体ボタンで

♪を2秒以上押す

オーディオをONにするには

オーディオOFFの状態で、
♪を2秒以上押す

ツートップメニューから

AUDIO OFFを選ぶ



- オーディオの音声・映像が消去されます。(オーディオOFF)

オーディオをONにするには

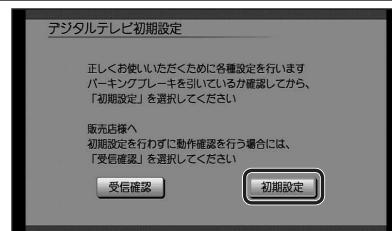
ツートップメニューから
AUDIO ONを選ぶ

お知らせ

- オーディオがドライブレコーダーの時にオーディオをOFFにすると、上記の操作でオーディオONに切り換えることはできません。

テレビ初期設定を行う

初めてテレビに切り換えたときは、テレビ初期設定画面が表示されます。地上デジタル放送をご覧になる前に、必ずテレビ初期設定をしてください。



1 初期設定を選ぶ

- 販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、受信確認を選んでください。
- 受信確認中は、**◀▶**で物理チャンネルを変更できます。

郵便番号設定

2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定を選ぶ

県域設定

3 お住まいの都道府県を選ぶ

伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域を設定するには

■ 伊豆、小笠原諸島地域

- 1 沖縄・その他の島部を選ぶ**
- 2 東京都島部を選ぶ**

■ 南西諸島鹿児島県地域

- 1 沖縄・その他の島部を選ぶ**
- 2 鹿児島県島部を選ぶ**

4 次へを選ぶ

ホームモードのチャンネル設定

5 地域を確認して、決定を選ぶ

- 受信可能なチャンネルの検索が完了すると、一覧表が表示されます。
- 地域によっては、検索に時間がかかる場合があります。(約5分)
- ◀▶**: 地域の変更

6 各チャンネルの放送局を確認して、決定を選ぶ

- 検索できない放送局があった場合は、初期設定終了後に再スキャンを行ってください。(P.88)
- チャンネル番号 放送局名



同じ系列局で受信できる
チャンネル
・複数ある場合があります。
・ワンセグは青色で表示さ
れます。

△▼でチャンネル番号を選び、**◀▶**で放送局を選ぶと、手動でチャンネルを修正できます。

7 終了を選ぶ

- これで準備完了です。地上デジタル放送をご覧になれます。

テレビ初期設定を変更・再確認するには

テレビ初期設定画面(P.82)は、一度設定すると、出荷状態に戻す(P.184)またはTVの初期化(P.184)をするまで表示されません。引越して受信地域が変わったなどの理由で、テレビ初期設定の項目を変更したい場合は、下記から設定してください。

- 郵便番号設定.....P.88「郵便番号」
- 県域設定P.88「県域」
- ホームモードのチャンネル設定.....P.88「ホームチャンネル」

■ 周波数再編(リパック)について

周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなったり場合は、再スキャン(P.88)を行ってください。

■ 緊急警報放送(EWS)について

緊急警報放送(EWS)とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

緊急警報放送(EWS)を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り換わります。



- テレビ以外のオーディオを選んでいても、緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送に切り換わる場合があります。
- 緊急警報放送が終了しても、テレビ画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません)
もとに戻すには、手動で切り換えてください。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的には切り換わりません。

テレビを見る

[TV]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

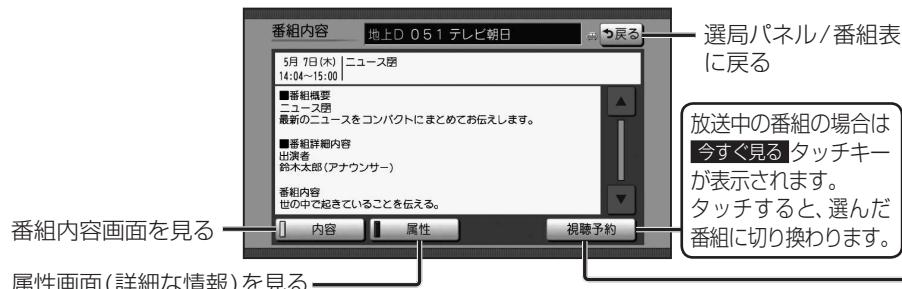
テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネル(下記)が表示されます。

- 約10秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。



番組内容を見る



番組表を見る



- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。(数分かかることがあります。)
- 地上デジタル放送は7日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。
- 番組表表示形式を設定できます。(P.88)

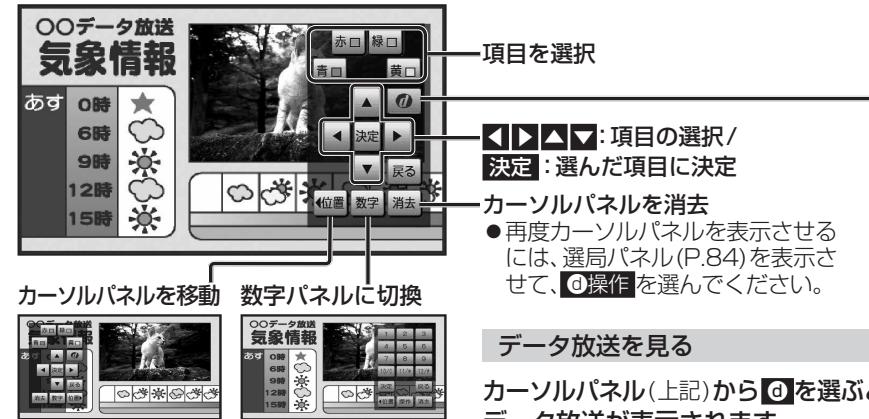
順送りで選局する

◀▶を押す

- 1チャンネルずつ切り替わります。

カーソルパネルの操作

選局パネル(P.84)から④操作を選ぶと、カーソルパネル(下記)が表示されます。



視聴予約をする

視聴予約したい番組の番組内容画面(P.84)を表示させ、[視聴予約]を選ぶ

- 選んだ番組の視聴予約がセットされます。
- 予約した時間になると、自動的にテレビに切り替わり、予約した番組が表示されます。
- 受信モードが自動切換になっていない場合、視聴予約した番組に切り替えられない場合があります。
- 同じ時間に開始する番組を複数予約することはできません。
- 放送開始時刻が変更になっても、予約時刻は自動では変更されません。
- 視聴予約した番組が終了しても、もとのオーディオ、チャンネルには戻りません。
- 緊急警報放送中は、視聴予約が実行されません。
- 予約した番組(チャンネル)が受信できない場合は、自動的に中継局や系列局をサーチして、受信できた局に切り替わります。
- 視聴予約を確認するには→P.86

データ放送を見る

カーソルパネル(上記)から④を選ぶと、データ放送が表示されます。

- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- 再度④を選ぶとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。

お知らせ

- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

画面キーボードが表示されたら

画面キーボードで文字を入力する



- 本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

テレビを見る

選局パネル(P.84)から

デジタルTVメニューを選ぶと、
テレビメニューが表示されます。

テレビメニューの説明を表示

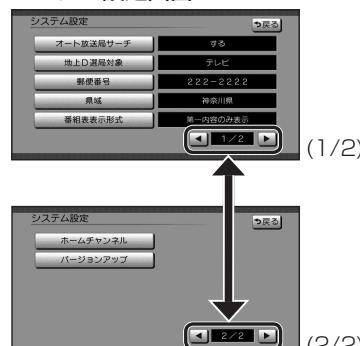
テレビメニュー



情報/設定画面



システム設定画面



テレビの受信や信号の設定をする

1 設定したい項目を選ぶ

2 設定する(P.87)

視聴予約を確認・編集する

視聴予約を選ぶ

● 視聴予約一覧が表示されます。

視聴予約確認/編集



視聴予約を取り消す

1 視聴予約一覧(上記)から 取り消したい視聴予約にチェック(✓) する

2 取消を選ぶ

● 選んだ視聴予約が取り消されます。

ソフト情報を見る

1 ソフト情報表示を選ぶ

2 情報を確認する

デバイスID表示

通常は、この操作は必要ありません。

デバイスID表示を選ぶ

● 受信機(本機)の情報が表示されます。

デバイスID表示

オリジナルRMPメカID
0|0000|0000|0000|0000|0000|0000

放送局名

NHK総合・東京
局管理RMPメカID
0|0000|0000|0000|0000|0000|0000

● お問い合わせの際に必要な場合があります。

[太字]お買い上げ時の設定

項目

受信モード

受信状態が良くないときは、ワンセグに切り換えると、比較的安定した画像を見るすることができます。

「自動切換」: 受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切換
● 番組のタイトル表示・チャンネル表示に[AUTO]と表示されます。
「ワンセグ」: 受信状態に関わらずワンセグを受信
「地上D」: 受信状態に関わらず地上デジタル放送を受信
● 受信状況によっては、切り換え時に数秒間映像が途切れことがあります。
● 放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り換えた際、異なる番組になる場合があります。

ブリセットモード

ホームモード/おでかけモードを切り替えます。

「ホーム」: ホームモードに切換
「おでかけ」: おでかけモードに切換

■ ホームモード

テレビ初期設定の「ホームモードのチャンネル設定」(P.82)で設定された、自宅周辺で受信できるチャンネルを選びます。
● 放送局を変更するときは、「ホームスキャン」を行ってください。(P.88)
● ホームモード設定中におでかけモードブリセット(下記)を行うと、ホームモードは解除され、おでかけモードに切り換わります。

■ おでかけモード

ホームモードの放送局が受信できない旅行先などでは、ホームモードとは別に、旅行先で受信できるチャンネルを登録できます。(下記「おでかけスキャン」)
また、自車位置に応じて放送局のリストを自動的に切り換えることもできます。(下記「エリアブリセット」)

おでかけモードブリセット

■ おでかけスキャンについて

● 放送局の系列は、ホームモード時のチャンネル設定に合わせます。
● おでかけモードでは、チャンネルの修正はできません。
● おでかけ初期スキャン/おでかけ再スキャンするとエリアブリセットは解除されます。

「エリア」: 自車位置に応じて放送局リストを自動的に切り替えます。
(エリアブリセット)
● 再度選ぶと解除されます。

「初期スキャン」: 現在受信できるチャンネルが検索され、以前のリストに上書きされます。(おでかけ初期スキャン)
● スキャン完了後、放送局一覧が表示されます。(約10秒間)

「再スキャン」: 新たに受信できたチャンネルが追加されます。(おでかけ再スキャン)
● 以前おでかけモードに登録されていたチャンネルは残ります。(削除・上書きなどはされません。)
● スキャン完了後、放送局一覧が表示されます。(約10秒間)

放送局一覧

放送局一覧を選ぶ

放送局一覧を確認する

● 本機に設定された受信可能なチャンネルが一覧表示されます。
● ワンセグは青色で表示されます。

信号切换

信号切换を選ぶ

各項目を設定する

「マルチビュー」: マルチビュー放送のときに選択できます。
● マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。
「映像」: 映像が複数あるときに選択できます。
「音声」: 音声が複数あるときに選択できます。
「二重音声」: 二重音声の音声を選択できます。
「字幕」: 字幕の言語を選択できます。
「文字スーパー」: 文字スーパーの言語を選択できます。
● 文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。

テレビを見る

テレビのシステム設定をする

1 システム設定画面(P.86)から設定したい項目を選ぶ

2 設定する(下記)

[太字:お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作		
オート放送局サーチ	<p>「する」:オート放送局サーチする 「しない」:オート放送局サーチしない</p> <ul style="list-style-type: none"> 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り換えられない場合があります。そのときは、手動で選局してください。(P.84「テレビの基本操作」) 放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り換えた際、異なる番組になる場合があります。 		
地上D選局対象 ^{*1}	<p>「テレビ」:テレビサービスのみ選局する^{*2} 「テレビ/データ」:テレビサービスと独立データサービスを選局する</p> <p>* 1 地上デジタル放送のみ設定できます。ワンセグに対しては設定できません。 * 2 番組表もテレビサービスのみ表示されます。</p>		
郵便番号	<p>お住まいの地域の郵便番号を入力する</p>		
県域	<p>P.82「テレビ初期設定を行う」手順3と同じ操作でお住まいの都道府県を選ぶ</p>		
番組表表示形式	<p>「第一内容のみ表示」:同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、代表の1番組だけ番組表に表示する <ul style="list-style-type: none"> 代表以外の番組を視聴中は、代表の番組と視聴中の番組の2つが表示されます。 </p> <p>「全内容を表示」:同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、すべての番組を番組表に表示する</p>		
ホームチャンネル	<p>ホームモードで使用するチャンネルを設定する(ホームスキャン)</p> <p>準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームモードに切り換えてください。(P.87) 		
放送局を上書きしてチャンネルを記憶する(初期スキャン)	初期スキャンを選ぶ	<p>◀▶で地域を選び、決定を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在受信できるチャンネルが検索され、以前のリストに上書きされます。 	<p>内容を確認し、決定を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンネルを修正するには→P.82手順6
<p>引越しなどで受信地域が変わり、ホームモードを再設定するときに行ってください。</p>			
放送局リストにチャンネルを追加する(再スキャン)	<p>再スキャンを選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに受信できたチャンネルが追加されます。 以前ホームモードに登録されていたチャンネルは残ります。(削除・上書きなどはされません。) 		
<p>自宅付近に新しく開設された放送局や、自宅に隣接した地域で受信できる放送局を追加するときなどに行ってください。</p>			
設定したチャンネルを修正する(マニュアル)	マニュアルを選ぶ	チャンネルを修正する →P.82手順6	決定を選ぶ
バージョンアップ	<p>テレビチューナーの内部ソフトウェアバージョンアップの際に使用します。</p>		

ラジオを聞く

[FM/AM]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

ラジオ画面



FM/AMを切り換える

FM/AMを選ぶ

お知らせ

- AMステレオには対応していません。

周波数から選局する

◀▶を押す

- 1秒以上押して離すと選局を始め、受信すると止まります。(シーク選局)

自車位置に応じて放送局を切り換える(エリアモード)

エリアを選ぶ

- 自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。(12局まで)

自車位置周辺の放送局を更新するには

エリアモードでエリア更新を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局のリストに更新されます。

お知らせ

- 地域によっては、リストに実際とは異なる放送局名が表示されたり、周波数のみが表示される場合があります。
- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。

受信中の放送局をリストに記憶させる(プリセットメモリー)

1 プリセットのリスト(P1/P2)を選ぶ

2 ▶▶で放送局を選ぶ

3 保存したい枠を2秒以上タッチする

- 受信している放送局が選んだ枠に記憶されます。

記憶させた放送局を選ぶ(プリセット選局)

1 プリセットのリストから放送局を選ぶ

- 選んだ放送局に切り換わります。
- P1/P2を選ぶと、ページが切り換わります。

2 放送局を選ぶ

- 選んだラジオ放送を受信します。

交通情報を聞く

[交通情報]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

交通情報画面



オーディオを交通情報に切り換えると、
交通情報を聞くことができます。
[お買い上げ時の設定: 1620 kHz]

周波数を選ぶ

ディスクを再生する

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。
「ディスクについて」(P.201)も併せてご覧ください。

ディスク	フォーマット	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3 ^{*3}	WMA ^{*3}
DVD	○	—	—	—	—	—
DVD-R/RW ^{*1}	○	○	—	—	—	—
CD	—	—	○	—	—	—
CD-R/RW ^{*2}	—	—	○	○	○	○
操作のしかた		P.92~94	P.95	P.96		

* 1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

* 2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

* 3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Loss-less、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

ディスクを挿入する

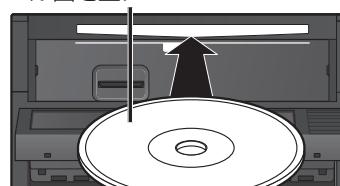
1 ▲を押す

2 OPEN/EJECT画面からOPENを選ぶ



3 ディスクを挿入する

ラベル面を上に



●モニターが自動的に閉まり、再生を開始します。

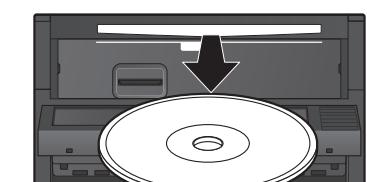
●▲を押して、手動でモニターを閉じることもできます。

ディスクを取り出す

1 OPEN/EJECT画面(左記)から
DISC EJECT を選ぶ

- モニターが開き、ディスクが排出されます。

2 ディスクを取り出す



- ▲を押して、モニターを閉じてください。

ディスクを再生する

- [DVD]に切り換えるには→P.80「オーディオの種類を選ぶ」
- ディスクの出し入れ→P.91

DVD-Video・DVD-VRを再生する

- 本機で再生できるディスクについて
→P.91、201

ディスク再生画面(DVD)



本編再生中に□を押すと、
基本操作タッチキーが表示されます。

基本操作タッチキー画面1



タッチキーを消去

基本操作タッチキー画面2



設定を変える タッチキーを消去
(P.94)

早送り・早戻し

- ▲ ▼ を押し続ける
● 離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生

- 一時停止中(P.92)に
▲ ▼ を押し続ける
● 離すと、通常の再生に戻ります。
● ▲ : DVD-Videoのみ

チャプターの頭出し

- ▲ ▼ を押す

タイトルメニューを表示する[DVD-Video]

タイトルを選ぶ

トップメニューを表示する[DVD-Video]

メニューを選ぶ

タイトルリストを表示する[DVD-VR]

タイトルを選ぶ

プレイリストを表示する[DVD-VR]

メニューを選ぶ

停止

再生中に□を選ぶ

- □を押すと、再生を開始します。

設定 続き再生解除 □ ボタン消
10:00 DVD 東京都千代田区丸の内

- □を押すと、再生を開始します。

- 続き再生解除：リジューム再生開始位置
の情報を解除(右記)

お知らせ

- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、◎が表示されます。

一時停止

再生中に □ を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

音声を切り換える

音声 を選ぶ

- 選ぶごとに、音声が切り換わります。

字幕を切り換える[DVD-Video]

字幕 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕が切り換わります。

アングルを切り換える[DVD-Video]

アングル を選ぶ

- 選ぶごとに、アングルが切り換わります。

トップメニュー/タイトルメニュー から元の再生に戻る(リジューム) [DVD-Video]

リジューム を選ぶ

再生時間を表示する

タイム を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
再生経過時間→タイトル/チャプター
↑ 表示なし ←

メニューなどをカーソルで操作する

1 操作 を選ぶ

2 ▲ ▼ ▶ ◀ でカーソルを移動し、 実行 を選ぶ



- ボタン移動：タッチキーを左右に移動
- ボタン消：タッチキー消去
- DVD-Videoは、トップメニュー/タイトルメニューの画面を直接タッチして操作できます。(ダイレクトタッチ)

1つ前の画面に戻る

リターン を選ぶ

項目を番号で選ぶ

1 10キー を選ぶ

2 10キーで番号を入力する



タイトル/チャプターを番号で選ぶ (サーチ)

1 サーチ を選ぶ

2 切換で、サーチの対象を選ぶ

- 選ぶごとに、タイトル/チャプターが
切り換わります。

3 番号を入力し、実行 を選ぶ

- 入力したタイトル/チャプターの先頭
から再生を開始します。

項目を決定する

エンター を選ぶ

ディスクを再生する

- [CD]に切り換えるには→P.80「オーディオの種類を選ぶ」
- ディスクの出し入れ→P.91

DVD-Video・DVD-VRの初期設定を変える

1 基本操作タッチキー画面2(P.93)から**設定**を選ぶ

2 各項目を設定する(下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作		
言語を設定する 音語コードを入力して、音声・字幕・メニューの言語を切り替えます。	<p>言語設定を選ぶ</p> <p>設定したい項目の言語を選択を選ぶ [お買い上げ時の設定:日本語]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オリジナル: ディスクで優先されている言語に切換 ● 初期値: すべての言語設定をお買い上げ時の設定に戻す ● OFF: 字幕表示しない <p>設定した言語がDVDに収録されていない場合や、DVDに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。</p>		
音声ダイナミックレンジの圧縮率を設定する ^{*1} (ドルビーデジタル再生時のみ)	<p>ダイナミックレンジ圧縮を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ON」: 圧縮する ● 「OFF」: 圧縮しない <p>* 1 音声ダイナミックレンジについて ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。小さい音声が大音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。</p>		
再生できるDVDを制限する 設定範囲: (強)1~8(弱)、制限なし ● 視聴制限が収録されていないDVDの場合は、本機で再生を制限することはできません。	視聴制限レベル を選ぶ	視聴制限レベルを選ぶ	パスワード(4桁)を入力し、 決定 を選ぶ ● クリア : 全文字削除
パスワードを変更する	<p>パスワード変更を選ぶ</p> <p>現在のパスワード(4桁)、新しいパスワード(4桁)、パスワード再入力を入力し、決定を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クリア: 全文字削除 ● お買い上げ時のパスワードは「0000」に設定されています。 		

音楽CD(CD-DA)を再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、[♪]を押してください。

● 本機で再生できるディスクについて→P.91、201

ディスク再生画面(CD-DA)



録音を開始する/停止する(P.99)

録音設定(P.98)

再生モード切換
(リピート/ランダム/スキャン)

1 **再生モード**を選ぶ

2 **再生モード**を切り換える
● 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
● 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ

● 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ

● 全曲を順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャンを選ぶ

● 全曲を約10秒ずつ再生します。

曲の情報を表示する

曲を選ぶ

● 曲の情報が表示されます。

タイトル表示について

音楽CDを挿入すると、本機内の音楽データベース^{*1}(以降Gracenote[®]データベース)を検索し、情報があれば、アルバム名・曲名などを表示します。

● CD-TEXT情報がある場合は、CD-TEXT情報が優先的に表示されます。

● 本機のGracenoteデータベースに一致する情報がないときはタイトル情報は表示されません。異なるタイトル情報を表示する場合もあります。

● タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

* 1 Gracenote音楽認識サービスのデータベースの抜粋

早送り・早戻し

◀▶を押し続ける

● 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

◀▶を押す

お知らせ

● 録音中は、リストからの選曲と再生モード切換や早送り・早戻し、曲の頭出しありません。

● タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

ディスクを再生する

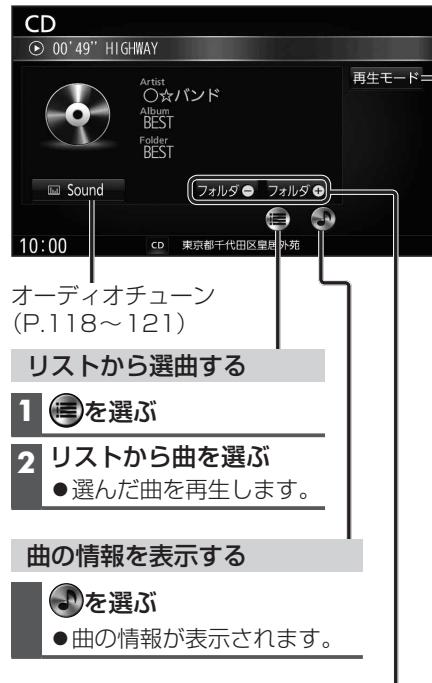
- [CD]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」
- ディスクの出し入れ→P.91

MP3/WMAを再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、[♪]を押してください。

- 本機で再生できるディスクについて→P.91、201
- 再生順序やタイトル表示・データ作成時の留意点について→P.205

ディスク再生画面(MP3/WMA)



再生モード切換 (リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生を切り換える

- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
リピートトラック→リピートフォルダ

↑通常再生 ← →

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャンを選ぶ

- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

フォルダを選ぶ

フォルダ⊖ / フォルダ⊕ を選ぶ

- 選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

早送り・早戻し

◀◀ ▶▶ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

◀◀ ▶▶ を押す

お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

ブルートゥースオーディオ

BLUETOOTH Audioを再生する

- [BLUETOOTH Audio]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

準備

- BLUETOOTH対応機器を本機に登録してください。(P.126)

BLUETOOTH Audio再生画面



オーディオチューン
(P.118~121)

選曲モードから選曲する

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲方法を選ぶ

- 「曲」を選んだ場合→手順4

3 リストからフォルダを選ぶ

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- 再生中画面: BLUETOOTH Audio再生画面に戻る

再生モード切換(リピート/ランダム)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

一時停止

再生中に ■ を選ぶ

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

お知らせ

- 接続機器によっては、音声出力や画面表示に時間がかかる場合があります。
- 接続機器によっては、音楽プレーヤーを起動する必要があります。また、音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない場合があります。
- 接続機器によっては、画面表示が更新されない場合があります。
- 接続機器によっては、タイトル、Artist、Albumが表示されない場合があります。
- 接続機器や使用する音楽プレーヤーによっては、ナビゲーションから操作できない場合があります。その場合は、接続機器で操作してください。
- 接続機器が動画再生中の音声をBLUETOOTH Audioとしてナビゲーションから出力する場合、接続機器側の映像よりも音声が遅れて出力される場合があります。
- 接続するスマートフォンで複数のアプリを起動している場合、ナビゲーションから操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前に全てのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器やナビゲーションとの接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。例: iPhoneにて、ケーブル接続している場合
- タイトル、Artist、Albumの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

音楽CDをSDメモリーカードに録音し、再生することができます。

- 本機で録音した音楽データは、本機のみで再生可能な音楽データのため、本機以外の機器（パソコンなど）では再生できません。

録音に関する設定をする

1 オーディオメニュー(P.24)からCDを選ぶ

2 録音設定を選ぶ

3 録音設定画面から、録音に関する設定をする



■ 録音管理

- **自動録音**：録音していない曲を、自動的に全て録音
[お買い上げ時の設定]
- **手動録音**：曲を選んで録音

■ 音質

◀/▶で音質を選ぶ

[お買い上げ時の設定: 256 kbps]

- 録音曲数の目安*¹
 - 320kbps: 約 874曲
 - 256kbps: 約 1 092曲
 - 192kbps: 約 1 456曲
 - 128kbps: 約 2 184曲
 - 96kbps: 約 2 912曲

4 戻るを選ぶ

* 1 付属のSDHCメモリーカード(8 GB)に、4分程度の曲を録音した場合。
(ファイル管理上は、最大 10 000曲/10 000アルバムまで保存できます。)

お知らせ

- 録音中は設定を変更できません。録音完了後または録音を停止(P.99)したあとに設定を変更してください。

録音する

音楽CDの録音について

- 録音中にCD以外のオーディオ、Drive P@ssやAUDIO OFFに切り換えると、録音は継続されます。その場合、本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り換わります。(4倍速～8倍速)
- CD以外のオーディオに切り換えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
- アルバム/曲の情報は、本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が付与されます。
- タイトル情報が付与されない（本機のGracenoteデータベースがない）場合は、タイトルを手動で編集(P.102)、パソコンの専用アプリ「Title Finder」を使用してインターネット経由で取得(P.106)、またはスマートフォン向けアプリ Drive P@ss (P.108)の「Title Finder」を使用して取得できます。「Title Finder」については、下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>
- ディスクに保存されたMP3/WMAファイルは、録音できません。
- ノンストップCDを録音した場合、再生時に曲間で音が途切れます。
- 録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
- 高温時は、録音できない場合があります。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。

準備

- 音楽CDの録音に関する設定→P.98
- 本機で初期化したSDメモリーカードを挿入してください。(P.110、184)

1 音楽CDを挿入する(P.91)

2 録音設定が「自動録音」の場合

音楽CDの再生とともに、自動的に録音を開始します。



録音中に表示されます

■ 録音を停止するには

録音中画面から**録音中止**を選ぶ

録音設定が「手動録音」の場合

■ 全曲を録音する場合

1 録音を選ぶ

2 全曲録音を選ぶ

3 録音開始を選ぶ

● 未録音の曲を全て録音します。

■ 選んだ曲を録音する場合

1 録音を選ぶ

2 選択曲録音を選ぶ

3 リストから曲を選び、決定を選ぶ

4 録音開始を選ぶ

■ 録音を停止するには

録音中画面(左記)から**録音中止**を選ぶ

お知らせ

- 1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音設定にかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音（上記）を行ってください。

お願い

- SDメモリーカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・消去しないでください。
録音したデータが正しく再生されない場合があります。

音楽CD録音時の制限について

- 本機の動作が遅くなる場合があります。
- 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。次回車のACCをONにしたとき、停止したところから録音を再開します。
- **録音中は音楽CDにに対して下記の操作ができません。***¹
 - 頭出し
 - 再生モード切換（リピート/ランダム/スキャン）
 - 早送り/早戻し
 - タイトル情報検索のための音楽情報の出力と更新
 - 録音設定
- 連続複製防止システム(SCMS)の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。

* 1 録音終了時点に再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード（リピート/ランダム/スキャン）の切換などの操作はできません。

本機で録音した音楽データを再生する

[MEMORY MUSIC]に切り換えるには→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

- 準備**
- 本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音してください。(P.99)

MEMORY MUSIC再生画面



オーディオチューン
(P.118~121)

リストから選曲する

- 1 リストに表示させる項目を選ぶ
 - : アルバム/アーティスト/ジャンルのリストを表示
 - : 曲のリストを表示
 - を選ぶと、MEMORY MUSIC再生画面が表示されます。
- 2 (アルバムリストの場合のみ)
リストからアルバムを選ぶ
- 3 リストから曲を選ぶ
 - 選んだ曲の再生を開始します。

早送り・早戻し

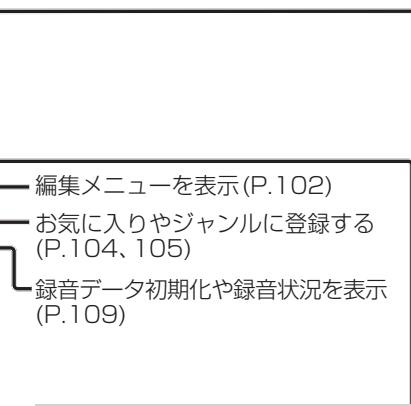
- を押し続ける
●離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

- を押す

お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。



再生モード切換 (リピート/ランダム/スキャン)

- 1 **再生モード**を選ぶ
- 2 **再生**を切り換える
 - 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
 - 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

- リピート**を選ぶ
● 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

- ランダム**を選ぶ
● 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

- スキャン**を選ぶ
● 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

選曲モードを選ぶと、選曲画面が表示されます。



お気に入りを選んで再生する

- 準備**
- お気に入りを登録してください。(P.104)

- 1 **お気に入り**を選ぶ
- 2 リストから
お気に入りアルバム/
お気に入りトラックの
フォルダを選ぶ
 - **再生中画面**：MEMORY MUSIC再生画面に戻る
- 3 (お気に入りアルバムの
フォルダを選んだ場合のみ)
リストからアルバムを選ぶ
- 4 **リストから曲**を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。

お知らせ

- 走行中はアルバム、アーティスト、ジャンル、お気に入りを選んでもリストは表示されず、選んだフォルダの先頭の曲から再生されます。

全ての曲から選んで再生する

- 1 **全曲**を選ぶ
 - SDメモリーカードに録音された全曲のリストが表示されます。

- 2 **リストから曲**を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。
 - 録音日の新しい順に表示されます。
 - **再生中画面**：MEMORY MUSIC再生画面に戻る

アルバムから選んで再生する

- 1 **アルバム**を選ぶ
- 2 リストからアルバムを選ぶ
 - **名前順**：50音順に並べ換え
 - **登録順**：録音日の新しい順に並べ換え
 - **再生中画面**：MEMORY MUSIC再生画面に戻る

- 3 アルバムから曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。

アーティストを選んで再生する

- 1 **アーティスト**を選ぶ
- 2 リストからアーティストを選ぶ
 - **名前順**：50音順に並べ換え
 - **登録順**：録音日の新しい順に並べ換え
 - **再生中画面**：MEMORY MUSIC再生画面に戻る
- 3 リストからアルバムを選ぶ
- 4 アルバムから曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。

ジャンルを選んで再生する

- 1 **ジャンル**を選ぶ
 - ジャンル情報のないトラックは、**その他**に分類されます。
- 2 リストからジャンルを選ぶ
 - **再生中画面**：MEMORY MUSIC再生画面に戻る
- 3 リストから曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。

本機で録音した音楽データを編集する

- タイトルが付与されていなかったり、誤ったタイトルが付与されているアルバムは、パソコンやスマートフォンを使用してGracenoteデータベースを更新すると、正しい情報が付与される場合があります。(P.106~108)
- それでも正しい情報が付与されない場合は、下記の手順から手動で編集することもできます。

お知らせ

- 録音中は編集できません。
- 文字入力のしかた→P.200

アルバムの情報を編集する

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.100)から**編集**を選ぶ

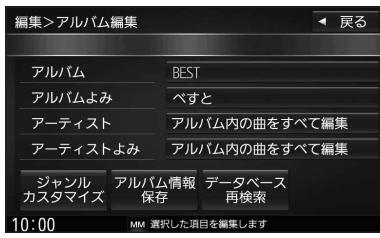
2 編集メニューから、**曲管理**を選ぶ

- **現在のアルバム**: 再生中のアルバムのアルバム編集画面を表示
- **現在の曲**: 再生中の曲の情報編集画面を表示
- **再生中は[はい]**を選んで再生を停止してください。

3 曲管理画面から 編集したい アルバムを選び、 **アルバム編集**を 選ぶ



4 アルバム編集画面 からアルバムの 情報を編集する (右記)



項目	操作	
アルバム名を編集する	アルバム名にタッチする	アルバム名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで
アルバムのよみを 編集する	アルバムよみにタッチする	アルバムのよみを入力する ● 全角32文字まで
アーティスト名を 編集する	アーティストの アルバム内の曲をすべて編集	アーティスト名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで
アーティストのよみを 編集する	アーティストよみの アルバム内の曲をすべて編集	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで
ジャンルを変更する	ジャンルカスタマイズ	ジャンルを選ぶ
アルバムの情報を保存する (P.107)	アルバム情報保存	● カスタムアップデート時、アルバムの情報がSDメモリーカード/ USBメモリーに書き出されます。(P.107)
アルバムの情報を更新する (P.106~107)	データベース再検索	(複数の候補がある場合のみ) リストからアルバム名を選ぶ

お知らせ

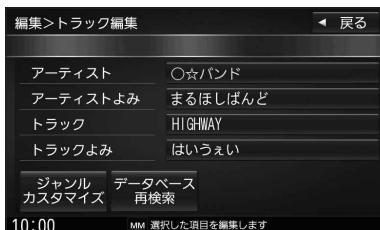
- データベース再検索を行うと、手動で編集したタイトルは、録音時に自動で付与されたタイトルに戻ります。
- タイトル情報を編集しても、本機のGracenoteデータベースは更新されません。
そのため、SDメモリーカードに録音したアルバム・曲情報は更新されますが、CD再生時は編集されていない情報が表示されます。

曲の情報を編集する

1 曲管理画面(上記)から編集したい曲が収録された アルバムを選び、**トラック表示**を選ぶ

2 編集したい曲を選び、**トラック編集**を選ぶ

3 トラック編集画面 から曲の情報を 編集する(右記)



項目	操作	
アーティスト名を 編集する	アーティスト名にタッチする	アーティスト名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで
アーティストのよみを 編集する	アーティストのよみにタッチする	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで
曲名を編集する	曲名にタッチする	曲名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで
曲のよみを編集する	曲のよみにタッチする	曲のよみを入力する ● 全角32文字まで
ジャンルを変更する	ジャンルカスタマイズ	ジャンルを選ぶ
曲の情報を更新する (P.106~107)	データベース再検索	(複数の候補がある場合のみ) リストから曲名を選ぶ

本機で録音した音楽データを編集する

再生中のアルバム・曲をお気に入りに登録する

1 MEMORY MUSIC 再生画面(P.100)から **登録** を選ぶ

2 **お気に入り** を選ぶ

- 再生中は **はい** を選んで再生を停止してください。

3 再生中のアルバムを登録する場合

アルバムを登録する

お気に入りフォルダを選ぶ

- 1 フォルダあたり 200 アルバムまで

●フォルダ名は編集できます。

・お買い上げ時のフォルダ名:

お気に入りアルバム1～お気に入りアルバム4

4 再生中の曲を登録する場合

曲を登録する

お気に入りフォルダを選ぶ

- 1 フォルダあたり 200 曲まで

●フォルダ名は編集できます。

・お買い上げ時のフォルダ名:

お気に入りトラック1～お気に入りトラック4

アルバム・曲をお気に入りに登録する

1 曲管理画面(P.102)から登録するアルバム・曲を選ぶ

2 **お気に入り登録** を選ぶ

3 登録するお気に入りフォルダを選ぶ

- お気に入りアルバム: 1 フォルダあたり 200 アルバムまで

- お気に入りトラック: 1 フォルダあたり 200 曲まで

お気に入りフォルダの名称を変更する

1 MEMORY MUSIC 再生画面(P.100)から **編集** を選ぶ

2 **お気に入り管理** を選ぶ

- 再生中は **はい** を選んで再生を停止してください。

3 名称を変更したいお気に入りフォルダを選ぶ

4 **フォルダ名編集** を選ぶ

5 **名称を入力し、決定** を選ぶ

- 全角32文字(半角64文字)まで

お気に入りに登録したアルバム・曲を削除する

1 MEMORY MUSIC 再生画面(P.100)から **編集** を選ぶ

2 **お気に入り管理** を選ぶ

- 再生中は **はい** を選んで再生を停止してください。

3 削除したいアルバム・曲のあるお気に入りフォルダを選び、**フォルダ内表示** を選ぶ

- 削除** を選ぶと、お気に入りフォルダ内の曲を一括で削除します。

4 削除したいアルバム・曲を選び、**削除** を選ぶ

5 **はい** を選ぶ

- 選んだアルバム・曲が削除されます。

- お気に入りフォルダから削除されたアルバム・曲は、通常のアルバム・曲として残ります。(消去されません。)

ジャケット写真を登録する

最大 1 024 × 1 024 ピクセルの JPEG 形式の画像を登録できます。

1 曲管理画面(P.102)から登録するアルバムを選ぶ

2 **ジャケット写真** を選ぶ

3 ジャケット写真が保存されたメディア(SDカード/USB)を選び、**ジャケット写真を選択する** を選ぶ

4 **フォルダ** を選ぶ

5 **画像** を選ぶ

- 選んだアルバムに、選んだ画像がジャケット写真として登録されます。



アルバム・曲を再生する/しないを設定する

1 曲管理画面(P.102)から **再生選択** を選ぶ

2 **再生しない** アルバム・曲を選んでチェック(✓)を外し、**決定** を選ぶ

- チェックを外したアルバム・曲が再生されなくなります。

- チェックを入れると、再度再生されるようになります。

- 全選択: すべてのアルバム・曲にチェックを入れる

- 全解除: すべてのアルバム・曲のチェックを外す

再生中のアルバム・曲にジャンルを登録する

1 MEMORY MUSIC 再生画面(P.100)から **登録** を選ぶ

2 **ジャンル** を選ぶ

- 再生中は **はい** を選んで再生を停止してください。

3 再生中のアルバムを設定する場合

アルバム単位 を選ぶ

4 再生中の曲を設定する場合

トラック単位 を選ぶ

4 **ジャンル** を選ぶ

アルバム・曲を削除する

1 曲管理画面(P.102)から削除するアルバム・曲を選ぶ

2 **削除** を選ぶ

3 **はい** を選ぶ

- 選んだアルバム・曲が削除されます。

本機で録音した音楽データを編集する

パソコンでGracenoteデータベースを更新する(ローカルアップデート)

Webサイトから更新データをダウンロードして、本機のGracenoteデータベースを更新できます。詳しくは、右記サイトをご覧ください。<http://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>

お知らせ

- Gracenoteデータベースはパブリックなデータベースですので、データベースの内容を100%保証するものではありません。

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンに挿入する

2 Webサイトから、Gracenoteデータベースの更新データをダウンロードして、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存する

3 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する



4 Gracenoteデータベースを更新する

- ① オーディオチューン画面(P.118)からgracenoteを選ぶ
- ② ローカルアップデート(定期更新)を選ぶ
- ③ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、[はい]を選ぶ
- ④ 更新データを保存したメディア(SDカード/USB)を選び、[更新開始]を選ぶ
 - [更新履歴]: ローカルアップデートの更新履歴を表示
- ⑤ [はい]を選ぶ
 - 本機のGracenoteデータベースが更新されます。

5 タイトル情報を更新する

- ① 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/曲編集画面から[データベース再検索]を選ぶ(P.103)
 - 取得したタイトル情報に更新されます。

パソコンでタイトル情報を個別に更新する(カスタムアップデート)

新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、個別にGracenote音楽認識サービスから検索して取得できます。

準備(初回のみ)

- 専用アプリ「Title Finder」をWebサイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。詳しくは、右記サイトをご覧ください。<http://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーにアルバム情報を書き出す

- ① 情報を取得したいアルバムのアルバム編集画面(P.102)から、[アルバム情報保存]を選ぶ
 - 複数ある場合は、この手順を繰り返し、アルバム情報を保存してください。
- ② オーディオチューン画面(P.118)からgracenoteを選ぶ
- ③ カスタムアップデート(個別更新)を選ぶ
- ④ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、[はい]を選ぶ
- ⑤ アルバム情報を書き出すメディア(SDカード/USB)を選び[書き出し]を選ぶ
- ⑥ [はい]を選ぶ
 - アルバム情報ファイル「export.dat」が、SDメモリーカードの「NVDATA」フォルダに出力されます。
 - 手順①で保存されたアルバム情報が、すべて書き出されます。

2 SDメモリーカードまたはUSBメモリーを本機から取り出し、パソコンに挿入する

3 Title Finderを起動しGracenote音楽認識サービスからタイトル情報をダウンロードして、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存する



4 タイトル情報取得が完了したら、SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する

5 タイトル情報を更新する

- ① オーディオチューン画面(P.118)からgracenoteを選ぶ
- ② カスタムアップデート(個別更新)を選ぶ
- ③ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、[はい]を選ぶ
- ④ タイトル情報を取り込むメディア(SDカード/USB)を選び[取り込み]を選ぶ
- ⑤ [はい]を選ぶ
 - タイトル情報が取り込まれます。
- ⑥ 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/曲編集画面から[データベース再検索]を選ぶ(P.103)
 - 取得したタイトル情報に更新されます。

本機で録音した音楽データを編集する

スマートフォンでタイトル情報を個別に更新する

スマートフォンの通信機能を利用して、新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、個別にGracenote音楽認識サービスから検索して取得できます。

準備(初回のみ)

- 「Drive P@ss」(P.136)をスマートフォンにインストールしてください。
- 詳しくは、アプリ内の操作ガイド、または下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>

1 スマートフォンを本機に機器登録し、スマホ連携接続する(P.137)

2 Drive P@ssに切り換える(P.140)

3 アプリ選択画面から Title Finder を選ぶ

4 検索する を選ぶ

- 本機からスマートフォンへタイトル情報を出し、Gracenoteサーバーにアクセスして、タイトル情報を取得します。
- タイトル情報を取得すると、タイトルリストが表示されます。

5 タイトルリストから 設定する を選ぶ

- タイトル情報が更新されます。

タイトル情報に複数の候補がある場合は

タイトル情報に複数の候補がある場合は、「複数候補あり」と表示されます。候補から、正しいタイトル情報を選んでください。

1 リストから「複数候補あり」と表示されたタイトルを選ぶ

- 候補のリストが表示されます。

2 リストからタイトルを選び、確定する を選ぶ

- 選んだタイトルがタイトルリストに反映されます。
- 「複数候補あり」と表示されたタイトルがほかにもある場合は、再度手順1～2を行ってください。

3 設定する を選ぶ

- タイトル情報が更新されます。

6 終了する を選ぶ

- TitleFinderを終了します。

SDメモリーカード内の録音状況を確認する

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.100)から 情報 を選ぶ

2 SDカード情報 を選ぶ

- 再生中は「はい」を選んで再生を停止してください。
- SDメモリーカードの使用済み割合・空き容量・録音可能時間・設定中の録音音質が表示されます。

録音した音楽データを初期化する

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.100)から 情報 を選ぶ

2 録音データ初期化 を選ぶ

- 再生中は「はい」を選んで再生を停止してください。

3 はい を選ぶ

- 録音した音楽データがすべて消去されます。

SDメモリーカード/USBメモリーを再生する

●[SD]/[USB]に切り換えるには→P.80「オーディオの種類を選ぶ」
●本機では、SD-Audio規格準拠の音楽データは再生できません。

- 本機では、SDメモリーカード/USBメモリーを使用して、音楽(MP3/WMA/AAC)、静止画(JPEG)、動画(MPEG4)の再生ができます。
- データ作成時の留意点については、P.205~207をご覧ください。

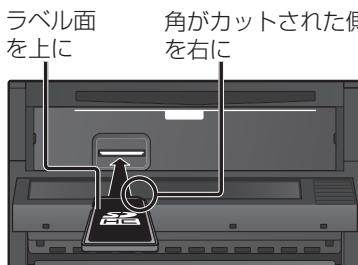
SDメモリーカードを挿入する

- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差してください。

1 ▲を押す

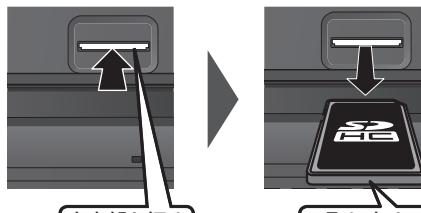
2 OPEN/EJECT画面(P.91)からOPENを選ぶ
●モニターが開きます。

3 SDメモリーカードを奥までまっすぐに挿入する
●力ちッと音がするまで差し込む。
●自動的にモニターが閉まります。
●モニターが閉まらない場合は、SDメモリーカードが奥までしっかり入っているか確認してください。



SDメモリーカードを取り出す

上記手順3の状態で、SDメモリー カードを取り出す

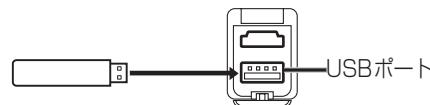


- ▲を押して、モニターを閉じてください。

USBメモリーを本機と接続する

NSZN-X67D

市販 USBメモリー 車両側入力端子



NSZN-W67D

市販 USBメモリー 本機のUSB端子



お願い

- オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- USBメモリーおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
- USBメモリーを車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
- 正しく動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再度接続してください。

お知らせ

- USBメモリーとiPodは、同時には接続できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

音楽(MP3/WMA/AAC)を再生する

準備

- 音楽が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、音楽が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.110)

音楽再生画面(例:SD)



フォルダを選んで選曲する

1 ◎を選ぶ

2 フォルダを選ぶ

- 選んだフォルダの1曲目から再生します。
- ◎を選ぶと、音楽再生画面が表示されます。

再生中のフォルダのリストから選曲する

1 ◎を選ぶ

2 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- ◎を選ぶと、音楽再生画面が表示されます。

早送り・早戻し

- ◀◀ ▶▶を押し続ける
●離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

◀◀ ▶▶を押す

お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Genre、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

選曲モードから選曲する

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲する方法を選ぶ

- 全曲: 全フォルダの全曲から選ぶ
- フォルダ: 選んだフォルダから選ぶ

3 (「フォルダ」の場合のみ)
リストからフォルダを選ぶ

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- 再生中画面: 音楽再生画面に戻る

再生モード切換
(リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャンを選ぶ

- 再生中のリストの中の全曲を約10秒再生します。

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換を選ぶ

2 音楽ファイル/画像ファイル/
動画ファイルを選ぶ

SDメモリーカード/USBメモリーを再生する

[SD][USB]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

静止画を再生する

準備

- 画像が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、画像が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.110)

画像操作画面(例:SD)



画像を全画面で表示する

画像再生画面をタッチする

- 全画面で表示します。
- もう一度画面をタッチすると、画像操作画面が表示されます。
- 画像操作画面で約10秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

次/前の画像に切り替える

全画面表示中に、左右にフリックする

- 次/前の画像に切り換わります。
- [◀][▶]を押しても切り換わります。

画像をスライドショーで再生する

スライドショーを選ぶ

- 画像をスライドショーで表示します。

スライドショーを停止するには

スライドショーの画面をタッチする

- 再生間隔: 再生間隔を設定
3秒[お買い上げ時の設定]/
10秒/30秒/1分
- 開始: スライドショーを開始
- 終了: スライドショーを終了

画像を回転させる

回転を選ぶ

- 画像を右方向に90度回転します。

リストから選ぶ

1 リストを選ぶ

2 フォルダを選ぶ

- サムネイル画面が表示されます。

3 サムネイルから画像を選ぶ



音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換を選ぶ

2 音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイルを選ぶ

動画を再生する

準備

- 動画が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、動画が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.110)

再生画面にタッチすると、動画操作画面が表示されます。

動画操作画面(例:SD)



一時停止

▶をを選ぶ

- 再度選ぶと、再生を再開します。

リストから選ぶ

1 再生リストを選ぶ

2 リストからファイルを選ぶ

- 選んだ動画を再生します。

再生中のフォルダ以外から選ぶには

1 再生リストを選ぶ

2 リスト変更を選ぶ

3 選択する方法を選ぶ

- 全ファイル: 全フォルダの全ファイルから選ぶ
- フォルダ: 選んだフォルダから選ぶ

4 (「フォルダ」の場合のみ) リストからフォルダを選ぶ

5 リストからファイルを選ぶ

- 選んだ動画を再生します。
- 再生中画面: 動画再生画面に戻る

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換を選ぶ

2 音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイルを選ぶ

適合機種(2016年6月現在 接続確認済み)

Made for		
iPhone 6s Plus	iPhone 3GS	iPod nano 第7世代
iPhone 6s	iPhone 3G	iPod nano 第6世代
iPhone 6 Plus	iPod touch 第5世代	iPod nano 第5世代
iPhone 6	iPod touch 第4世代	iPod nano 第4世代
iPhone 5s	iPod touch 第3世代	iPod nano 第3世代
iPhone 5c	iPod touch 第2世代	iPod nano 第2世代
iPhone 5	iPod touch 第1世代	iPod nano 第1世代
iPhone 4s		iPod classic
iPhone 4		

最新の適合機種および接続情報については、下記サイトをご覧ください。

<http://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>

※本書では特にことわりのない限り、上記のiPod/iPhoneを「iPod」と表記しています。

お願い

- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- iPodのリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- iPodおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
- iPodを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。

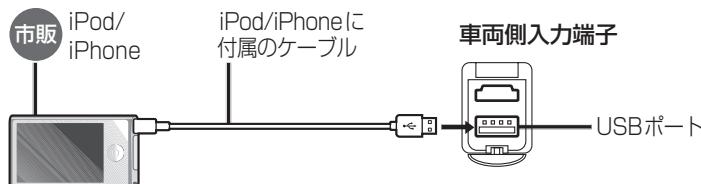
お知らせ

- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodまたはiPhoneをP.115のとおりに接続すると、そちらの接続が優先されるため、iPhoneで「ここに」と、「Drive P@ss」、「NaviCon®」、「CarAV remote」を利用することはできません。
- ケーブルで接続するiPhoneをBLUETOOTH Audio機器としても登録している場合は、iPhoneを操作して音声出力先を「Dockコネクタ」に設定してください。機種やOSのバージョンによっては、音声出力先の設定を切り換えられない場合があります。

iPodを本機に接続する

- ケーブルで接続するiPhoneをBLUETOOTH Audio機器としても登録している場合は、iPhoneを操作して音声出力先を「Dockコネクタ」に設定してください。機種やOSのバージョンによっては、音声出力先の設定を切り換えられない場合があります。
- iPodビデオは再生できません。

NSZN-X67D



NSZN-W67D



iPodを再生する

[iPod]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

音楽を再生する

アルバムアートワーク

表示サイズは、iPodの仕様により異なります。
●下記の場合は表示されません。

- ・アルバムアートワークがない
- ・アルバムアートワーク取得中
- ・本機でアルバムアートワークを表示できないiPodを接続している

iPodミュージック再生画面



オーディオチューン
(P.118~121)

リストの種類を切り換える

- ・ : ジャンルリスト
- ・ : アーティストリスト
- ・ : アルバムリスト

リストから選曲する

- ・再生する曲を選択
- ・選んだ曲を再生します。

曲の情報を表示する

を選択

- ・曲の情報が表示されます。
- ・を選択すると、リスト表示に戻ります。

早送り・早戻し

を押し続ける

- ・離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

を押す

選曲モードから選ぶ

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲する方法を選ぶ

- | | |
|----------|---------|
| ・全 曲 | ・ジャンル |
| ・アル バ ム | ・プレイリスト |
| ・アーティスト | ・作 曲 者 |
| ・ポッドキャスト | |

3 トラック/エピソードのリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ

- ・すべて：表示している全項目の下の階層を表示

4 リストから曲を選ぶ

- ・選んだ曲を再生します。
- ・再生中画面：iPodミュージック再生画面に戻る

一時停止

を選ぶ

- ・再度選ぶと、再生を開始します。

再生モード切換(リピート/シャッフル)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- ・選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- ・再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

- ・再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(シャッフル)

シャッフルを選択

- ・選ぶごとに下記のように切り換わります。
シャッフルトラック→シャッフルアルバム
↑通常再生←

現在地画面にオーディオ映像を表示する

現在地画面に、TV DVD SD(動画) USB(動画) HDMI Drive Pass の映像を表示できます。

1 現在地画面で LAUNCHER を選ぶ

2 ランチャーメニューから 右画面表示 を選ぶ

3 右画面表示設定画面から デュアルウィンドウ を選ぶ

- ・現在地画面にオーディオ映像が表示されます。



- ・右画面(オーディオ画面)をタッチすると、オーディオが全画面表示されます。

お知らせ

- ・走行中は、オーディオ映像は非表示になります。

地図上にオーディオ映像を表示させるときは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキを引いてご覧ください。

- ・拡大図(P.34)表示中や地図モード画面(P.38)、渋滞・規制情報の割り込み表示中(P.76、77)は、オーディオ映像は表示されません。

- ・現在地画面のオーディオ映像は、表示位置の変更ができません。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

[太字: お買い上げ時の設定]

1 情報・設定メニュー(P.24)から オーディオチューンを選ぶ

- FM/AM、CD、BLUETOOTH Audio、MEMORY MUSIC、SD(音楽)、USB(音楽)、iPodから Sound を選んでも、オーディオチューン画面を表示します。

2 オーディオチューン画面から、各項目を設定する(右記)



お知らせ

- FADE/BALANCE、音響効果、イコライザーは、AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。

* 1 音の匠とは

レコーディングエンジニア集団MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しめます。

NSZN-X67D

車種選択(P.14)で設定された車種に応じてチューニングされます。

例:Tantoの場合



項目	設定内容/操作			
FADE/BALANCEの出力レベルを調整する	FADE/BALANCEの詳細設定を選ぶ	▲ ▼ ◀ ◁ ◁ で調整する		
音響効果を設定する	◀ ▶でエフェクトを選ぶ	音の匠 ^{*1}	◀ ▶でサラウンドを選ぶ	● センターを選ぶと、値が0になります。
		「匠 マスターサウンド」: レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現します。 「極 高域強調」: 音楽性を重視して高域補正した、メリハリのある感じで音楽を楽しめるモード 「和 会話重視」: 人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード	DSP	「匠 マスターサウンド」: レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現します。 「極 高域強調」: 音楽性を重視して高域補正した、メリハリのある感じで音楽を楽しめるモード 「和 会話重視」: 人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード
		OFF: 音響効果OFF		
イコライザーで音質を設定する	イコライザーブリセットから音質を選ぶ	音質(VOCAL ROCK JAZZ USER OFF)を選ぶ		
		VOCAL: 中音域から高音域にかけて強調した音質 ROCK: 中音域をやや抑え、低音域・高音域を強調した音質 JAZZ: 中音域をやや抑え、低音域・高音域をやや強調した音質 USER: お好みで設定された音質(下記) OFF: ±0のフラットな音質		
	イコライザーを詳細に設定する	イコライザーブリセットの詳細設定を選ぶ	USERを選び	各周波数の値を ▲ ▼で調整する
	イコライザーの設定を初期化する	初期化したいブリセットを選ぶ	初期化を選ぶ	● 選んだイコライザーの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
車速連動音量を設定する	車速連動音量を選ぶ	車速に応じてオーディオの音量を上げる度合い(HIGH MIDDLE LOW OFF)を選ぶ		
		HIGH: 大きい MIDDLE: HIGHとLOWの中間 LOW: 小さい OFF: 車速に応じてオーディオの音量を上げない		
Gracenoteをアップデートする	gracenoteを選ぶ	定期更新	ローカルアップデート(定期更新)を選ぶ→P.106	
		個別更新	カスタムアップデート(個別更新)を選ぶ→P.107	
		データベースの初期化	初期化を選ぶ	はいを選ぶ
		● ローカルアップデート、カスタムアップデートの内容がすべて消去されます。		はいを選ぶ

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

[太字: お買い上げ時の設定]

1 情報・設定メニュー(P.24)からオーディオチューンを選ぶ

- FM/AM、CD、BLUETOOTH Audio、MEMORY MUSIC、SD(音楽)、USB(音楽)、iPodから Sound を選んでも、オーディオチューン画面を表示します。

2 各項目を設定する(右記)



項目	設定内容/操作		
スピーカー出力レベルを設定する 準備 1 オーディオをFMまたはAMに切り換える 2 放送局がない周波数に合わせる スピーカーディレイを設定する	スピーカー設定を選ぶ	スピーカー出力レベルを選ぶ ◀ ▶で各スピーカーの出力レベルを調整する NSZN-X67D [お買い上げ時の設定: 車両にあわせて設定済み] NSZN-W67D [お買い上げ時の設定: ±0 dB] ● 調整範囲: -12 dB～±0 dB～+12 dB ● ラジオの「ザー」という音が最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。	
	スピーカーディレイを選ぶ ◀ ▶で各スピーカーの距離を調整する [お買い上げ時の設定: 100 cm] ● 調整範囲: 0 cm～500 cm (2 cm刻み) ● 距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出力タイミングを遅らせます。 (10 cmあたり約0.3 ms)	例: フロントR 70 cm リアR 140 cm フロントL 100 cm リアL 150 cm 基準点 この距離を測定する 基準点 スピーカー	オーディオ 音質・音場を調整する(オーディオチューン)

映像を調整する

画質を調整する

1 画質調整画面または画面調整画面が表示されるまで、**[■]**を2秒以上押す

2 **[TV]** **[DVD]** **[SD(動画)]** **[USB(動画)]** **[HDMI]** の場合のみ

画面調整画面から**画質調整**を選ぶ



●画質調整画面が表示されます。

3 画質を調整する



お買い上げ時の設定に戻すには

初期値を選ぶ

色合い^{*1}

- ▶: 緑みが強くなる
- ◀: 赤みが強くなる

色の濃さ^{*1}

- ▶: 濃くなる
- ◀: 薄くなる

コントラスト

- ▶: 明暗の差が大きくなる
- ◀: 明暗の差が小さくなる

明るさ

- ▶: 明るくなる
- ◀: 暗くなる

ダイナミックガンマ^{*1}

- ONにすると、本機が自動的に色彩やコントラストを調整します。
- 選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。

* 1 ナビゲーション画面では調整・設定できません。

アスペクトを切り換える

画面調整画面（上記）からアスペクトを選ぶ [お買い上げ時の設定：フル]

フル 映像が画面全体になるように横方向に伸ばした画面
(どの位置も伸びす比率は同じ)

ワイド 16:9(横:縦)の画面
NSZN-X67D

上下が少し黒くなる。

NSZN-W67D

左右が少し黒くなる。

● 4:3の映像は、横方向に引き伸ばされます。

シネマ ノーマル画面の比率のまま、左右に合わせて拡大した画面
(上下が少しカットされる)

● **[DVD]**のみ

ノーマル 4:3(横:縦)の画面(左右が黒くなる)
● 16:9の映像は、横方向に圧縮されます。

BLUETOOTH通信を利用して、BLUETOOTH Audio(P.97)、ハンズフリー通話(P.132)、おでかけナビサポート「ここいこ♪」(P.141)、Drive P@ss(P.136)、NaviCon®(P.143)、音声認識*1(P.145)の機能を利用できます。

*1 NSZN-X67Dのみ

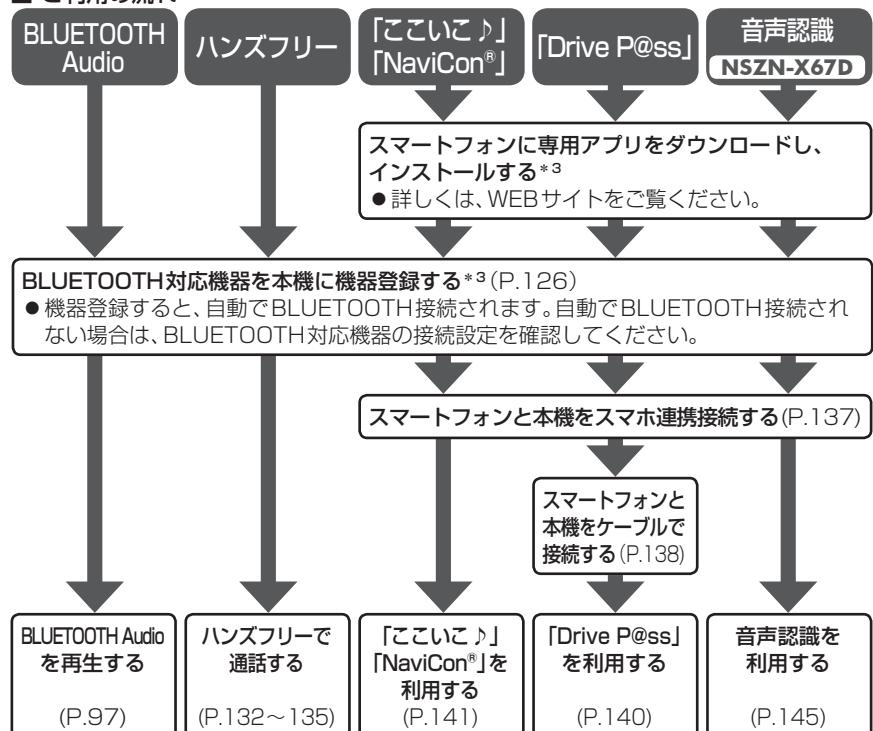
- ハンズフリー用携帯電話を4台まで登録でき、2台同時に接続できます。
- BLUETOOTH Audioを2台まで登録でき、1台に接続できます。
- スマートフォン連携機器は、ハンズフリー用に登録された機器から、1台接続できます。
- すでに最大数登録しているときは、不要な登録データを削除してください。(P.127)
- 操作方法は対応機器によって異なります。

■ 本機で利用できるプロファイルについて

サービス	プロファイル
ハンズフリー	Hands-Free Profile (HFP)
	Object Push Profile (OPP) Phone Book Access Profile (PBAP)
BLUETOOTH Audio	Advanced Audio Distribution Profile (A2DP) Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
「ここいこ♪」/「NaviCon®」*2	Serial Port Profile (SPP)
「Drive P@ss」*2	Serial Port Profile (SPP)
音声認識*2 NSZN-X67D	Hands-Free Profile (HFP)

*2 アプリは予告なく機能が変更されたり、サービスが終了となることがあります。

■ ご利用の流れ



*3 初回利用時のみ

登録・接続

BLUETOOTH対応機器を
本機に登録する 126

本機の準備をする 126

BLUETOOTH対応機器を
本機に機器登録する 126

BLUETOOTH対応機器の
登録データを削除する 127

BLUETOOTH対応機器を
手動で本機と接続する 128

ハンズフリー用の携帯電話を
手動で接続する 128

スマートフォン連携用の
スマートフォンを手動で接続する 128

BLUETOOTH Audio機器を
手動で接続する 129

BLUETOOTH対応機器の
詳細情報を見る 130

ハンズフリー用の携帯電話の
詳細情報を見る 130

BLUETOOTH Audio機器の
詳細情報を見る 130

本機の本体情報を確認する 131

本機のデバイス名とパスキーを
変更する 131

ハンズフリー

ハンズフリーで通話する 132

電話がかかってきたら 132

通話中の操作 132

電話番号を入力して電話をかける 133

リダイヤルする 133

発着信履歴から電話をかける 133

アドレス帳を登録する 134

アドレス帳から電話する 134

アドレス帳を削除する 135

ハンズフリー通話の設定をする 135

スマートフォン

Drive P@ssを利用する
(スマートフォン連携) 136

Drive P@ssとは 136

スマートフォンの準備をする
(初回利用時のみ) 136

本機の準備をする
(初回利用時のみ) 136

スマートフォンを本機に機器登録する
(初回利用時のみ) 137

スマートフォンと本機を
スマホ連携接続する 137

スマートフォンと本機を
ケーブルで接続する 138

Drive P@ssを利用する 140

「ここいこ♪/NaviCon®」
(スマートフォン連携) 141

おでかけナビサポート「ここいこ♪」とは 141

「NaviCon®」とは 141

ご利用の流れ 141

「ここいこ♪」を利用する 142

「NaviCon®」を利用する 143

スマートフォンをリモコンとして使う
(スマートフォン連携) 144

ご利用の流れ 144

CarAV remoteを利用する 144

音声認識

音声認識で目的地を検索する 145

いろいろな音声認識(例) 146

検索結果画面の操作のしかた 146

ステアリングスイッチの音声認識設定 147

BLUETOOTH対応機器を本機に登録する

「BLUETOOTHについて」(P.208)をよくお読みください。

初回利用時のみ必要な設定です。

本機の準備をする

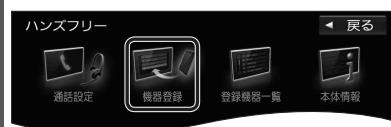
例: BLUETOOTH対応携帯電話を本機とハンズフリー接続する場合

1 本機での操作

情報・設定メニュー (P.24) から
システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から BLUETOOTH を選ぶ

3 BLUETOOTH設定画面から 機器登録 を選ぶ



4 ハンズフリー を選ぶ

● BLUETOOTH Audio機器として接続する場合は、BLUETOOTH Audio を選んでください。

5 (すでにBLUETOOTH対応機器が本機にBLUETOOTH接続されている場合) はい を選ぶ

● 端末登録設定画面が表示されます。
● BLUETOOTH対応機器と本機とのBLUETOOTH接続が、すべて切断されます。



お知らせ

- BLUETOOTH設定画面は、下記の方法でも表示できます。
 - ・ツートップメニューから
ハンズフリー▶**設定** を選ぶ
 - ・BLUETOOTH Audio機器が登録されていない状態で、BLUETOOTH Audio画面から**設定** を選ぶ

BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録する

6 BLUETOOTH対応機器での操作

周辺のBLUETOOTH対応機器(本機)を探す

●周辺のBLUETOOTH対応機器が検索され、登録機器リストが表示されます。

7 登録する機器(本機)を選ぶ

8 (パスキー入力画面が表示された場合のみ)
本機のパスキー(P.131)を
BLUETOOTH対応機器に入力する

●お買い上げ時の設定

- ・ハンズフリーパスキー: 1212
- ・BLUETOOTH Audioパスキー: 0000

●BLUETOOTH対応機器によっては、この操作は必要ありません。

9 BLUETOOTH対応機器を本機に接続する

お知らせ

- ハンズフリー用携帯電話を4台まで登録でき、2台同時に接続できます。
- BLUETOOTH Audioを2台まで登録でき、1台に接続できます。
- スマートフォン連携機器は、ハンズフリー用に登録された機器から、1台接続できます。

BLUETOOTH対応機器の登録データを削除する

一度削除するとともどに戻せません。(再度登録が必要になります。)

削除は十分確認のうえ行ってください。

ハンズフリー用の携帯電話を削除するには

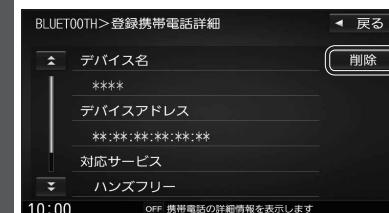
1 本機での操作

BLUETOOTH設定画面 (P.126) から
登録機器一覧 を選ぶ

2 ハンズフリー を選ぶ

3 削除したい機器を選ぶ

4 削除 を選ぶ



5 はい を選ぶ

●削除完了のメッセージが表示されるまで、本機の電源を切らないでください。登録データの削除が正しく行われない場合があります。

お知らせ

- 再度登録する場合には、BLUETOOTH対応機器側の登録も解除してください。

BLUETOOTH Audio機器を削除するには

1 本機での操作

BLUETOOTH設定画面 (P.126) から
登録機器一覧 を選ぶ

2 BLUETOOTH Audio を選ぶ

3 削除したい機器の、削除 を選ぶ



4 はい を選ぶ

●削除完了のメッセージが表示されるまで、本機の電源を切らないでください。登録データの削除が正しく行われない場合があります。

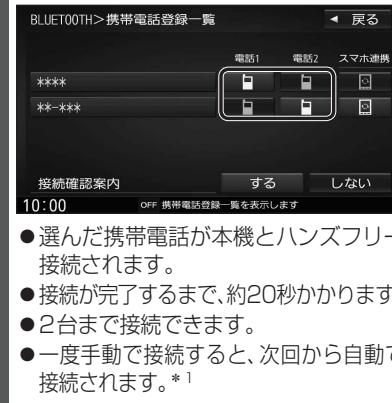
BLUETOOTH対応機器を 手動で本機と接続する

ハンズフリー用の携帯電話を 手動で接続する

1 BLUETOOTH設定画面(P.126)から **登録機器一覧** を選ぶ

2 **ハンズフリー** を選ぶ

3 接続したい携帯電話の「電話1」または「電話2」を選ぶ



お知らせ

- 選んだ携帯電話が本機とハンズフリー接続されます。
- 接続が完了するまで、約20秒かかります。
- 2台まで接続できます。
- 一度手動で接続すると、次回から自動で接続されます。^{*1}

接続確認案内の設定をするには

■接続確認案内について

本機の電源がONになったとき、接続設定された携帯電話に接続できなかった場合に案内されます。

案内されるまでの時間は、接続した携帯電話の台数により異なります。

**携帯電話登録一覧(上記)から
接続確認案内する/しないを選ぶ**

接続を解除するには

**携帯電話登録一覧(上記)から
接続中の「電話1」または「電話2」を選ぶ**
●接続が解除されます。

スマートフォン連携用の スマートフォンを手動で接続する

準備

- 専用アプリケーション(無料)の「ここいこ♪」/「NaviCon®」/「Drive Pass」/「CarAV remote」をインストールして、起動してください。(P.136、141、144)
- スマートフォン連携用に接続したいスマートフォンを、本機にハンズフリー機器として登録してください。(P.126)

1 BLUETOOTH設定画面(P.126)から **登録機器一覧** を選ぶ

2 **ハンズフリー** を選ぶ

3 接続したいスマートフォンの「スマホ連携」を選ぶ



- 選んだ携帯電話が本機とスマホ連携接続されます。
- 一度手動で接続すると、次回から自動で接続されます。^{*1}

接続を解除するには

**携帯電話登録一覧(上記)から
接続中の「スマホ連携」を選ぶ**
●接続が解除されます。

BLUETOOTH Audio機器を 手動で接続する

1 BLUETOOTH設定画面(P.126)から **登録機器一覧** を選ぶ

2 **BLUETOOTH Audio** を選ぶ

3 接続したいBLUETOOTH Audio機器の**接続する** を選ぶ



- 選んだBLUETOOTH Audio機器が本機とBLUETOOTH Audio接続されます。
- 接続が完了するまで、約20秒かかります。
- 一度手動で接続すると、次回から自動で接続されます。^{*1}

接続を解除するには

**登録機器一覧(上記)から
接続中のBLUETOOTH Audio機器の
接続するを選ぶ**
●接続が解除されます。

*1 自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

BLUETOOTH対応機器の詳細情報を見る

ハンズフリー用の携帯電話の 詳細情報を見る

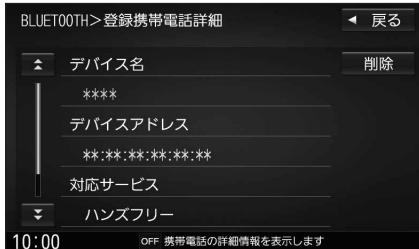
- 1 BLUETOOTH設定画面(P.126)から登録機器一覧を選ぶ

- 2 ハンズフリーを選ぶ

- 3 情報を見たい携帯電話を選ぶ



●携帯電話の詳細情報を表示



項目	内容
デバイス名	BLUETOOTH対応機器の名称を表示
デバイスアドレス	BLUETOOTH対応機器の固有の機器アドレス(12桁の英数字)を表示
対応サービス	本機が対応しているBLUETOOTH対応機器サービスを表示 <ul style="list-style-type: none">●プロファイルについては、P.124も併せてご覧ください。
自局番号	BLUETOOTH対応機器の自局の電話番号を表示

BLUETOOTH Audio機器の 詳細情報を見る

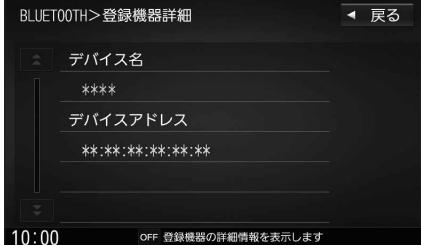
- 1 BLUETOOTH設定画面(P.126)から登録機器一覧を選ぶ

- 2 BLUETOOTH Audioを選ぶ

- 3 情報を見たいBLUETOOTH Audio機器の詳細を選ぶ



●BLUETOOTH Audio機器の詳細情報を表示



項目	内容
デバイス名	BLUETOOTH対応機器の名称を表示
デバイスアドレス	BLUETOOTH対応機器の固有の機器アドレス(12桁の英数字)を表示

本機の本体情報を確認する

BLUETOOTH設定画面(P.126)から本体情報を選ぶ

●本体情報画面を表示



項目	内容
デバイス名	本機の名称を表示
デバイスアドレス	本機固有のデバイスアドレス(12桁の英数字)を表示
ハンズフリーパスキー	本機のハンズフリーパスキーを表示
BLUETOOTH Audioパスキー	本機のBLUETOOTH Audioパスキーを表示

本機のデバイス名とパスキーを変更する

本体情報画面(上記)から各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作	決定を選ぶ
デバイス名変更	本機のデバイス名を入力する <ul style="list-style-type: none">●半角英数24文字まで●お買い上げ時の設定:「CAR MULTIMEDIA」	
パスキー変更	ハンズフリーパスキーを変更する場合 ハンズフリー を選ぶ [お買い上げ時の設定: 1212] <ul style="list-style-type: none">●修正: 1文字削除	
	BLUETOOTH Audioパスキーを変更する場合 BLUETOOTH Audio を選ぶ [お買い上げ時の設定: 0000] <ul style="list-style-type: none">●修正: 1文字削除	

■パスキーとは

BLUETOOTHによる接続を他人に許可なく使われないためのパスワードです。
携帯電話によっては、あらかじめ設定されていて変更できない場合や、接続時にパスキーが必要な場合があります。

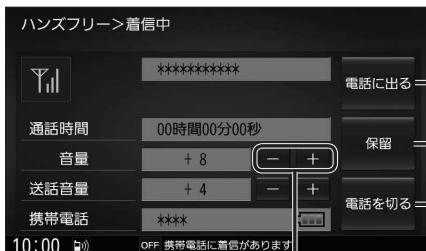
ハンズフリーで通話する

安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご使用ください。

- 通話が聞き取りやすいように、車の窓を閉めてください。
- マイクに向かって大きな声ではっきりと話してください。

電話がかかってきたら

自動的に着信画面に切り換わります。



電話に出る

電話に出るを選択

- 通話を開始します。

応答保留する

保留を選ぶ

- 通話を選ぶと通話を開始します。

電話に出すに切る(着信拒否)

電話を切るを選ぶ

- 着信が切れます。

着信音量を調整する

+ : 音量が大きくなる

- : 音量が小さくなる

- 調整範囲: 1~15[お買い上げ時の設定:8]

お知らせ

- 携帯電話の機種によっては、着信中に電話を切るを選んでも電話に出る場合があります。

通話中の操作



送話音を消音する

ミュートを選ぶ

- 通話を選ぶと、解除されます。

通話を携帯電話に切り換える

携帯電話切換>はいを選ぶ

- ハンズフリー切換>はいを選ぶと、ハンズフリー通話に戻ります。

トーン信号(ピッポッパ)を送る

1 トーンを選ぶ

2 数字を選び、トーン信号を送る

- プッシュホンサービスなどを利用できます。

電話を切る

電話を切るを選ぶ

- 通話を終了します。

受話音量を調整する

+ : 音量が大きくなる

- : 音量が小さくなる

- 調整範囲: 1~15[お買い上げ時の設定:8]

送話音量を調整する

+ : 音量が大きくなる

- : 音量が小さくなる

- 調整範囲: 1~7[お買い上げ時の設定:4]

お知らせ

- 携帯電話を待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- 携帯電話によっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。
- 携帯電話によっては、本機とBLUETOOTH接続中に、携帯電話を操作して電話をかけても(電話に出ても)ハンズフリー通話になる場合があります。

電話番号を入力して電話をかける

1 ツートップメニュー(P.24)からハンズフリーを選ぶ

2 ハンズフリー画面から携帯電話(電話1/電話2)を選び、ダイヤルを選ぶ



3 電話番号を入力し、発信を選ぶ



- 入力した電話番号に電話をかけます。
- 修正: 1文字削除

リダイヤルする

1 ハンズフリー画面(左記)から携帯電話(電話1/電話2)を選び、リダイヤルを選ぶ

2 はいを選ぶ

- 前回発信した相手にリダイヤルします。

発着信履歴から電話をかける

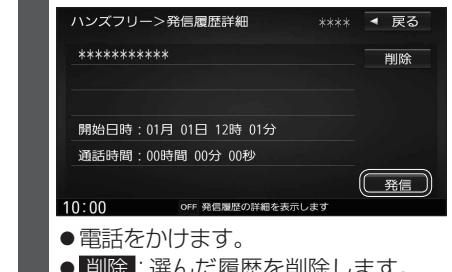
1 ハンズフリー画面(左記)から携帯電話(電話1/電話2)を選び、発信履歴(着信履歴)を選ぶ

- 発信履歴(または着信履歴)のリストが表示されます。

2 リストからかける相手を選ぶ



3 発信を選ぶ



ハンズフリーで通話する

アドレス帳を登録する

- 1 ハンズフリー画面(P.133)から携帯電話(電話1/電話2)を選び、携帯メモリ読み出しを選ぶ

2 はいを選ぶ

■PBAP接続に対応していない携帯電話の場合

携帯電話を操作して電話帳データを転送します。本機にすでに電話帳データが保存されている場合、追加保存/上書き保存を選んでください。

- 追加保存: 登録済みの電話帳データを残して追加登録
- 上書き保存: 登録済みの電話帳データを削除して新たに登録

■PBAP接続の場合

携帯電話でPBAP転送の許可操作を行ってください。

- 全件の電話帳が転送されます。
- 自動で上書きされます。追加登録はできません。

3 終了を選ぶ

- アドレス帳の登録が完了します。

お知らせ

- 本機に登録した電話帳の内容(電話帳、氏名など)を編集することはできません。電話帳の内容を変更するときは、編集したい通話先をいったん削除(P.135)し、携帯電話で編集のうえ、再度登録しなおしてください。

- BLUETOOTH接続している携帯電話の電話帳から転送した分の登録データのみ使用できます。(BLUETOOTH接続している携帯電話以外のデータは表示されません。)

- 電話1台につき最大1500件まで登録できます。
また、1件につき電話番号を2つまで登録できます。

アドレス帳から電話する

準備

携帯電話のアドレス帳を転送して本機に登録してください。(左記)

- 1 ハンズフリー画面(P.133)から携帯電話(電話1/電話2)を選び、アドレス帳を選ぶ

2 アドレス帳から、相手を選ぶ

名前順リスト



- あ～わ: 選んだ読みに移動
- その他: アルファベット・数字などで始まる名称に移動
- メモリ順: メモリ番号順に切り換える

メモリ番号順リスト



- 1～0: メモリ番号を入力
- 修正: 1文字消去
- 名前順: 名前順に切り替え

- 3 番号1に発信(または番号2に発信)を選ぶ



- 選んだ番号に電話をかけます。

アドレス帳を削除する

1 1件削除する場合

- 1 アドレス帳(P.134)から削除したいアドレスを選ぶ

2 削除を選ぶ



3 はいを選ぶ

- 選んだアドレスが削除されます。

全件削除する場合

- 1 アドレス帳(P.134)から全削除を選ぶ

2 はいを選ぶ

- すべてのアドレスが削除されます。

ハンズフリー通話の設定をする

- 1 BLUETOOTH設定画面(P.126)から通話設定を選ぶ

2 各項目を設定する

項目	設定内容/操作
着信音量	+/-で調整する ●調整範囲: 1~15 ●お買い上げ時の設定: 8
受話音量	+/-で調整する ●調整範囲: 1~15 ●お買い上げ時の設定: 8
送話音量	+/-で調整する ●調整範囲: 1~7 ●お買い上げ時の設定: 4
通話中の着信拒否	する: 本機に携帯電話が2台接続されているとき、片方の携帯電話で通話中(または発信中・着信中)のときに、もう一方の携帯電話に着信があつても着信拒否する しない: 通話中の着信を拒否しない
自動応答保留	する: 着信が入ると、自動的に応答保留する しない: 自動応答保留しない

Drive P@ssを利用する

(スマートフォン連携)

Drive P@ssとは

パナソニック株式会社が提供するスマートフォン向けアプリケーションです。アプリケーションの詳細やスマートフォンの適合機種などについては、Webサイト(<http://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>)をご覧ください。

■問い合わせ先

パナソニック株式会社 オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社

お客様ご相談センター

0120-50-8729 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

上記電話番号がご利用いただけない場合

045-929-0511 ※ご利用の際の通話料金はお客様のご負担となります。

スマートフォンの準備をする (初回利用時のみ)

1 スマートフォンでの操作

スマートフォンに
アプリをダウンロードし、
インストールする

お知らせ

●スマートフォンによっては、Drive P@ssを利用できません。

●Drive P@ssのダウンロードやスマートフォンの適合機種、およびMiracast®での接続などについては、下記サイトをご覧ください。

<http://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>

本機の準備をする (初回利用時のみ)

2 本機での操作

情報・設定メニュー(P.24)から
システム設定を選ぶ

3 システム設定画面から BLUETOOTHを選ぶ

4 BLUETOOTH設定画面から 機器登録を選ぶ

5 ハンズフリーを選ぶ

●BLUETOOTH Audio機器として接続する場合は、BLUETOOTH Audioを選んでください。

6 (すでにBLUETOOTH対応機器が本機にBLUETOOTH接続されている場合) はいを選ぶ

●端末登録設定画面が表示されます。
●BLUETOOTH対応機器と本機とのBLUETOOTH接続が、すべて切断されます。



お知らせ
●ツートップメニューから「ハンズフリー」>
「設定」を選んでも、BLUETOOTH設定画面を表示できます。

走行中は、安全のためDrive P@ssの操作が一部制限されます。

安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご使用ください。

スマートフォンを本機に機器登録する (初回利用時のみ)

7 スマートフォンでの操作

周辺のBLUETOOTH機器(本機)を探す(P.126 手順6)

8 本機での操作

「はい」を選ぶ

●ハンズフリー用の携帯電話として本機に登録されます。

9 (登録した携帯電話を、BLUETOOTH Audio機器としても登録する場合) はいを選ぶ

●携帯電話が、BLUETOOTH Audio機器として本機に登録されます。

スマートフォンと本機を スマホ連携接続する

P.138
に続く

10 スマートフォンでの操作 Drive P@ssを起動する

11 本機での操作 携帯電話登録一覧から接続したいスマートフォンの「スマホ連携」を選ぶ



本機とスマートフォンがスマホ連携接続されます。

●スマホ連携中は、スマートフォンを操作しないでください。

スマホ連携アプリ選択の設定をする

12 本機での操作 BLUETOOTH設定画面(P.126)から スマホ連携アプリ選択を選ぶ

13 Drive P@ss/ここいこ♪/CarAV remote を選ぶ

●NaviCon®を利用する場合は、NaviCon®を選びます。

Drive P@ssを利用する(スマートフォン連携)

P.137
の続き

スマートフォンと本機をケーブルで接続する

P.140
に続く

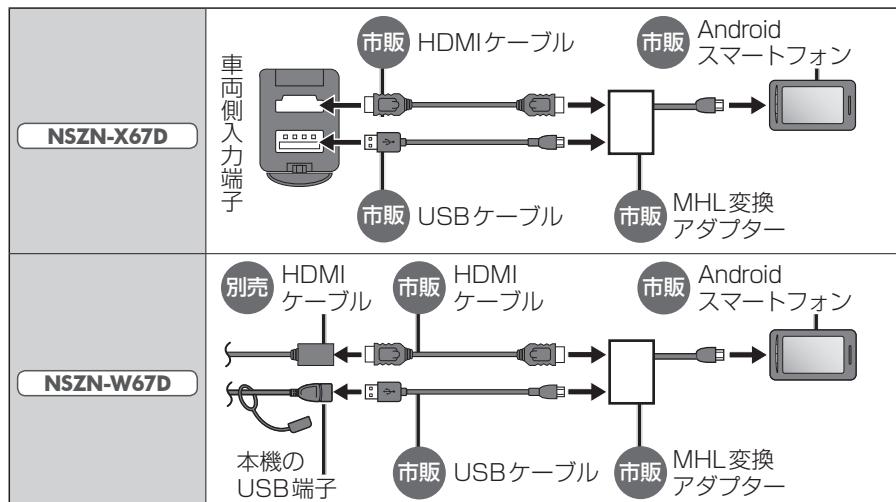
お願い

- スマートフォンは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- スマートフォンのヘッドホンなどは、接続しないでください。
正しく動作しない場合があります。
- Drive P@ss利用中に、スマートフォンの取り付け・取り外しをしないでください。
雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- スマートフォンの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- スマートフォンおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
- スマートフォンを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずスマートフォンを取り外してください。
- スマートフォンが正しく動作しないときは、本機からスマートフォンを取り外して電源を入れなおし、再度接続してください。
- スマートフォンに楽曲を追加する操作を行う場合は、スマートフォンを本機から取り外してください。

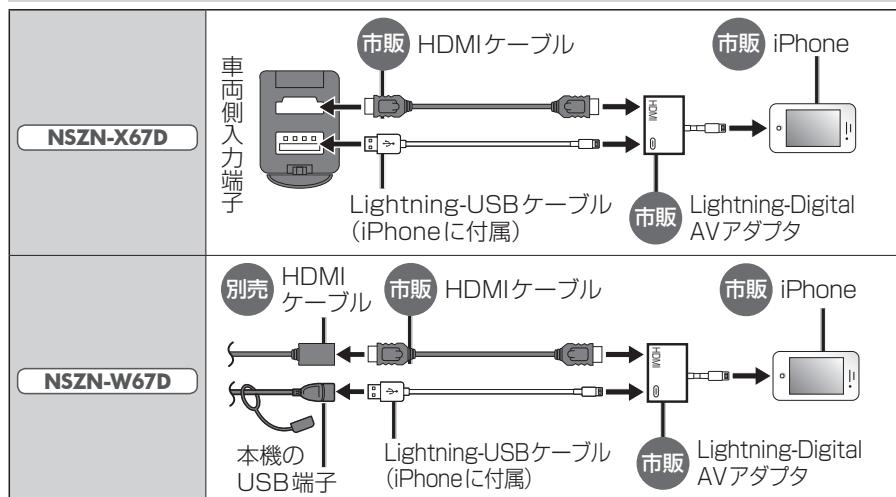
お知らせ

- スマートフォンの機種やHDMI接続に使用する機器(アダプターなど)によっては、スマートフォンの充電ができない場合があります。
- スマートフォンの動作やバージョンアップされるスマートフォン、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してスマートフォンを使用中に、スマートフォンのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPhoneは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

Androidスマートフォンを接続する場合



iPhoneを接続する場合



- iPhone4以前のiPhoneは、スマートフォン連携できません。
- Drive P@ssを利用しながらiPodミュージックを再生することはできません。
Drive P@ss利用中は、Drive P@ss用のアプリ「Music Player for Drive P@ss」を使ってiPhone内の音楽を再生するか、配線を変えてiPodミュージックを再生してください。(P.115)

Drive P@ssを利用する(スマートフォン連携)

P.139
の続き

Drive P@ssを利用する

1 スマートフォンでの操作 Drive P@ssを起動する

2 本機での操作 ツートップメニュー(P.24)から Drive P@ssを選ぶ

- Drive P@ssに切り換わります。
- 接続するスマートフォンによっては Drive P@ss を選んでから画面が切り換わるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- スマートフォンがロック状態のときは、Drive P@ssには切り換わりません。スマートフォンのロックを解除して、再度 Drive P@ss を選んでください。(ただし、Android端末の場合、Drive P@ss の常時通信設定がONに設定されていると、スマートフォンがロック状態でも Drive P@ss を起動できます。)

3 アプリ選択画面から 起動したいアプリを選ぶ



- アプリの操作については、各アプリの操作説明をご覧ください。



例: Music Player

- 選んだアプリに切り換わります。

ここいこ♪/NaviCon®(スマートフォン連携)

おでかけナビサポート「ここいこ♪」とは

パナソニック株式会社が提供するスマートフォン向けアプリケーションです。アプリケーションの詳細やスマートフォンの適合機種などについては、Webサイト(<http://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>)をご覧ください。

■問い合わせ先

パナソニック株式会社 オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社
お客様ご相談センター

0120-50-8729 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

上記電話番号がご利用いただけない場合

045-929-0511 ※ご利用の際の通話料金はお客様のご負担となります。

「NaviCon®」とは

株式会社デンソーが提供するスマートフォン向けアプリケーションです。アプリケーションの詳細やスマートフォンの適合機種などについては、Webサイト(<http://www.daihatsu.co.jp/accessory/audio/smapho.htm>)をご覧ください。

ご利用の流れ



* 1 初回利用時のみ

お知らせ

- アプリケーションのバージョンアップなどにより、操作方法が変更になる場合があります。
- iPodまたはiPhoneと本機をケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneで「ここいこ♪/NaviCon®」を利用することはできません。iPhoneで「ここいこ♪/NaviCon®」を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを本機にケーブルで接続しないでください。
- 「ここいこ♪」1.4.0より以前のバージョンは、本機では利用できません。最新のバージョンをダウンロードし、バージョンアップしてください。

「ここいこ♪」を利用する

「ここいこ♪」で検索した地点をすぐに本機に送信する

スマートフォンでの操作

「ここいこ♪」から、地点を検索し、目的地・経由地として本機に送信する

本機で地点情報を受信し、探索結果画面が表示されます。(P.58)

「ここいこ♪」で検索した地点を日時を指定して本機に送信する

■ iPhone版

1 iPhoneでの操作

「ここいこ♪」から、地点を検索し、送信する日時を予約する

予約した日時になると、iPhoneにお知らせのメッセージが表示されます。

2 iPhoneでの操作

メッセージに従って、予約した内容を本機に送信する

探索結果画面が表示されます。(P.58)

■ Android™版

1 Android端末での操作

「ここいこ♪」から、地点を検索し、送信する日時を予約する

予約した日時になると、Android端末と本機がBLUETOOTH接続されたときに自動的に予約内容が本機に送信されます。

2 本機での操作

ルート設定の確認画面が表示されたら「設定する」を選ぶ

●「あとで設定する」:

送信されたルートは消去されます。
(スマートフォンから手動で再度送信できます)

●「このルートは不要」:

送信されたルートを消去し、スマートフォン側の予約も消去されます。

探索結果画面が表示されます。(P.58)

「NaviCon®」を利用する

「NaviCon®」で検索した地点を本機に送信する

スマートフォンでの操作

「NaviCon®」から、地点を検索し、目的地として本機に送信する

本機で地点情報を受信し、探索結果画面が表示されます。(P.58)

「NaviCon®」のルート探索について

- 現在地がルートの出発点に設定されます。
- 探索条件(P.61)「おまかせ」で探索されます。
- ルートが設定されている場合は、現在のルートは消去されます。
- スマートフォンから受信した地点は、本機の目的地履歴(P.54)に保存されます。登録地(P.70)には保存されません。

「NaviCon®」で本機の地図の位置を変更する

1 本機での操作

現在地画面または地図モード画面を表示させる

2 スマートフォンでの操作

「NaviCon®」の地図をスクロールする

「NaviCon®」でスクロールさせた地点の地図が、本機の地図画面に表示されます。

「NaviCon®」で本機の地図の縮尺を変更する

1 本機での操作

現在地画面または地図モード画面を表示させる

2 スマートフォンでの操作

「NaviCon®」の地図の縮尺を変更する

本機の地図の縮尺が、「NaviCon®」で変更した縮尺に切り換わります。

「NaviCon®」での地図操作(位置・縮尺の変更)について

- 現在地画面または地図モード画面以外の地図(探索結果画面・全ルート図など)の位置・縮尺を変更することはできません。
- 二画面表示中は、左画面の位置・縮尺を変更できます。
- 縮尺は、5 m/12 m/50 m/100 m/200 m/500 m/1 km/2.5 km/5 km/10 km/25 km/100 km/250 kmのいずれかに切り換わります。
- 「NaviCon®」で5 mよりも詳細な縮尺に切り換えた場合、本機の地図は5 m縮尺に切り換わります。
- 「NaviCon®」で250 kmよりも広域な縮尺に切り換えた場合、本機の地図は250 km縮尺に切り換わります。

スマートフォンをリモコンとして使う(スマートフォン連携)

ご利用の流れ

本機での操作 スマートフォンでの操作

本機とスマートフォンを操作して機器登録する。(P.126) *1

スマートフォンでの操作

アプリ「CarAV remote」をスマートフォンにインストールする。*1

アプリ「CarAV remote」を起動する。

本機での操作

BLUETOOTH設定画面(P.126)から「スマホ連携アプリ選択」を選ぶ。

Drive P@ss/「ここいこ♪/CarAV remote」を選ぶ。

リストから、「CarAV remote」を起動したスマートフォンを選ぶ。

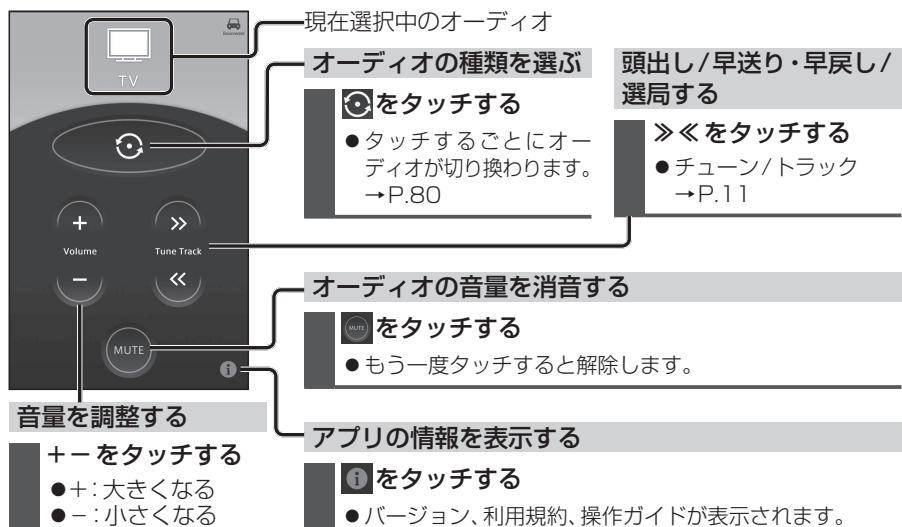
「CarAV remote」を利用する(下記)

*1 初回利用時のみ

お知らせ

- アプリケーションのバージョンアップなどにより、操作方法が変更になる場合があります。
- iPodまたはiPhoneと本機をケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneでCarAV remoteを利用することはできません。iPhoneでCarAV remoteを利用する場合は、iPodまたはiPhoneを本機にケーブルで接続しないでください。

CarAV remoteを利用する



音声認識で目的地を検索する

NSZN-X67D

スマートフォンをリモコンとして使う(スマートフォン連携)

スマートフォン

音声認識

音声認識で目的地を検索する

音声で入力された施設などをクラウド上のデータベースから検索し、「行き先を設定できる」機能です。

準備

- スマートフォンを本機とハンズフリー接続し、スマホ連携接続してください。(P.128)
- 音声認識を利用する場合は、スマートフォンと本機をケーブルで接続する必要はありません。
- スマートフォンがロック状態のときは、音声認識を起動できません。スマートフォンのロックを解除してください。(ただし、Android端末の場合、Drive P@ssアプリの常時通信設定がONに設定されていると、スマートフォンがロック状態でも音声認識を起動できます。)
- iPodまたはiPhoneをP.115の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneで音声認識を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

1 音声認識を起動する

下記のいずれかの操作で起動できます。

- 本体の①を2秒以上押す
- ツートップメニュー(P.24)から②を選ぶ
- ランチャーメニュー(P.40)から「音声認識」を選ぶ
- 音声認識設定(P.147)が「する」に設定されている場合は、ステアリングスイッチの「MODE」を2秒以上押しても音声認識を起動できます。

2 マイクに発声して、音声で操作する

- 効果音が鳴ってから、続けて発声してください。

凡例

利用者の音声操作

本機の音声案内

例:

①	こんにちは。どちらまで行きますか？
②	近くのガソリンスタンド
③	この付近のガソリンスタンドをお調べします。
④	20件のガソリンスタンドが見つかりました。近い順に 1. ○○石油××SS/2. △△石油××SS/3. □□石油××SS です。
⑤	●検索結果画面(P.146)が表示されます。
⑥	3番*1
⑦	□□石油××SSを目的地に設定しますか？
⑧	はい、一般優先で*2
⑨	□□石油××SSを目的地に設定します。一般優先で探索します。

*1 「□□石油××SS」と名称で選択することもできます。

*2 「電話をかける」と発声すると、選択した施設に電話をかけることができます。

お知らせ

- 運転者以外が音声認識をする場合は、スマートフォンのマイクに向かって発声できます。その場合は、・本機をDrive P@ssに切り換えないでください。
・Drive P@ssアプリの①をタッチして、音声認識を利用してください。

いろいろな音声認識(例)

■周辺の施設を検索する

新横浜駅周辺のファミレス

■住所から検索する

神奈川県横浜市都筑区
池辺町4261

■施設の名称から検索する

パナソニックセンター東京

■自宅を検索する

自宅に帰る

- 本機に登録した自宅を検索できます。

■ルート沿いの施設を検索する

ルート沿いのコンビニ

■Drive P@ssの音声認識機能から登録した登録ポイントを検索する

おじいちゃんの家

- Drive P@ssアプリの音声認識機能で登録した文言を発声してください。
- 本機の登録地は検索できません。

■条件を詳細に設定する

横浜で
駐車場のあるイタリアンを
経由地に、一般道優先で

■検索をやりなおす

言い直し

- 番号の選択をやりなおすときは、番号を言いなおしてください。

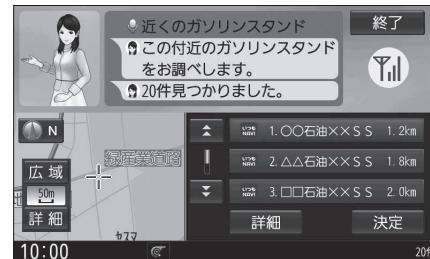
認識率をよくするために

適正な音量で、はっきりと発声してください。

- 声が大きすぎると、枠の色が赤に変化します。
- 声が小さすぎると認識されません。
- 車の窓を閉めてください。(周囲の雑音による誤認識を防ぐため)
- 同乗者に会話を控えてもらってください。
(同乗者の声による誤認識を防ぐため)

検索結果画面の操作のしかた

音声認識で施設を検索すると、下記のような検索結果画面が表示されます。
音声またはタッチ操作してください。



■施設の詳細情報を聞く

3番の詳細情報

- 施設名・住所・情報が案内されます。
- 番号で選択してください。(詳細情報を聞く施設は、名称では選択できません。)

■次の候補に切り換える

次のページ

- 次の候補を3件表示します。

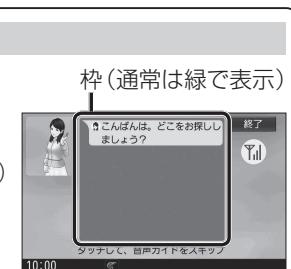
■タッチ操作するには

リストから施設を選び、決定を選ぶ

- 現在地から選んだ施設までのルートを探索します。
- 詳細: 施設の詳細情報を表示

お知らせ

- 検索結果画面をタッチ操作すると、音声認識は終了します。以降の操作はタッチで行ってください。



ステアリングスイッチの音声認識設定

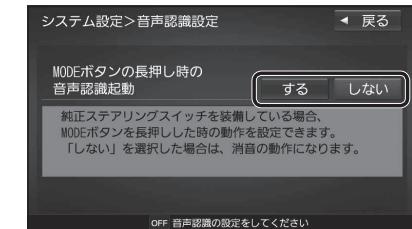
ステアリングスイッチの[MODE]を2秒以上押したときの動作を設定できます。

1 システム設定画面(P.20)から、その他設定を選ぶ

2 音声認識設定を選ぶ

3 MODEボタン長押し時の音声認識起動する/しないを選ぶ

- する: [MODE]を2秒以上押すと、音声認識を起動します。
- しない: [MODE]を2秒以上押すと、一時的に消音します。
[お買い上げ時の設定]



その他

その他の機能

エコ機能を使う	150
エコ機能とは	150
急加減速・アイドリング・高速度走行の診断結果を見る(ドライブ診断)	150
燃費を計算する	151
燃費を確認する	151
ドライブ診断の評価を用いてキャラクターを育成する (エコde育成)	152
エコ機能の各種設定をする (エコ設定)	153
メンテナンス情報を設定する	154
地図更新について	156
無償地図更新サービス (Webダウンロード更新)	156
地図 SDHCメモリーカードの出し入れ	157

別売品

ETCシステムと組み合わせて使う	158
ETCシステムの概要	158
ETC料金履歴を見る	159
ETC登録情報を見る	159
ETCの設定をする	160
ETC2.0の概要	161
各部のなまえとはたらき (ETC2.0ユニット)	162
ETC2.0ユニットにETCカードを挿入する	163
ETC利用における異常発生時の案内と対処(ETC2.0ユニット)	164
ドライブレコーダー(ナビ連動モデル) 使用時のお願い	166
ドライブレコーダーについて	166
電源について	166
パソコンでの再生について	166
著作権などについて	166
免責事項について	166
各部のなまえとはたらき (ドライブレコーダー)	167
microSDHCメモリーカードの出し入れ	167

ドライブレコーダー(ナビ連動モデル)と組み合わせて使う	168
ドライブレコーダーの設定をする	168
常時録画	169
手動で静止画を撮影する	169
手動で動画を録画する	169
保存したファイルを再生する	170
ファイルを保存フォルダへ移動する	171
ドライブレコーダーの映像を表示する	171
ドライブレコーダーの仕様	171
バックモニター・パノラマモニター 使用時のお願い	172
バックモニター(3モードカメラ除く)の映像を見る	173
後方の映像を映す	173
バックモニターの見かた	174
画面と実際の路面との誤差	175
ガイド線・目安線の設定をする	176
バックモニター(3モードカメラ)の映像を見る	177
後方の映像を映す	177
表示を切り換える	177
ガイド線を切り換える	177
パノラマモニターの映像を見る	178
後方の映像を映す	178
前方の映像を映す	178
表示を切り換える	178
ガイド線を切り換える	178
後席モニターと組み合わせる	179
ビデオカメラなどと組み合わせる	179
ビデオカメラなどを本機と接続する	179
ビデオカメラなどの映像を見る	179

設定

利用に応じた設定に変える	180
表示の設定をする	180
探索条件の設定をする	181
案内の設定をする	182
渋滞情報(VICS)の設定をする	183
システムの設定をする	183
各種設定をお買い上げ時の状態に戻す	184

困ったとき

よくあるお問い合わせ	185
故障かな!?	186
電源・共通	186
ナビゲーション	187
オーディオ[TV]	188
オーディオ[FM]/[AM]	189
オーディオ[DVD]	189
オーディオ [MP3/WMA(CD-R/CD-RW)]/ [SD]/[USB]	190
オーディオ[MEMORY MUSIC]	191
オーディオ[iPod]	191
BLUETOOTH	192
音声認識	196
ドライブレコーダー	197
ETC2.0ユニット	197
こんなメッセージが出たときは 結露について	198

必要なとき

文字入力のしかた	200
ディスクについて	201
お手入れ	203
SDメモリーカード・ USBメモリーについて	204
データ作成時の留意点	205
Gracenote音楽認識サービス について	208
BLUETOOTHについて	209
DVD言語コード一覧表	210
ナビゲーションシステムとは	211
VICSについて	214
地図ソフトについて	216
さくいん	220
商標などについて	224
ソフトウェア、およびオープンソース ソフトウェアについて	225
仕様	226
アフターサービスについて	228
メモ	229
無償地図更新サービスのご案内	231

エコ機能を使う

エコ機能とは

以下の機能で、環境に優しい「エコドライブ」をサポートします。

■ ドライブ診断

急加減速・アイドリング・高速度走行から、環境に負荷をかける走りかたをしていないか診断します。

■ 燃費計算

給油量と走行距離をもとに、燃費を計算します。

■ エコde育成

ドライブ診断の評価を用いて、キャラクターを育成することができます。

■ エコ設定

各種エコ機能の設定ができます。

お知らせ

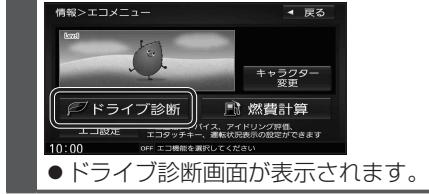
- GPS信号で現在時刻の情報を受信できなかった場合、ドライブ診断と燃費計算の履歴には、日付は表示されません。
- ドライブ診断や燃費計算の結果は目安であり、その内容を当社は保証するものではありません。

急加減速・アイドリング・高速度走行の診断結果を見る(ドライブ診断)

1 情報メニュー(P.24)から、エコを選ぶ

- 地図画面でエコタッチキーを選んでも、エコメニューが表示されます。

2 エコメニューから、ドライブ診断を選ぶ



- ドライブ診断画面が表示されます。

5日分の履歴と総合ランクを表示

- A(最高)～E(最低)の5段階評価

● 履歴を消去する：

本日の診断内容、過去の履歴、総合ランクを全て消去



● 診断をやり直す：

本日の診断内容のみを消去し、診断をやりなおします。

本日の診断

エコマーク(leaf)が多いほど高評価です。
(「leaf」が最高)

- 急 加 減 速：急加速/急減速を行うと、エコマークが減少
- アイドリング：長時間のアイドリングで、エコマークが減少
- 高速度走行：高速度での走行が多いと、エコマークが減少

お知らせ

- ドライブ診断画面を表示中は、診断結果は更新されません。
- ACC ON状態(エンジンOFF)でもアイドリング状態と診断されます。
- eco(P.61)で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、ドライブ診断の結果が悪くなる場合があります。

燃費を計算する

正確に燃費を計算するために、給油時に必ず給油量を入力してください。

1 エコメニュー(P.150)から燃費計算を選ぶ



2 給油量入力を選ぶ



3 給油量を入力する



- 修正：1文字削除
- 入力が完了したあと、数値の修正はできません。

4 満タン給油の場合

● はいを選ぶ

- 前回満タンにしたときから今回までの燃費が算出されます。

一部給油の(満タンではない)場合

●いいえを選ぶ

- 給油した量が本機に記憶されます。
- 前回給油時も一部給油だったときは、前回給油した量との合計(積算量)が記憶されます。
- 次回満タン給油したときに、部分給油の積算量と合算して算出されます。

お知らせ

- 初めて計算するときは、正確な燃費が計算されない場合があります。

燃費を確認する

- 履歴を消去する：全ての燃費履歴を消去

5回分の燃費計算の結果(km/L)を表示



燃費の算出のしかた

給油のたび、下記のように計算されます。

①満タン給油

①で給油した分の燃費が計算されます。

②部分給油

給油した量が本機に記憶されます。

③部分給油

②・③で給油した量の合計が本機に記憶されます。

④満タン給油

②～④で給油した分の燃費が計算されます。

⑤部分給油

給油した量が本機に記憶されます。

⑥満タン給油

⑤～⑥で給油した分の燃費が計算されます。

⑦満タン給油

⑦で給油した分の燃費が計算されます。

計算回数
1回目

2回目

3回目

151

エコ機能を使う

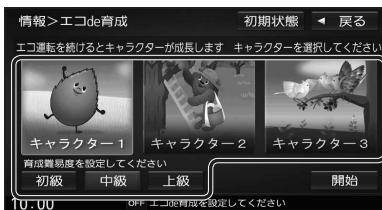
ドライブ診断の評価を用いてキャラクターを育成する(エコde育成)

ドライブ診断の評価が高いほど、キャラクターが育ちます。
育成ゲーム感覚で、楽しみながらエコドライブを心がけることができます。

エコde育成を開始する

- 1 エコメニュー(P.150)から
キャラクター変更を選ぶ

- 2 育成したいキャラクターと
難易度を選ぶ



- キャラクターは3種類です。
- 難易度が上がるほど、成長速度が遅くなります。

- 3 開始を選ぶ

- 育成を開始します。
- 育成を開始すると、手動で育成を終了(右記)させるまでエコde育成機能は動作し続けます。

キャラクターの成長通知を見る

地図上のエコタッチキー(P.37)が変化してお知らせします。



キャラクターやレベルを変更して 育成をやり直す

- 1 エコメニュー(P.150)から
キャラクター変更を選ぶ

- 2 育成したいキャラクターと
成長速度のレベルを選ぶ

- 3 開始を選ぶ

4 はいを選ぶ

- 変更された条件で、育成を最初からやり直します。
- 変更しない場合は「いいえ」を選んでください。

エコde育成を終了する

- 1 エコメニュー(P.150)から
キャラクター変更を選ぶ

- 2 初期状態を選ぶ

3 はいを選ぶ

- エコde育成を終了します。
- 終了しない場合は「いいえ」を選んでください。



育成中は、キャラクターが表示されます。

エコ機能の各種設定をする(エコ設定)

- 1 エコメニュー(P.150)から
エコ設定を選ぶ

- 2 各項目を設定する

- 3 完了を選ぶ

[太字: お買い上げ時の設定]

設定する項目	設定
エコ運転アドバイス (P.68)	「する」: 起動時にエコドライブをすすめる音声案内が出力される 「しない」: エコ運転アドバイスは出力されない 「再アドバイス」*: 前回の音声案内が出力される
アイドリング評価の反映 (P.150)	「する」: アイドリングの評価をドライブ診断に反映させる 「しない」: アイドリングの評価をドライブ診断に反映させない
地図上へのエコタッチキー表示 (P.37)	「する」: 地図上にエコタッチキーを表示させる* 「しない」: 地図上にエコタッチキーを表示させない
運転状況表示 (P.37)	「する」: エコタッチキーに運転状況を表示させる 「しない」: エコタッチキーに運転状況を表示させない

* 1 エコ運転アドバイス「する」に設定時のみ

* 2 地図上にエコタッチキーを表示させると、ドライブレコーダーの手動録画タッチキー(P.168)は表示されなくなります。

メンテナンス情報を設定する

GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などがきたことを、音声と画面で案内します。

1 情報・設定メニュー(P.24)から、システム設定を選ぶ

2 システム設定画面から、その他設定を選ぶ

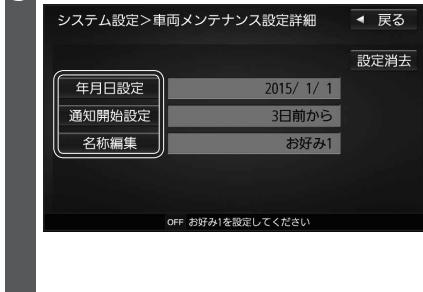
3 車両メンテナンスを選ぶ

4 車両メンテナンス設定画面から、案内をさせたい項目の[する]を選ぶ



- 以下の項目が設定できます。
[お買い上げ時の設定:しない]
 - ・エンジンオイル交換
 - ・オイルフィルタ交換
 - ・タイヤ交換
 - ・クリーンフィルタ交換
 - ・バッテリー交換
 - ・タイヤローテーション
 - ・お好み1 *¹
 - ・お好み2 *¹

5 車両メンテナンス設定詳細画面から、項目の詳細を設定する



- 年月日設定
メンテナンスする年月日を入力
- 通知開始設定
メンテナンスの何日前に通知するかを設定
- 通知開始距離*²
+/-で、メンテナンスの通知を開始する距離を設定
- 名称編集
お好み1、お好み2の名称を編集

* 1 名称を変更して、お好みの項目を登録できます。

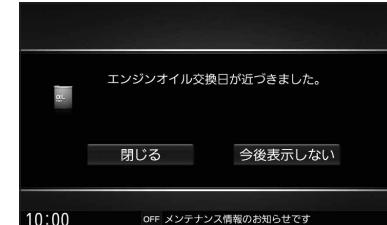
例:「車検」の年月日を案内させるなど

* 2 項目によっては、設定しない場合があります。

メンテナンス情報の案内について

通知開始設定の日になった、設定日当日になつた、設定日をすぎた、または設定した距離を走行した場合は、本機を起動したときにそれぞれの画面でお知らせします。

例: エンジンオイル交換



お知らせ

- 「今後表示しない」を選ぶと、次回起動時からはお知らせしません。また、メンテナンス設定画面のお知らせ設定が「しない」に変更されます。
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

メンテナンス情報を解除するには

車両メンテナンス設定画面から解除したい項目の[しない]を選ぶ

- 選んだ項目が解除されます。
- 車両メンテナンス設定詳細画面(P.156)から、「設定消去」を選んでも解除できます。

地図更新について

無償地図更新サービス(Webダウンロード更新)

本製品は、地図データのダウンロード更新を最大5年間ご利用いただけます。

※インターネットを利用する環境などが必要です。詳しくは、Webサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>
(通信費用はお客様のご負担となります。スマートフォンでのご利用はできません。)

※「SDメモリーカードの送付」をご希望の場合は、巻末(P.231)をご覧ください。

【利用可能期間】本製品の利用開始から5年間

(お申し込み日から5年間ではありません)

【データ提供期間】2016年9月(予定)～2022年12月(予定)

- 部分地図更新：最大5年間可能(道路データは2カ月毎更新、索引データは4カ月毎更新)
- 全地図更新：期間中2回可能(地図の全データは年1回更新)
- 更新データの配信予定期間にについては、Webサイトをご覧ください。
- 上記期間以降の更新は、年度更新地図の販売をご利用ください。
- (発売時期・販売方法については、販売店にお問い合わせください。)

○ 更新されます × 更新されません

内容	方法	全地図更新 (地図の全データ)	部分地図更新 (全国の主要道路のみ)
道路地図(縮尺50m～250km) ※細街路含む。	○	○	
案内画像(リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など)	○	○	
音声案内	○	○	
地点検索データ(施設情報・電話番号情報など)	○	○	
市街地図	○		×

ご利用の流れ

準備(初回のみ)

- Webサイトより地図更新アプリをダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
地図更新アプリ経由でナビcafeにユーザー登録してください。

1 地図SDHCメモリーカードをナビゲーションから取り出し、パソコンに挿入する。



3 地図更新が完了したら、地図SDHCメモリーカードをパソコンから取り出し、ナビゲーションに挿入する。

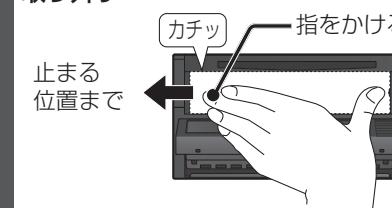
地図SDHCメモリーカードの出し入れ

取り出しかた

1 ▲を押し、OPENを選ぶ

●モニターが開きます。

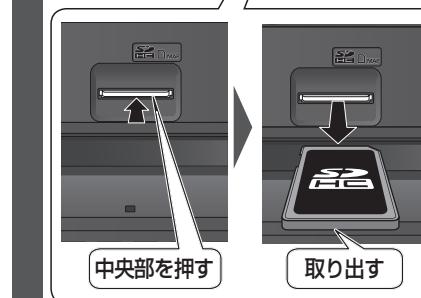
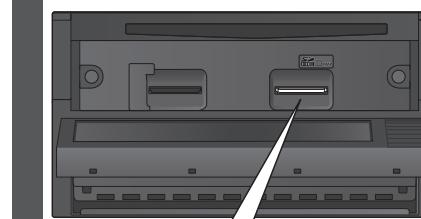
2 パネルを左にスライドさせ、取り外す



3 車のエンジンを切る(ACCをOFFにする)

●モニターが開いたまま、電源が切れます。

4 地図SDHCメモリーカードを取り出す



そのまま地図更新を行ってください。

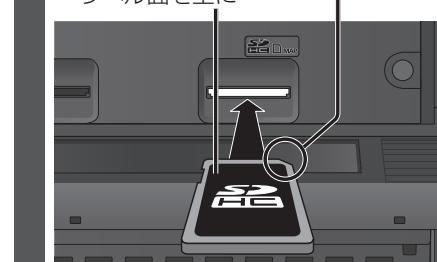
お知らせ

- 地図SDHCメモリーカードを挿入したら、必ずパネルを取り付けてください。
パネルが取り付けられていない状態では、モニターが閉まりません。

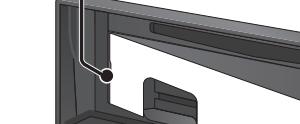
挿入のしかた

1 左記手順3の状態で、地図SDHCメモリーカードを挿入する

角がカットされた側を右にラベル面を上に

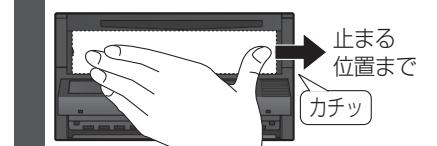


2 パネルを本体の左端に合わせ、はめ込む



●パネル裏面の突起を、本体の孔にかみ合わせてください。

3 パネルを右にスライドさせ、取り付ける



4 モニターを閉める

1 車のエンジンをかける(ACCをONにする)

2 確認を選び、▲を押す

●モニターが閉まります。

ETCシステムと組み合わせて使う

ETCシステムの概要

ETC(Electronic Toll Collection)システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。本機能は別売のナビ対応の **ダイハツ** ETCユニット/ETC2.0ユニットを接続した場合に表示・操作できます。

- ETCユニット ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
- ETCカード ICチップを搭載した、ETCユニット用カードのことです。ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。
- 車線表示板 料金所のETC車線に必要に応じて設定されています。料金所の車線運行状況(ETC車線・混在車線・一般車線の区別)が表示されます。
- 発進制御装置(ゲート) 料金精算を確実にするために、料金所のETC車線に必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
- 路側表示器 料金所のETC車線に設置されています。進入車両に対し、適切に通行したかどうかなどのメッセージが表示されます。
- 路側無線装置 料金所のETC車線に設置されています。料金精算のため、ETCユニットとの通信を行うためのアンテナです。

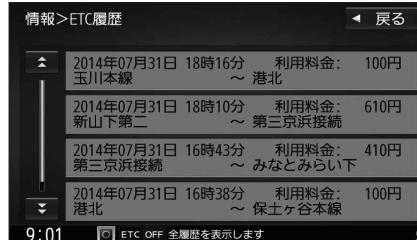
ETC料金履歴を見る

- 1 情報メニュー(P.24)から **ETC情報** を選ぶ

- 2 ETC情報画面から **ETC履歴** を選ぶ



- ETC履歴情報画面が表示されます。(履歴100件まで)
- 100件を超えると古い順に消去されます。
- 件数が多いと、表示に時間がかかります。



- : ページの切換

お願い

- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。**ETC履歴**を選んでETC履歴画面(上記)が表示されるまでは、ETC車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因になります。

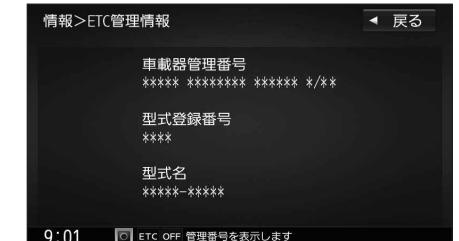
ETC登録情報を見る

- 1 情報メニュー(P.24)から **ETC情報** を選ぶ

- 2 ETC情報画面から **ETC管理情報** を選ぶ



- ETC管理情報が表示されます。



ETCシステムと組み合わせて使う

ETCの設定をする

1 情報・設定メニュー(P.24)から**ナビ設定**を選ぶ

2 ナビ設定画面から**ETC**を選ぶ

3 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ETC音声ガイド	「する」: 利用料金などを、本機から音声で案内する 「しない」: ETC音声ガイドしない
カード入れ忘れ案内 ^{*1}	「する」: 本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内する 「しない」: カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内 ^{*1}	「する」: 本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内する 「しない」: カード抜き忘れ案内しない
カード有効期限切れ案内 ^{*1*2}	「する」: ETCカードの有効期限が切れている場合、本機の電源がONになったときに本機から音声で案内する 「しない」: カード有効期限切れ案内しない

* 1 ETC音声ガイドを「しない」に設定しても案内されます。

* 2 ETCカードの有効期限を確認するための補助手段です。

ETCを使用する前は、必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。

ETC2.0の概要

従来のETCのサービスのほかに、VICSの情報提供サービスを受けることができます。

狭い範囲での双方向通信を行う無線通信方式の一種を用いたサービスです。高速道路本線上を中心に設置されたITSスポットと、車載器間での双方向通信により、道路上の渋滞や、事故、合流など、刻々と変わる情報を、リアルタイムに案内します。

- ITSスポットでプローブ情報が収集される場合があります。ITSスポットで収集される情報は、安全運転支援等を目的としたものであり、プローブ情報から車両または個人を特定することはできません。
- ITSスポットより提供される案内内容は、変更される場合があります。
- ETC2.0サービスおよびITSスポット設置エリアについては、下記ホームページでご確認ください。

一般財団法人ITSサービス高度化機構

<http://www.go-etc.jp/etc2/index.html>

本機能は別売のナビ対応の**ダイハツ** ETC2.0ユニットを接続した場合に表示・操作できます。

VICS情報提供サービス(P.74)

ITSスポット(道路に設置される路側無線装置)より5.8 GHz VICS情報を受信し、ナビゲーションで活用できます。

- 広域な道路交通情報や安全運転支援情報の内容を画像や簡易图形などでわかりやすく表示したり、音声で通知したりします。(P.76)
- 県境を越える広域の渋滞・規制情報^{*1}を考慮したルート探索ができます。
- 高速道路上のITSスポットではドライブ中の注意を促すため、落下物情報、渋滞末尾情報、前方静止画像情報を案内します。(P.76)

* 1 走行する道路により情報の提供範囲が異なります。

ETC2.0アップリンク(P.183)

ETC2.0車載器に関する情報やナビゲーションで収集した情報(走行位置情報など)をITSスポットへ送信することをいいます。

送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

- 走行開始/終了地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。
- ETC2.0アップリンクする/しないの設定ができます。(P.183)

ETC機能(P.158)

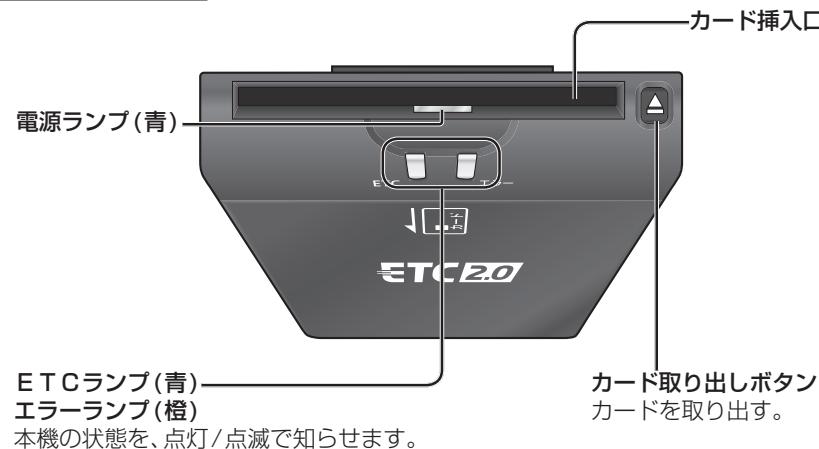
従来のETCのサービスも、利用することができます。

操作方法や動作内容は、ETCユニットの場合と同じです。(P.158~161)

ETCシステムと組み合わせて使う

各部のなまえとはたらき(ETC2.0ユニット)

ETC2.0車載器本体



アンテナ



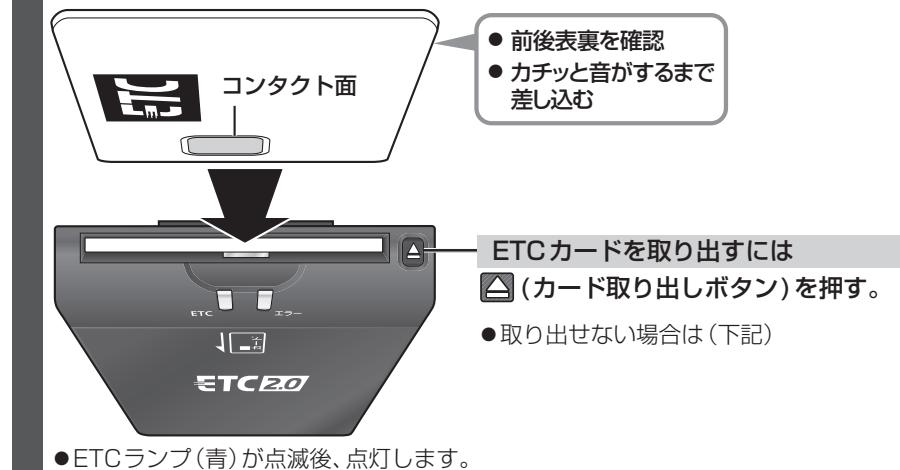
ETCカード未挿入時および異常時は消灯します。

ETC2.0ユニットにETCカードを挿入する

1 車のエンジンをかける。(ACCをONにする)

- 電源が入り、ETCランプ(青)、エラーランプ(橙)、電源ランプ(青)が点灯します。
- ETCランプ(青)、エラーランプ(橙)は約1秒後に消灯します。

2 ETCカードを挿入する



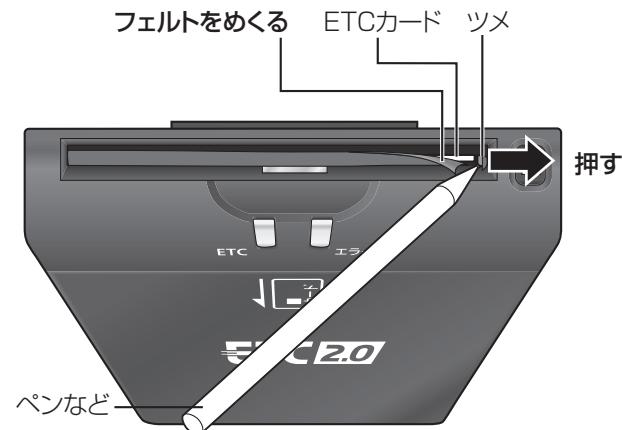
- ETCランプ(青)が点滅後、点灯します。

ETCカードが取り出せないときは

カード挿入口のツメをペン先などで矢印の方向へ押す。

- ツメを矢印の方向に押した状態でETCカードの中央付近をつまんで引っ張り出してください。

取り出したあとは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。



ETCシステムと組み合わせて使う

ETC利用における異常発生時の案内と対処(ETC2.0ユニット)

異常が発生した場合、エラーコードを案内します。

エラー コード	発生場所	表示内容* ¹	ランプ		原 因	対処方法
			エラー (橙)	ETC (青)		
01	料金所 (路側アンテナとの通信時)	ETCエラーコード01 ETCカードの挿入不良です カードの差し込み状況を確認してください	点滅	消灯	●ETCカードが挿入されていない ●ETCカードの挿入不良	●料金所の係員の指示に従ってください。
02	ETCカード挿入時	ETCエラーコード02 ETCカードのデータが読み出せませんでした	点滅	消灯	●ETCカードのデータが読み出せない	●ETCカードを挿入してください。 ●コンタクト面* ² が汚れている場合はきれいに拭いてください。
	料金所 (路側アンテナとの通信時)				●ETCカードのデータが読み出せない ●ETCカードにデータが書き込めない	●料金所の係員の指示に従ってください。
03	ETCカード挿入時	ETCエラーコード03 挿入されたカードがETCカードであるか確認できませんでした カードを確認して再度挿入してください	消灯 ↓ 点滅	点滅 ↓ 消灯	●ETCカード以外を挿入した ●挿入する向き(前後表裏)が正しくない ●ETCカードが汚れている	●ETCカードを挿入してください。 ●正しい向きで挿入されているか確認してください。 ●コンタクト面* ² が汚れている場合はきれいに拭いてください。
04	電源投入時	ETCエラーコード04 ETC車載器が故障しています。	点滅	消灯	●本機の故障	●再度エンジンをかけても異常が発生する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
05	ETCカード挿入時	ETCエラーコード05 挿入されたカードがETCカードであるか確認できませんでした カードを確認して再度挿入してください	点滅	点滅 ↓ 消灯	●ETCカード認証エラー	●ETCカードを再度挿入してください。
					●ETCカード以外を挿入した	●ETCカードを挿入してください。
06	料金所 (路側アンテナとの通信時)	ETCエラーコード06 料金所とのデータ処理にエラーが発生しました 料金所の係員の指示に従ってください	点滅	消灯	●本機と料金所間のデータ処理工エラー	●料金所の係員の指示に従ってください。
07	料金所 (路側アンテナとの通信時)	ETCエラーコード07 料金所とのデータ処理にエラーが発生しました 料金所の係員の指示に従ってください	点滅	消灯	●本機と料金所間のデータ処理工エラー	●料金所の係員の指示に従ってください。

- 車載器の通信機能を利用した駐車場管理システム等が運用されているところがあります。そのような有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、エラーコードを案内することがあります。故障ではありません。

* 1 本機に表示される内容です。

* 2 コンタクト面(P.163)

ドライブレコーダー(ナビ連動モデル) 使用時のお願い

本機能は別売のナビ対応の**ダイハツ** ドライブレコーダーを接続した場合に表示・操作できます。

ドライブレコーダーについて

- ドライブレコーダーのみでは使用できません。
必ずドライブレコーダーにmicroSDHCメモリーカードを挿入し、ナビゲーションに接続してからご使用ください。
- 常時録画時は常に記録を繰り返しますが、全ての状況において録画した映像を保証するものではありません。
- 録画した映像は、事故などの証拠として効力を保証するものではありません。LED式信号機などを録画すると、点滅して表示されたり、色の識別ができない場合があります。
- 推奨動作温度(-10℃～+60℃)の範囲外で使用すると、映像が黄色く表示されるなど、正常に動作しなかったり、録画を停止する場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- 冷暖房を入れた直後など、結露でドライブレコーダーのレンズがくもる場合があります。
- ドライブレコーダーのレンズを手で触らないでください。

電源について

- ドライブレコーダーには電源ボタンがありません。エンジンをかけると自動で電源が入ります。

パソコンでの再生について

ドライブレコーダーで記録した動画や画像は、パソコンで再生することができます。

● 推奨環境

- Microsoft® Windows® 7/8/8.1/10のいずれかを搭載していること
- microSDHCメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの読み込みができること
(必要に応じて、ドライブレコーダーに付属のカードアダプターをお使いください。)
- 動画(MP4)および静止画(JPEG)が再生できること
(再生ソフトによっては、再生できない場合があります。)

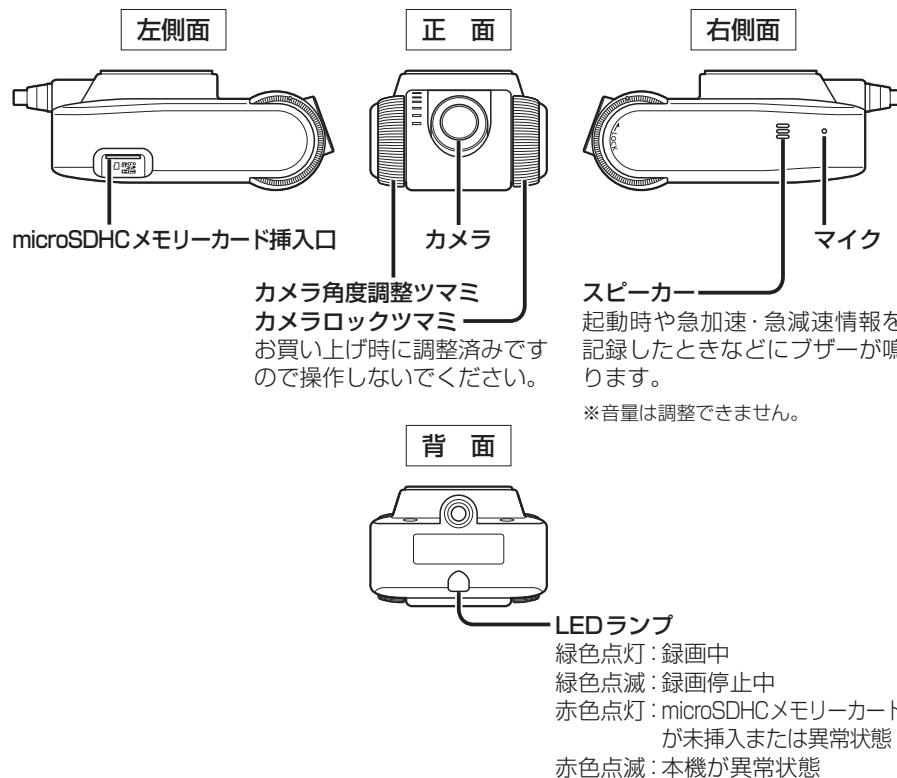
著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で楽しむ以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- ドライブレコーダーを利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様がドライブレコーダーを利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどにmicroSDHCメモリーカードに記録されていたファイルが変化・消失した場合

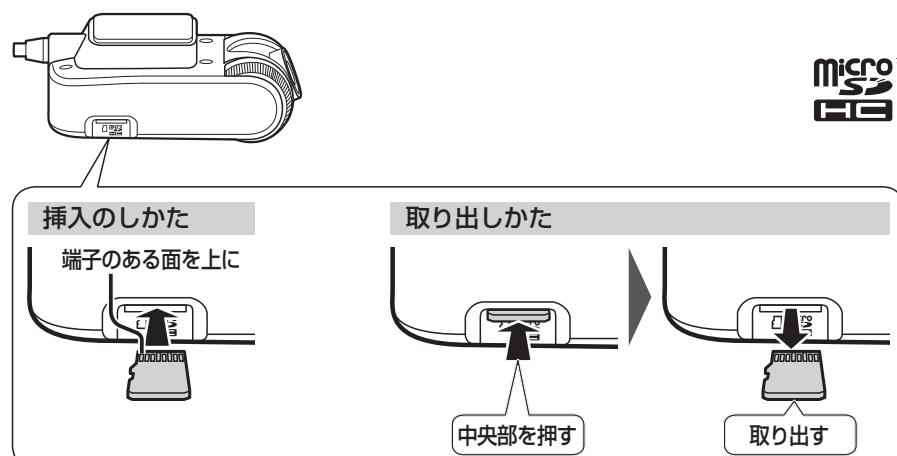
各部のなまえとはたらき(ドライブレコーダー)



microSDHCメモリーカードの出し入れ

必ず車のエンジンを切った(ACCをOFFにした)状態で、microSDHCメモリーカードの出し入れを行ってください。

※お買い上げ時は、付属のmicroSDHCメモリーカードがドライブレコーダー本体に挿入されています。



ドライブレコーダー(ナビ連動モデル)と組み合わせて使う

ドライブレコーダーの設定をする

1 オーディオメニュー(P.24)から ドライブレコーダーを選ぶ

- ドライブレコーダー画面が表示されます。
- 録画を停止します。



2 ドライブレコーダー画面から 設定を選ぶ

3 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作
画質	「高画質」: 高画質で録画する 「標準」: 標準画質で録画する
音声録音	「する」: 録画中、音声を録音する 「しない」: 録画中、音声を録音しない
手動録画の自動停止	「1分」: 手動録画開始後、1分で自動停止する 「3分」: 手動録画開始後、3分で自動停止する 「自動停止しない」: 手動録画時に自動停止しない
手動録画タッチキー	「動画」: 地図画面に手動録画(動画)のタッチキーを表示する 「静止画」: 地図画面に手動録画(静止画)のタッチキーを表示する 「表示しない」: 地図画面に手動録画のタッチキーを表示しない
動画情報表示	記録ファイル再生中に動画情報を表示する/しないを設定する
急加速・急減速	「する」: 急加速・急減速した場面で動画情報を表示する 「しない」: 急加速・急減速した場面で動画情報を表示しない
事故多発地点	「する」: 事故多発地点で動画情報を表示する 「しない」: 事故多発地点で動画情報を表示しない
合流地点	「する」: 合流地点で動画情報を表示する 「しない」: 合流地点で動画情報を表示しない
急カーブ	「する」: 急カーブで動画情報を表示する 「しない」: 急カーブで動画情報を表示しない
急加速・急減速の感度	+/-で、急加速・急減速の測定感度を調整する 調整範囲: 1 ~ 5
急加速・急減速の感知音	「する」: 急加速・急減速を記録すると、ブザーを鳴らす 「しない」: 急加速・急減速を記録しても、ブザーを鳴らさない
起動音	「する」: ドライブレコーダーの電源が入ると、ブザーを鳴らす 「しない」: ドライブレコーダーの電源が入っても、ブザーを鳴らさない
取付調整	調整する: 自動的にドライブレコーダーの加速度センサーを最適化する ● ドライブレコーダー取り付け後、必ず行ってください。
SDカードの初期化	初期化する: ドライブレコーダーで使用しているmicroSDHCメモリーカードを初期化し、おおよその寿命などの管理ができる状態にする ● 初めてmicroSDHCメモリーカードを使用するときや、microSDHCメモリーカードを交換したときなどに行ってください。 ● SDカードの初期化をすると、microSDHC内のすべてのファイルが削除されます。
設定初期化	初期化する: ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻す ● 録画・撮影された記録ファイルは削除されません。

お知らせ

- 手動録画タッチキーを「動画」または「静止画」に設定したり、ドライブレコーダーの設定初期化をすると、地図上へのエコタッチキー表示(P.153)は「しない」になります。

常時録画

ドライブレコーダーの電源が入ると、自動的に録画を開始し、1分ごとに記録ファイルをmicroSDHCメモリーカードへ保存します。microSDHCメモリーカードの容量がなくなると、自動的に古い記録ファイルから順に自動削除して繰り返し保存し続けます。

お知らせ

- 手動録画した記録ファイル、保存フォルダに移動した記録ファイルは、自動削除されません。
- 常時録画で記録された、急加速・急減速情報のあるファイルは、通常は自動削除されません。
ただし、microSDHCメモリーカードの空き容量がない状態で、新たに急加速・急減速情報のある映像を記録した場合は、古い急加速・急減速情報のある記録ファイルが自動削除される場合があります。

手動で動画を録画する

準備

- 「手動録画タッチキー」を「動画」に設定してください。(P.168)

地図画面で

をタッチする



- 動画の録画を開始します。

手動で静止画を撮影する

準備

- 「手動録画タッチキー」を「静止画」に設定してください。(P.168)

地図画面で

をタッチする



- タッチした瞬間の静止画が撮影されます。

お知らせ

- ランチャーメニューから静止画撮影することもできます。(P.40)

手動で録画を終了させるには

録画中に、地図画面で

をタッチする



- 動画の録画を停止します。

お知らせ

- ランチャーメニューから動画録画開始/停止することもできます。(P.40)

ドライブレコーダー(ナビ運動モデル)と組み合わせて使う

- 走行中は、ドライブレコーダーのファイルは再生できません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
- ドライブレコーダー画面から**再生**を選ぶと、録画を停止します。

保存したファイルを再生する

1 ドライブレコーダー画面(P.168)から**再生**を選ぶ

2 ドライブレコーダー再生リストからファイルを選び、**再生**を選ぶ

全表示: 自動録画・手動録画の両方のデータを表示

手動録画: 手動録画のデータのみ表示

「保存フォルダ」の
ファイルリストに切换

動画/静止画を切换



△: ページごとに切换
+1時間 / **-1時間**: 1時間ごとに切换

記録された動画情報をマークで表示

- : 手動録画された
- ◎**: 急加速・急減速情報がある
- ◆**: 事故多発地点情報がある
- ▲**: 合流地点情報がある
- ▼**: 急カーブ情報がある

選んだファイルの再生を開始します。



■ 再生画面の操作

動画ファイル

速度メーター

録画地点のおおよその速度をグラフ表示

録画日時/位置情報/動画情報

録画した地点

リストに戻る



加速・減速メーター

録画地点の加速・減速(加速度)を、
6段階の色の広がりでグラフ表示
(加速度が強いほど色が広がる)

静止画ファイル

撮影日時/位置情報

撮影した地点

リストに戻る



撮影した地点を目的地に設定する

ファイルを保存フォルダへ移動する

自動削除されたたくない記録ファイルを保存フォルダへ移動させます。
保存フォルダに保存されたファイルは、自動削除されなくなります。

※ ドライブレコーダーの処理状況により、保存フォルダへの移動や削除が極端に遅くなる場合があります。移動や削除が完了するまでお待ちください。

1 ドライブレコーダー再生リスト(P.170)から、移動させたいファイルを選び、**保存**を選ぶ

- ファイル移動操作時は、録画を停止します。



2 はいを選ぶ

3 OKを選ぶ

- 選んだファイルが保存フォルダへ移動します。

フォルダ内のファイルを全て削除する

1 ドライブレコーダー再生リスト(P.170)から、削除したいフォルダのリストを表示させ、**全削除**を選ぶ



2 はいを選ぶ

- 選んだフォルダ内の全ファイルが削除されます。

ドライブレコーダーの映像を表示する

ドライブレコーダー画面(P.168)から、**カメラモニター**を選ぶ

- ドライブレコーダーのカメラの映像が表示されます。
- カメラモニター表示中は、録画を停止します。



ドライブレコーダーの仕様

ドライブレコーダー本体

外形寸法
(幅×高さ×奥行き)
(突起部は除く)

質量
約230 g(コード含む)

推奨動作温度
-10 °C ~ +60 °C

電源
DC12 Vマイナスアース

消費電流
230 mA

消費電力
3 W

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法・質量はおおよその数値です。

カメラ部

撮像素子
C-MOS
有効画素数
約92万画素

最低被写体照度
1.0 lx
解像度(動画・静止画)
高画質: 1280 × 720
標準画質: 640 × 360

フレームレート
高画質: 28 fps
標準画質: 14 fps

画角
水平: 115° 垂直: 65°
記録メディア
microSDHCメモリーカード
(Class6以上の8 GB ~ 32 GB)

記録形式
映像: H.264
音声: AAC、モノラル

ファイルフォーマット
動画: MP4
静止画: JPEG

バックモニター・パノラマモニター 使用時のお願い

別売の**タイヤハンマー** バックモニターまたはパノラマモニター^{*1}を接続した場合、シフトレバーを「R」(リバース)にすると、本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像が表示されます。また、パノラマモニターを接続した場合は、タッチ操作で前方のカメラ映像を表示させたり、左右側方の映像を表示させることもできます。カメラ映像には、ガイド線・目安線(車両の車幅や距離感覚を補う補助線)を映すことができます。

* 1 パノラマモニターは一部の車両にのみ装着されております。

- カメラ映像を過信しないでください。バックモニター、パノラマモニターは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- カメラで映し出す範囲は限られていますので、モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周辺の安全を充分確認してください。
- 雨滴などがカメラに付着すると映りが悪くなるおそれがあります。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・バックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
 - ・坂道など平坦でない道
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり確認しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 自車の状況(乗車人数・積載量)により、画面のガイド線・目安線の示す位置は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてバックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりバックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障などの原因になります。
- カメラ本体をケーブルでぶらさげたり、ケーブルを引張ったりなどは、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線など、故障の原因になります。
- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落するおそれがあります。

お知らせ

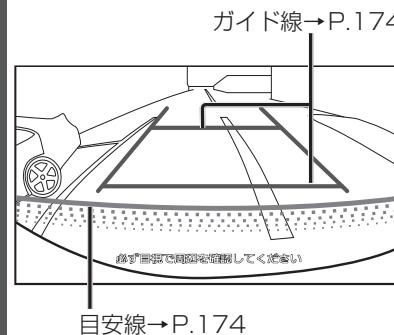
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 50 Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき(フリッカー現象)が起こりますが故障ではありません。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 湿度の高いとき(雨の日など)は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- 本機の映像は鏡像となっています。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラー やサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。これに対し直接目で見るのと同じ画像を正像と呼びます。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。
- カメラの映像は、車体の一部が映し出されるように調整してください。
- カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

バックモニター(3モードカメラ*除く)の映像を見る

後方の映像を映す

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- バックモニターの映像が表示されます。



お知らせ

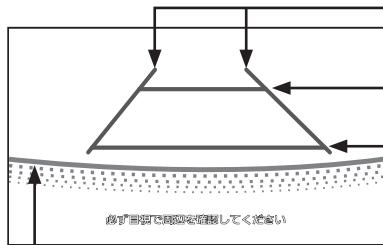
- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。(P.122)
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・暗いところ(夜間など)
 - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき
 - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき(雨天時など)
 - ・カメラ付近に異物(泥など)がついたとき
 - ・太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき

*バックモニター(3モードカメラ)は、一部の車両にのみ装着されております。

バックモニター(3モードカメラ除く)の映像を見る

バックモニターの見かた

ガイド線・目安線



車幅延長線(ガイド線)

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

目安線
車の後方の目安位置を示します。

距離目安線(ガイド線)

車の後方(バンパー後端から)の距離を示します。

- ハンドル操作と連動しません。
- それぞれの中心位置で、手前から約0.5m先(1本目)→約2m先(2本目)を示します。

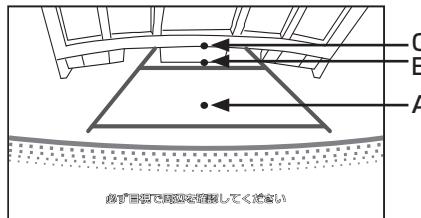
お知らせ

- 車両によりガイド線が左右にずれて表示されることがあります、故障ではありません。

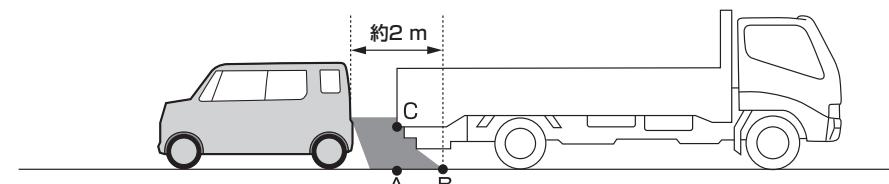
距離目安線の精度について

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

■ 画面



■ 実際のABCの位置



画面では、距離目安線により約2m先(Bの位置)にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

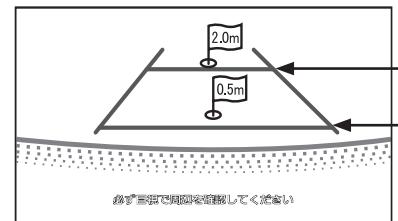
画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

画面と実際の路面との誤差

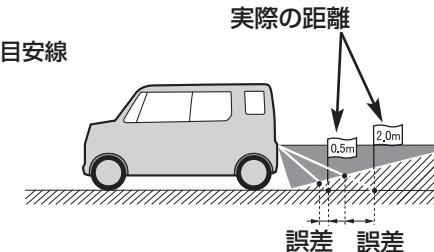
以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。
(図は標準的なカメラ取付位置の場合の例です)

急な上り坂が後方にあるときは

■ 画面



■ 車の状況

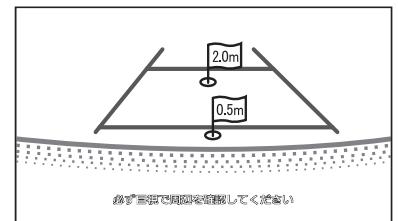


距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。

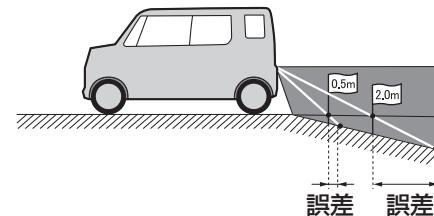
そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

急な下り坂が後方にあるときは

■ 画面



■ 車の状況



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。

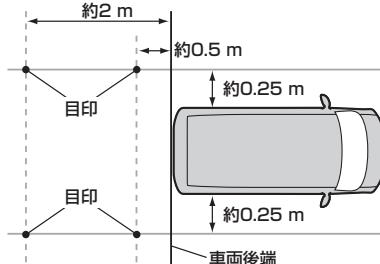
下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

バックモニター(3モードカメラ除く)の映像を見る

ガイド線・目安線の設定をする

- ガイド線を調整する際には、車を安全な場所に停止して行ってください。
- 車を降りて目印を付ける際には、必ず車のエンジンを停止してください。

- 1 車両に対して右図の位置に目印を付ける



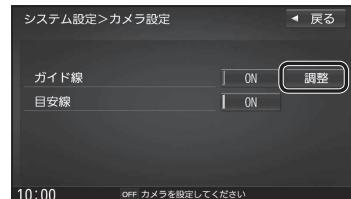
- 2 情報・設定メニュー(P.24)から **システム設定** ▶ **その他設定** ▶ **カメラ設定** を選ぶ

- 3 ガイド線・目安線の**ON**を選ぶ

- 選ぶたびに、表示/非表示が切り換わります。

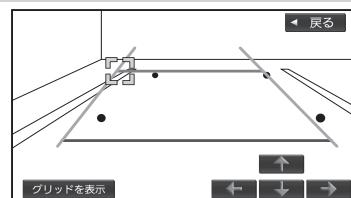
- 4 ガイド線を調整する

- 1 ガイド線の**調整**を選ぶ



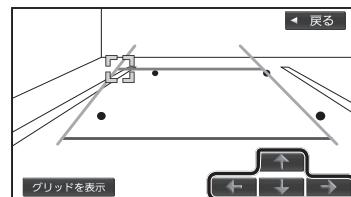
- 2 ガイド線の調整したい点をタッチする

- 点の表示が■に変わります。

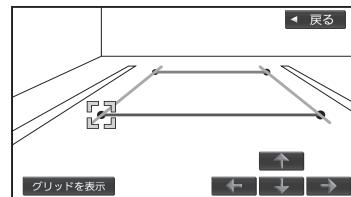


- 3 ← → ↑ ↓ で位置を調整する

- グリッドを表示: 調整の目安となるグリッドを表示します。



- 4 手順4-2～4-3を繰り返して、4点を調整する



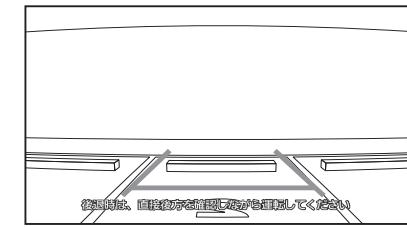
バックモニター(3モードカメラ*)の映像を見る

*バックモニター(3モードカメラ)は、一部の車両にのみ装着されております。
対象車種について、詳しくは販売店にお問い合わせください。

後方の映像を映す

- 車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- 3モードカメラの映像が表示されます。



お知らせ

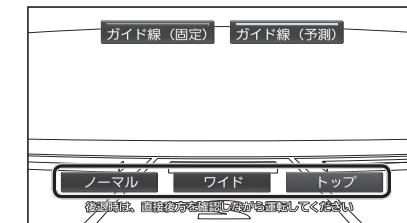
- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。

表示を切り換える

- 1 バックモニターの画面を表示させ、画面をタッチする

- 2 ノーマル/ワイド/トップを選ぶ

- 選んだ表示に切り換わります。

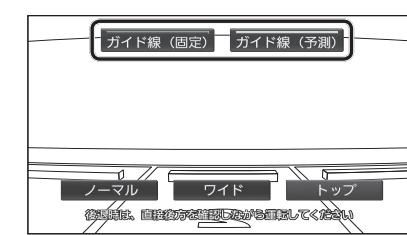


ガイド線を切り換える

- 1 バックモニターの画面を表示させ、画面をタッチする

- 2 ガイド線(固定)/ガイド線(予測)を選ぶ

- 選んだガイド線の表示/非表示が切り換わります。



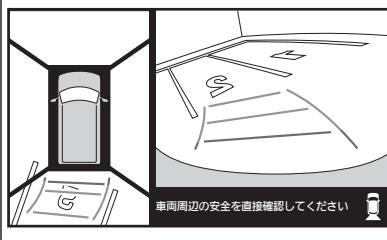
パノラマモニター*の映像を見る

*パノラマモニターは、一部の車両にのみ装着されております。
対象車種について、詳しくは販売店にお問い合わせください。

後方の映像を映す

車のシフトレバーを「R(リバース)」
に入る

- 後方の映像が表示されます。



前方の映像を映す

時速約 10 km以下に減速して、
現在地画面から、カメラを選ぶ

- 前方の映像が表示されます。



お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないで、後方の映像は表示されません。
- 後方の映像を表示中にシフトレバーを「R(リバース)」以外に切り換えると、後方の映像に切り換える前の画面に戻ります。
- 前方の映像(全周囲・ワイド)を表示中に時速約 10 km以上で走行すると、地図画面などに戻ります。
- 前方の映像を表示中に、[Ⓐ]/[Ⓑ]/[♪]のいずれかを押すと、地図/メニュー/オーディオの画面に切り換わります。
- 前方の映像を表示させたまま約3分間何も操作しないと、切り換える前の画面に戻ります。
- 時速約 10 km以上で走行中にカメラを選ぶと、サイドの映像に切り換わります。

後席モニターと組み合わせる

本機の映像^①を、後席モニターに表示できます。

準備

- 後席モニターを、本機が接続されている入力モード(「ビデオ入力」など)に切り換えてください。

オーディオを切り換える(P.80)

- 本機および後席モニターに、選んだオーディオが表示されます。
- [Ⓐ]を押すと、後席モニターに映像を出力したまま、本機のモニターを現在地画面に切り換えることができます。
- 後席モニターには、走行中でも映像が出力されます。

* ① TV、DVD、SD(動画)、USB(動画)

(上記以外の映像は、後席モニターに出力できません。)

ビデオカメラなどと組み合わせる

本機とHDMIで接続した機器の映像を見ることができます。

ビデオカメラなどを本機と接続する

NSZN-X67D



NSZN-W67D



お願い

- ビデオカメラなどの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- ビデオカメラなど、およびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。

ビデオカメラなどの映像を見る

オーディオメニュー(P.24)から、HDMIを選ぶ

- 接続した機器の映像と音声が表示されます。

利用に応じた設定に変える

[太字: お買い上げ時の設定]

表示の設定をする

1 情報・設定メニュー(P.24)からナビ設定を選ぶ

2 ナビ設定画面から表示を選ぶ

3 各項目を設定する

項目	設定内容
メイン画面用地図設定→画面左側画面	地図モード (P.46) 「北向き」: ノースアップで表示する 「進行方向」: ヘディングアップで表示する 「3D」: 3D地図で表示する
	3D視角調整 3Dの地図の傾きを設定する 角度大 → 角度小 
	吹き出しを表示 (P.36) 「する」: 高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」: 吹き出し表示しない
	標高地図を表示 (P.32) 「する」: 広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」: 標高地図を表示しない
	右画面に地図表示 (P.47) 「する」: 右画面に地図を表示する 「しない」: 右画面に地図を表示しない
	名称の文字サイズ 「標準」: 右画面の地図の文字を大きくする 「小」: 右画面の地図の文字を小さくする
	吹き出しを表示 (P.36) 「する」: 右画面に高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」: 右画面に吹き出し表示しない
	標高地図を表示 (P.32) 「する」: 右画面の広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」: 右画面に標高地図を表示しない
	地図モード (P.46) 「北向き」: 右画面をノースアップで表示する 「進行方向」: 右画面をヘディングアップで表示する 「3D」: 右画面を3D地図で表示する
	3D視角調整 右画面の3Dの地図の傾きを設定する 角度大 → 角度小 
地図色設定	昼夜切換 「時間運動」: 時間に連動して、昼画面/夜画面を切り換える 「昼」: 常に昼画面で表示する 「夜」: 常に夜画面で表示する 「スマート運動」: 車のスマートランプに連動して、昼画面/夜画面を切り換える
	標高地図色 (P.32) 「季節運動」: 季節に連動して、標高地図の色を切り換える 「春」: 常に春の地図色で表示する 「夏」: 常に夏の地図色で表示する 「秋」: 常に秋の地図色で表示する 「冬」: 常に冬の地図色で表示する 「標準」: 標準的な色彩の地図色で表示する
情報バー表示設定	MAPCODEを表示 (P.38) 「する」: 情報バーにマップコードを表示する 「しない」: 情報バーにマップコードを表示しない
	地図情報を表示 「住所名」: 情報バーに現在地の住所を表示する 「道路名」: 情報バーに現在地の道路の名称を表示する
	Audio情報を表示 (P.36) 「する」: 情報バーにオーディオの情報を表示する 「しない」: 情報バーにオーディオの情報を表示しない

表示の設定をする(続き)

項目	設定内容
緯度・経度を表示 (P.38)	「する」: 地図モード画面に緯度・経度を表示する 「しない」: 緯度・経度を表示しない
冠水注意ポイント表示	「する」: 豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある地点を表示する 「しない」: 冠水注意ポイントを表示しない
市街地図での冠水注意ポイント表示	「する」: 冠水注意ポイント表示「する」のとき、市街地図でも冠水注意ポイントを表示する 「しない」: 市街地図で冠水注意ポイントを表示しない
登録地を表示 (P.70)	「する」: 地図に登録地を表示する 「しない」: 地図に登録地を表示しない
その他設定	時計表示 (P.36) 「する」: 時計を表示する 「しない」: 時計を表示しない 「映像中はしない」: オーディオがTV、DVD、SD(動画)、USB(動画)、HDMI、Drive P@ssのとき、時計を表示しない(他の画面では表示する) ● 本機はGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。
	デュアルウィンドウを表示 (P.47) 「する」: オーディオがTV、DVD、SD(動画)、USB(動画)、HDMI、Drive P@ssのとき、右画面にオーディオの映像を表示する 「しない」: デュアルウィンドウ表示しない
ランドマーク	● 設定のしかた→P. 49
ランドマーク表示	● 設定のしかた→P. 49
自車位置(通常は必要ありません)	● 設定のしかた→P. 16
走行軌跡	● 設定のしかた→P. 48

探索条件の設定をする

1 情報・設定メニュー(P.24)からナビ設定を選ぶ

2 ナビ設定画面から探索を選ぶ

3 各項目を設定する

項目	設定内容
詳細条件	自動再探索 (P.68) 「する」: ルートから外れた道を走ると自動的に再探索する 「しない」: 自動再探索しない
	フェリーを優先 「する」: フェリー航路を優先して通るルートを探索する 「しない」: フェリー航路を優先して通るルートを探索しない
	時間規制道路を考慮 (P.61、67) 「する」: 時間規制を考慮したルートを探索する 「しない」: 道路の時間規制を考慮しない
	VICS自動再探索*1 (P.67) 「する」: VICS情報を考慮して、ルートを自動的に再探索する 「しない」: VICS自動再探索しない
	新旧ルート比較画面を表示 (P.67) 「する」: 曜日時間規制探索やDRGSでルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行可能であれば、新旧ルート比較画面を表示する 「しない」: 新旧ルート比較画面を表示しない
	到着予想
	「自動」: VICS情報や統計交通情報を考慮して、自動的に到着予想時刻を計算する
	「手動」: 一般道・国道・有料道路の平均速度を手動で入力し、その数値をもとに到着予想時刻を算出する +/-で設定する ● 一般道: 5~60 km/h ● 国道: 5~65~80 km/h ● 有料道路: 5~80~100 km/h
	* 1 ナビチューン(ルート)で、VICS考慮「しない」に設定されている場合は、選択できません。(P.42)

利用に応じた設定に変える

[太字: お買い上げ時の設定]

案内の設定をする

- 1 情報・設定メニュー(P.24)から **ナビ設定**を選ぶ
- 2 ナビ設定画面から**案内**を選ぶ
- 3 各項目を設定する

項目	設定内容
案内表示項目設定	ルートの全表示 (P.59) 「する」: ルート探索後、全ルート図を表示する 「しない」: ルート探索後、全ルート図を表示しない
	交差点情報の表示 (P.38、39) 「常時」: 常に交差点情報を表示する 「案内中」: ルート案内中のみ交差点情報を表示する 「しない」: 交差点情報を表示しない
	ETCレーンの表示 (P.35) 「する」: ETCレーン案内を表示する 「しない」: ETCレーン案内を表示しない
	JCTビューの表示 (P.35) 「する」: ジャンクションビューを表示する 「しない」: ジャンクションビューを表示しない
	ルート情報の表示 (P.33) 「する」: ルート案内中、専用レーン案内とハイウェイマップを表示する 「しない」: ルート情報を表示しない
	ハイウェイモードの表示 (P.33) ● ルート情報の表示が「しない」の場合のみ設定できます。 「する」: ハイウェイマップを表示する 「しない」: ハイウェイマップを表示しない
	交差点拡大図の表示 (P.34) 「する」: 交差点拡大図を表示する 「しない」: 交差点拡大図を表示しない
	リアル3D表示 (P.34) 「する」: 複雑な交差点などを、リアルな3D図で表示する 「しない」: リアル3D表示しない
	方面看板の表示 (P.33) 「常時」: 常に方面看板を表示する 「案内中」: ルート案内中のみ方面看板を表示する 「しない」: 方面看板を表示しない
	Audio画面中の案内割込み 「する」: オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内する 「しない」: オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
案内音声項目設定	デュアルウィンドウ中の案内割込み 「する」: 右画面にAudioの映像を表示させた地図(デュアルウィンドウ)に割り込んでルート案内する 「しない」: デュアルウィンドウ中に割り込んでルート案内しない
	EWS(緊急情報)の割込み (P.83) 「する」: TVのEWS(緊急情報)を受信したら、割り込み表示する 「しない」: EWS(緊急情報)の割り込み表示をしない
	案内出力スピーカー ● 本機の案内音声を出力するスピーカーを設定します。 「左 前」: 左のフロントスピーカーから出力する 「右 前」: 右のフロントスピーカーから出力する
	専用レーン案内 (P.66) 「する」: ルート案内中に右左折専用レーンがある場合、案内する 「しない」: 専用レーン案内しない
	高速走行時の音量切換 「する」: 高速走行時に、音量を自動的に上げる 「しない」: 高速走行時も、音量を上げない
	VICS案内 (P.67) 「する」: 渋滞/規制情報がある場合に音声案内する 「しない」: 渋滞/規制情報の音声案内をしない
	休憩メッセージ案内 (P.68) 「する」: ルート案内中に長時間経過すると、休憩をうながす音声案内を行う 「しない」: 休憩メッセージ案内しない
トンネル出口案内	トンネル出口案内 (P.66) 「する」: トンネルに入ると音声で案内する 「しない」: トンネル出口案内しない

[太字: お買い上げ時の設定]

渋滞情報(VICS)の設定をする

- 1 情報・設定メニュー(P.24)から **ナビ設定**を選ぶ
- 2 ナビ設定画面から**渋滞情報**を選ぶ
- 3 各項目を設定する

項目	設定内容
ETC2.0設定	渋滞情報保存時間設定 渋滞情報を保存する時間を設定する 調整範囲: 15分/30分/1時間/2時間
	ETC2.0受信音 「する」: 一般情報を受信すると、受信音を鳴らす 「しない」: 一般情報を受信しても、受信音を鳴らさない
	ETC2.0割込み 「する」: 一般情報を受信すると、自動的に表示される 「しない」: 一般情報は自動的に表示されない
	ETC2.0自動音声再生 「する」: 情報を受信すると、自動的に音声案内される 「しない」: 情報は自動的に音声案内されない
	ETC2.0アップリンク 「する」: 本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「しない」: 本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

システムの設定をする

- 1 情報・設定メニュー(P.24)から **システム設定**を選ぶ
- 2 各項目を設定する

項目	設定内容
セキュリティ	BLUETOOTH 設定のしかた→P.126~131、P.137
	セキュリティ設定 設定のしかた→P.28
	インジケーター 設定のしかた→P.29
	盗難多発地点音声案内 設定のしかた→P.29
	盗難多発地点表示案内 設定のしかた→P.29
	市街地図での盗難多発地点表示案内 設定のしかた→P.29
	iPod抜き忘れ案内 設定のしかた→P.29
	ユーザーカスタマイズ 設定のしかた→P.23
	画質調整 設定のしかた→P.122
	キー操作音 「する」: キー操作音を鳴らす 「しない」: キー操作音を鳴らさない
運転アシスト	パーキングブレーキアラーム 「する」: サイドブレーキをかけたまま車を発進させたとき、警告案内する 「しない」: パーキングブレーキアラームを鳴らさない
	速度超過アラーム 「する」: 車の速度が約100 km/h以上になったとき警告案内する 「しない」: 速度超過アラームを鳴らさない
	車種設定 設定のしかた→P.20
	車両メンテナンス 設定のしかた→P.154
その他設定	カメラ設定 設定のしかた→P.176
	オープニング画面切換 NSZN-X67D 設定のしかた→P.21
	音声認識設定 NSZN-X67D 設定のしかた→P.147
	車速/パルス検出レベル 「標準」: 通常は「標準」に設定する 「低レベル」: 「標準」では車速/パルスが検出できないときに設定する (お買い上げの販売店にご相談ください)
	初期化 設定のしかた→P.184

利用に応じた設定に変える(各種設定)

[太字: お買い上げ時の設定]

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 情報・設定メニュー(P.24)から **システム設定** を選ぶ

2 システム設定画面から **その他設定** を選ぶ

3 **初期化** を選ぶ

4 初期化する項目を選ぶ

項目	内容
SDカードの初期化	SDメモリーカード ^{*1} を初期化する ● 録音した音楽データも消去されます。 *1 NTFSファイルシステムは初期化できません。
登録データの初期化	登録・設定した内容(登録地・登録ルートなど)を初期化する
ルート学習結果の初期化	本機のルート学習機能を初期化する
入力履歴の初期化	名称検索で入力した履歴を削除する
TVの初期化	TVで設定した内容を初期化する
出荷状態に戻す	個人情報に関する設定をお買い上げ時の状態に戻す ● オーディオがOFFに切り換わります。 NSZN-X67D ● 車種選択(P.14)の設定は、初期化されません。

5 **はい** を選ぶ

6 **はい** を選ぶ

- 選んだ項目が初期化されます。
- 初期化(消去)した項目は、もとに戻せません。
誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。

7 初期化が完了したら、車のエンジンを切り(ACC OFF)、
約10秒間放置してから、再度車のエンジンをかける(ACC ON)
● 本機が再起動します。

お願い

- 初期化中は他の操作(オーディオを切り換えるなど)をしないでください。
故障の原因となります。

お知らせ

- 録音データの初期化はP.109、Gracenoteデータベースの初期化はP.119をご覧ください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず消去してください。
- 他人への譲渡または処分などの場合は、センサー学習値初期化をしてください。(P.19)
- パッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
CD再生モード・FM/AM・交通情報・オーディオチューン(車速連動音量以外)
音量調整・映像調整・画質調整

よくあるお問い合わせ

自車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
→ [④] を押してください。(P.38)

自車位置が正しく表示されない

- ACC OFFの状態で車を移動した。(フェリー、ボート、駐車場のターンテーブルなど)
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS信号を妨げる障害物などがないか確認してください。
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。
→ 「学習レベル」を確認してください。(P.19)

縮尺を切り換えたのに、元の縮尺に戻る

- 地図モード画面で縮尺を切り換えている。
→ 地図モード画面で切り換えた縮尺は、現在地画面に反映されません。
現在地画面で「詳細」/「広域」を選び、縮尺を切り換えてください。(P.45)

地図の年度更新の方法について知りたい

通常の年度更新版地図については販売店にお問い合わせください。
また、本モデルでは無償地図更新サービスを提供しております。(P.231)

故障かな!?

電源・共通

	内 容	ページ
	電源が入らない 車のエンジンがかからっていない。 ●エンジンをかけて(ACCをONにして)ください。	15
	低温状態になっている。 ●故障ではありません。内部が温まると、自動的に起動します。 (オーディオに関する一部の情報や設定はお買い上げ時の状態に戻ります。)	—
	本機が動作しない 地図SDHCメモリーカードが正しく挿入されていない。 ●地図SDHCメモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	15, 157
動作	モニターの上下角度が調整できない 障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
	モニターが閉まらない 地図SDHCメモリーカードを出し入れした際、パネルが正しく取り付けられていない。 ●パネルの取り付けを確認してください。	157
	タッチパネルの反応が悪い/反応しない フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ操作をしている。 ●画面によっては、上記の操作ができません。	13
	指の動きより遅れて反応する場合があります。故障ではありません。	—
	本機が温かくなる 長時間連続して使用している。 ●正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
	SDメモリーカードを挿入しても本機が認識しない 本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたSDメモリーカードは、 本機では認識しない場合があります。 ●SDメモリーカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマット してください。	184, 204
画面 /映像	映像が暗い/白っぽい/色あいが悪い/色が薄い 画質調整が適切でない。 ●各項目を調整してください。	122
	画面に赤、青または緑の点が表示される 液晶ディスプレイ特有の現象です。(故障ではありません。)	—
	モニターに何も表示されない/ナビゲーションの映像が表示されない オーディオがHDMIになっている。 ●他のオーディオに切り換えるなどして、HDMI以外の画面を表示させてください。	80
	一時的に画面を消している(画面消) ●[Ⓐ]/[Ⓑ]/[♪]/[▲]のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	17
	音声は出るが、映像が出ない 一時的に画面を消している(画面消) ●[Ⓐ]/[Ⓑ]/[♪]/[▲]のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	17
	パーキングブレーキを引いていない。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキを引いてください。	—

電源・共通

	内 容	ページ
	左右前後のいずれかの音が出ない FADE/BALANCEの音量バランスを確認してください。	118
音	音が悪い(音がとぶ) DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	203
声	雑音が出る 携帯電話などを本機から離してください。	—

ナビゲーション

	内 容	ページ
	VICS情報が表示されない(FM VICS) VICSを放送している放送局を受信しているか確認してください。	75
表	FMの電波が弱い。 ●障害物(トンネルやビルの陰など)のない場所に移動してください。 ●電波の強い周波数の放送局を選局してください。	— 75
示	地図情報の保持時間が過ぎた。 ●新しい情報を再度受信するまでお待ちください。	—
	VICSのサービス外の地図を表示している。 ●VICSのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	—
	VICS情報が表示されない(ETC2.0) ※別売のETC2.0車載器が必要です。	
	ETC2.0車載器の取り付け状態が悪く受信できない。 ●アンテナの上に物を置かないでください。 ●極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。	— —
	登録地が登録されない/設定が変更されない/探索したルートが消去された 操作のあと、すぐに電源を切った。 ●再度操作してください。	—
動	戻るを選んでも、前の画面に戻らない 画面によっては、戻るを選んでも前の画面に戻らない場合があります。	—
作	地図画面上でフリック/ドラッグ以外の操作ができない フリック/ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。 ●約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	—
	音声案内されない ナビ案内音量の設定で、音量が「消音」に設定されている。 ●ナビ案内音量の設定を調整してください。	18
案	ルートから外れている。 ●現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ●再探索してください。	38, 39 68
内	自動再探索が「しない」に設定されている。 ●「する」に設定してください。	181
	ルートに対して逆走行している。 ●目的地の方向を確認してください。 ●再探索してください。	39 68

ナビゲーション

内 容	ページ
オーディオの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない	
ナビ案内音量の設定で、音量が「消音」に設定されている。 ●ナビ案内音量の設定を調整してください。	18
ルート案内中に料金案内されない	
ルートが有料道路上から始まっている。 ●有料道路上で自動再探索や再探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金案内されない場合があります。	—
有料道路以外で有料案内する	
地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。	—
料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	—
高速道路を走行中に一般道路の案内をする / 一般道路を走行中に高速道路の案内をする	
高速道路と一般道路が平行にあるときは、誤った道路が案内される場合があります。 ●ランチャーメニューから、 道路切換 を選んでください。	40
一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る	
現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。(故障ではありません。) ●通りたい一般道路上に経由地を設定してください。	58、 64、65

オーディオ[TV]

内 容	ページ
映像も、音声も出ない	
本機が異常に高温になっている。 ●車内の温度を下げてから、本機の電源を入れなおしてください。	—
受信状態が悪い。	
●車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所に移動してください。	—
電源を入れても映像がすぐに出ない	
本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。(故障ではありません。)	—
映像や音声が出ない(ときどき出なくなる)/映像が静止する(ときどき静止する)	
車のある場所や方向により受信状態が変化します。 視聴中に、受信状態により「黒色」画面になることがありますが、故障ではありません。	—
車両の搭載機器(電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプなど)の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。	—
自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	—
受信状態の良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ●受信モードを「自動切換」または「ワンセグ」に切り換えてください。	87

オーディオ[TV]

内 容	ページ
地上デジタル放送が受信できない/受信状態が悪い	
地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。 また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
ホームモード/おでかけモードが正しく設定されているか確認してください。	
周波数再編(リパック)が実施された。 ●エリアプリセットを解除して、再スキャンを行ってください。	87、88

オーディオ[FM]/[AM]

内 容	ページ
エンジンをかけると、車のラジオアンテナが上下する	
エンジンをかけるタイミングにより、上下する場合があります。(故障ではありません。)	—
●ラジオが受信できない	
●ノイズが多い	—
放送局の電波が弱い。 ●放送局を変えてください。	89
周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなつた) ●新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。	89
ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	—

オーディオ[DVD]

内 容	ページ
タッチパネルを操作しても、動作しない	
ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。	
設定した字幕言語/音声言語/アングルが切り換わらない	
複数の字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、切り換えられません。 ●トップメニューなどで切り換えたり、特定の映像のみアングルなどを切り換えるディスクもあります。	—
設定した字幕言語/音声言語で再生されない	
設定した字幕/音声が記録されていないディスクでは、設定どおりの字幕/音声で再生されません。 ●トップメニューなどで切り換えられるディスクもあります。	—
メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない	
「言語設定」でメニュー言語の設定を確認してください。	94
ディスクを挿入しても再生できない	
ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	91
再生できるディスクを使用してください。	91、201
ディスク挿入後、またはDVDに切り換えたあとに、フォーマットが識別される少しの間、音がとぎれことがあります。	—

オーディオ [DVD]

内 容		ページ
音 声	再生中に小さい音が聞き取りにくい	
	「ダイナミックレンジ圧縮」の設定を、「ON」に設定してください。	94
	DVD再生の音量が小さい	
	音楽CDとDVDの録音レベルには差があります。 ● DVD再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。	18
音質が悪い(音がとぶ)		
ディスクの汚れをクリーニングしてください。		203

オーディオ [MP3/WMA(CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

内 容		ページ
動 作	再生するまで時間がかかる	
	記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ● MP3/WMA以外のファイルや必要なないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	—
	順番どおりに再生されない	
	書き込んだ順番に再生されます。 ● 再生したい順番に、書き込んでください。 ● ファイル名の頭に「001」～「512」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。	—
再生できない		
音 声	ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	91
	MP3ファイルには、拡張子「mp3(MP3)」、WMAファイルには、拡張子「wma(WMA)」を必ず付けてください。	—
	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	202
	ビットレート/サンプリング周波数が誤っている。 ● ビットレート/サンプリング周波数を確認してください。	207
音質が悪い(音がとぶ)		
表示	ディスクの汚れをクリーニングしてください。	203
	音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。	206,207
	低倍速で、再度データを書き込んでください。	—
	再生経過時間は表示されているが、音が出ない	
● ミックスモード(第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット)のディスクの第1トラックを再生した。 ● ミックスモードで再生しようとした場合、MP3/WMAファイルが無音で再生されることがあります。		—
● ファイル名/フォルダ名が正しく表示されない ● 曲情報が正しく表示されない		
規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。	205,206	
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	—	

オーディオ [MEMORY MUSIC]

内 容		ページ
表 示	再生経過時間の表示が実際と一致していない	
	再生中、ACCをOFFにした。 ●他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。	—
可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。		—

オーディオ [iPod]

内 容		ページ
動 作	iPodが正しく動作しない	
	iPodが正しく認識されていない。 ● iPodをリセットしてから再度接続してください。	—
	Lightningコネクターを持つiPod/iPhoneを接続している。 ● Lightning-USBケーブルによる接続では、Drive P@ssとiPodミュージックを同時に利用することはできません。配線を変えてください。	115
	iPodのバージョンが古い。 ● iPodのバージョンを確認してください。	114

BLUETOOTH

	内 容	ページ
BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録できない		
	BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能がOFFになっている。 ● BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHをONに設定してください。	—
	BLUETOOTH Audio機器がA2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応していない。 ● BLUETOOTH Audio機器は、A2DPに対応したものを登録してください。	—
登録		
	携帯電話がHFP(Hands-Free Profile)に対応していない。 ● ハンズフリー用の携帯電話は、HFPに対応したものを登録してください。	—
	BLUETOOTH 対応機器のファームウェア(ソフトウェア)が古い。 ● ファームウェアを最新にしてください。	—
BLUETOOTH対応機器の登録機器リストで本機の機器名称を選択しても、本機を登録できない		
	機器アドレスが本機のものと異なる。 ● 本機と同じ名称の、別の機器が登録されています。 本機のBLUETOOTH接続画面で機器アドレスを確認して、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから、本機と同じ機器アドレスの機器を選んで登録してください。	126
本機に接続できない		
	BLUETOOTH対応機器が本機に機器登録されていない。 ● 機器登録してください。	126
	携帯電話がHFP(Hands-Free Profile)に対応していない。 ● HFPに対応していないとBLUETOOTH接続できません。 (機種によっては、HFPに対応していない場合でも本機に登録される場合があります。)	—
	携帯電話がSPP(Serial Port Profile)に対応していない。 ● SPPに対応していないとスマホ連携接続できません。	—
	携帯電話の受信状態を確認してください。	—
	BLUETOOTH対応機器から本機までの距離が離れすぎている。 ● BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
	自動的にペアリング情報が消去された。 ● 本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	126, 127
	自動接続が完了していない。 ● BLUETOOTH対応機器が本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。	—

BLUETOOTH

	内 容	ページ
登録したBLUETOOTH対応機器が自動的に本機と再接続されない		
	BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能が無効になっている。 ● BLUETOOTH機能を有効にしてください。	—
	BLUETOOTH対応機器が省電力モードに設定されている。 ● 一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除される場合があります。 BLUETOOTH対応機器の設定を変更してください。	—
	BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHによる本機との接続を解除した。 ● BLUETOOTH対応機器を操作して、再度本機とBLUETOOTH接続してください。	128, 129
	● それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	126, 127
接続		
	BLUETOOTH対応機器が操作待ちになっている。(機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要なことがあります。) ● BLUETOOTH対応機器を操作してBLUETOOTH接続を許可してください。	—
	本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ● 混信するため、他の機器を本機から離してください。 ● それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	209
	BLUETOOTH対応機器が金属物に触れている。 ● 金属物から離してください。	—
	BLUETOOTH対応機器と本機の間に障害物がある。 ● BLUETOOTH対応機器と本機の間の障害物を取り除いてください。	—
	BLUETOOTH対応機器から本機までの距離が離れすぎている。 ● BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
登録したBLUETOOTH対応機器が自動的に本機と再接続されない(続き)		
	BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。 ● いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。 ● それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	126, 127
	携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態にならない。 ● 携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態でないと、本機とBLUETOOTH接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。	—
	BLUETOOTH Audio機器が自動接続に対応していない。 ● オーディオをBLUETOOTH Audioに切り替え、本機から手動で接続してください。	129
	携帯電話がハンズフリー接続待機状態にならない。 ● 携帯電話がハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。	—
音質が悪い(音がゆがむ・ノイズが発生する)		
	本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ● 混信するため、他の機器を本機から離してください。 ● それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	209
	携帯電話の受信状態を確認してください。	—
	BLUETOOTH対応機器の電池残量が少ない。 ● 充電してください。	—

BLUETOOTH

内 容		ページ
「Drive P@ss」「ここいこ♪」「NaviCon®」のデータを本機で取得できない		
スマートフォンが本機に正常に接続されていない。 ● BLUETOOTH接続状態を確認してください。	—	128
● 本機のスマホ連携接続の状態を確認してください。		
● スマホ連携接続をいったん解除してから、再度接続しなおしてください。		
iPhoneまたはiPodを本機のケーブルで接続した状態でiPhoneをBLUETOOTH接続しようとした。 ● iPhoneまたはiPodをケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneで「ここいこ♪」「NaviCon®」を利用することはできません。 iPhoneまたはiPodをケーブルから取り外してください。	—	
「Drive P@ss」「ここいこ♪」「NaviCon®」を終了してもBLUETOOTH接続が解除されない		
● 手動でBLUETOOTH接続を解除してください。	128	
スマホ連携の接続が完了しない		
● 接続をいったん中止し、再度接続しなおしてください。	128	
スマホ連携の切断が完了しない		
● スマートフォンを操作して切断してください。	—	
「Drive P@ss」が正しく動作しない		
「Drive P@ss」がダウンロードされていない。 ● 「Drive P@ss」の利用には、スマートフォンへ「Drive P@ss」のダウンロードが必要です。	136	
スマートフォンが本機にスマホ連携接続されていない。 ● 本機のスマホ連携接続の状態を確認してください。	128	
スマートフォンが本機に正しく接続されていない。 ● ケーブルの接続を確認してください。	139	
「Drive P@ss」が起動されていない。 ● スマートフォンの「Drive P@ss」が起動されていることを確認してください。	—	
オーディオのHDMIの画面を表示させている。 ● オーディオのHDMIの画面では、「Drive P@ss」の操作はできません。 本機で「Drive P@ss」を起動させてください。	140	
本機に機器登録された携帯電話でハンズフリー通話できない		
通話が携帯電話に切り替わっている。 ● ハンズフリー切換を選択し、ハンズフリー通話に切り替えてください。	132	
携帯電話のサービス圏外で使用している。 ● サービス圏内で使用してください。	—	
BLUETOOTHによる接続がされていない。 ● 再度接続してください。	128	
携帯電話がマナーモードになっている。 ● 機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。	—	
発着信時に相手の名前が表示されない		
携帯電話の電話帳が本機に登録されていない。 ● 電話帳を本機に登録してください。	134	
ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる		
受話音量が大きすぎる。 ● 音量を下げてください。	132,135	

BLUETOOTH

内 容		ページ
通話中、相手の音声が聞き取りにくい		
自分と相手が同時に発声した。 ● 交互に話してください。	—	
受話音量が小さい。 ● 音量を上げてください。	132,135	
着信履歴から発信できない		
番号非通知の相手にかけようとした。 ● 番号非通知の相手には発信できません。	—	
国際電話を受けた。 ● 携帯電話の契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	—	
携帯電話の機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ● 携帯電話の着信履歴から直接発信してください。	—	
● 通話音量が大きすぎる/小さすぎる ● 通話しづらい		
マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ● 適切な距離でお話しください。	—	
エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ● エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	—	
● 携帯電話の通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り換わる ● 本機と接続中、携帯電話で通話できない		
機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 ● 携帯電話で通話するときは、携帯電話を操作して本機とのBLUETOOTH接続を解除してください。	—	
走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された		
携帯電話の電波が弱い。 ● 電波の状態が良い場所でご使用ください。	—	
電話帳転送ができない		
携帯電話がOPP(Object Push Profile)またはPBAP(Phone Book Access Profile)に対応していない。 ● OPPまたはPBAPに対応していないと、電話帳転送できません。 (機種によっては、OPPに対応していても電話帳転送できない場合があります。)	—	
BLUETOOTH Audio画面から操作できない(再生はできる)		
BLUETOOTH Audio機器がAVRCP(Audio/Visual Remote Control Profile)に対応していない。 ● BLUETOOTH Audio機器がAVRCPに対応していない場合は本機から操作できません。BLUETOOTH対応機器で操作してください。	—	
機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。 ● BLUETOOTH対応機器で操作してください。	—	
音量が小さい		
● BLUETOOTH機器の音量を調整してください。	—	

BLUETOOTH

	内 容	ページ
BLUETOOTH Audio その他	音質が悪い(音がゆがむ、音が途切れる、ノイズが発生する) BLUETOOTH Audio機器から本機までの距離が離れすぎている。 ● BLUETOOTH Audio機器を本機に近づけてください。また、BLUETOOTH Audio機器の向きを変えてみてください。(BLUETOOTHアンテナが本体に向くように) 「電話1」「電話2」「スマホ連携」に設定された携帯電話/スマートフォンのうち、本機と接続されていないものがある。 (例: 電源がOFFになっている、車内に持ち込まれていない) ● 対象機器のハンズフリー、およびスマホ連携の接続設定を解除してください。	209 128
	● その他の問題がある ● P.186~190の処置をしても問題が解決しない	
	いったんエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。	—
	いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。	—
	機器登録を削除し、再度登録しなおしてください。	126, 127
	それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

音声認識 NSZN-X67D

	内 容	ページ
動作	音声認識を利用できない ● スマートフォンにDrive P@ssをインストールして、本機と接続してください。 ● スマートフォンをWi-Fi®で接続している場合は、携帯電話回線に切り換えてください。 ● スマートフォンの省電力機能はOFFにしてください。 ● Drive P@ss以外のアプリを起動している場合は、終了してください。 ● スマートフォンにDrive P@ss画面が表示されているか確認してください。	128, 136 — — — — —
	サーバーへの接続が失敗する スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できなくなることがあります。 ● 場所を移動して、電波状況の良好な場所でお使いください。 ● しばらくしてから接続を行ってください。 ● Wi-Fi®機器を利用して接続する場合、音声が途切れたり、通信が切断される場合があります。	— — —
	誤認識が多い ● 車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、適正な音量ではっきり発声してください。 ● マイクは発声する人の口元に向けて20 cm~40 cm離してください。 ● 効果音が鳴ってから、続けて発声してください。	146 — —
	音声認識に失敗する ● 声が小さすぎると認識されません。適正な音量ではっきり発声してください。 ● それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	146 —
	音声が输出されない 本機またはスマートフォンの音量が小さい。 ● 本機とスマートフォンの音量を確認してください。	18

ドライブレコーダー

	内 容	ページ
	ドライブレコーダーの電源が入らない(LEDランプが点灯しない) 車のエンジンがかからっていない。 ● エンジンをかけて(ACCをONにして)ください。	—
	ドライブレコーダーのヒューズが切れている。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	本機やmicroSDHCメモリーカードが温かくなる。 長時間使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
	録画できない、または録画した映像が正しく表示されない ドライブレコーダーにmicroSDHCメモリーカードが挿入されていない。 ● ドライブレコーダーにmicroSDHCメモリーカードを挿入してください。	167
動作	microSDHCメモリーカード内の保存領域が不足している。(録画できない場合) ● 手動録画した記録ファイルや保存フォルダ内の記録ファイルなどを削除して、保存領域を確保してください。(削除したくない記録ファイルは、パソコンなどにコピーしてください)	—
	microSDHCメモリーカードを初期化していない、またはドライブレコーダー以外(パソコンなど)で初期化(フォーマット)している。 ● microSDHCメモリーカードをドライブレコーダーで初期化しなかったり、ドライブレコーダー以外で初期化(フォーマット)すると正常に動作しない場合がありますので、必ずドライブレコーダーで初期化してください。	168
	付属または使用可能microSDHCメモリーカード以外を使用している。 ● 付属または使用可能microSDHCメモリーカードを使用してください。(Class6以上8 GB~32 GB)	—
	microSDHCメモリーカードを長期間使用している。 ● microSDHCメモリーカードには寿命があります。 新しいmicroSDHCメモリーカードに交換してください。	—
	録画や再生、初期化中に、本機からmicroSDHCメモリーカードを取り出した。 ● microSDHCメモリーカードが故障する場合があります。 故障した場合は新しいmicroSDHCメモリーカードに交換してください。	—
映像	映像に白線(光の線)が出る 太陽光を直接映したり、強い光(ヘッドライトなど)を映している。 ● 光源の周囲に明るい線が現れることがあります。故障ではありません。	—
	映像が見えにくい 暗いところを映したり、部分的に明るい光を映している。 ● 故障ではありません。	—
	ドライブレコーダーが異常に高温になっている。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。	—

ETC2.0ユニット

	内 容	ページ
動作	ETC2.0ユニットが動作しない 電源ランプ(青)が点灯しない	
	電源コードのヒューズが切れている。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。	—

ETC2.0ユニット

内 容		ページ
動 作	ETCランプ(青)が点灯しない	
	ETCカードが挿入されていない。 ● ETCカードが正しく挿入されているかご確認ください。	163
	● 正常なETCカードが挿入されているかご確認ください。 ● ETCカードのコンタクト面が汚れていないかご確認ください。	— 163
路側表示器に料金が表示され、通行できたにもかかわらず、本機から料金案内されない	料金の徴収は正常に行われたが、何らかの原因でETCカードに料金(利用履歴)を書き込めなかった。	
	● 料金は徴収されていますので、クレジット会社からの明細にてご確認ください。	—

こんなメッセージが出たときは

内 容	
か	高温のため、動作を停止しています。エアコンをかけ車内の温度を下げてから安全な場所に停車し、エンジンをかけ直してください。 本機の内部温度が異常に高い。 ● 内部温度が下がるまでお待ちください。
	この画像は表示できません。表示可能サイズを超えてるか、不正な画像ファイルです。
	再生できない形式の静止画データを再生した。 ● ファイルを確認してください。
	この曲は再生できません。 再生できない形式の音楽データを再生した。 ● ファイルを確認してください。
	このSDカードは書き込み禁止です。 SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ● 書き込み禁止スイッチを解除してください。
さ	再生可能なファイルがありません。 異常のある動画を再生した。 ● ファイルを確認してください。
	再生できるファイルがない。 ● 再生できるファイルのあるメディアを挿入してください。
	再生可能なディスクを入れてください。 ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ディスクにキズが付いている。 再生できないディスクを使用している。(P.91、202) ● ディスクを確認してください。
	受信できません(E020) 地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが低い。
	受信できません(E202) 地上デジタル放送/ワンセグの電波を受信できていない。
	受信できません(E203) 地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが非常に低い。 放送休止のチャンネルを見ている。
	情報を受信していません。 VICS情報がない。 ● FM VICSチューナーの周波数設定を確認してください。

こんなメッセージが出たときは

内 容	
さ	走行中はスクロールできません。 市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。 ● 安全な場所に停車して、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
た	● 地図カードを挿入してください。 ● 地図カードがありません。 地図SDHCメモリーカードがしっかりと挿入されているか、確認してください。 地図データ異常ににより正常に起動できませんでした。 地図SDHCメモリーカードに異常がある。 ● お買い上げの販売店にお問い合わせください。 電源を入れ直してください。 アンプに異常が発生した。 ● いったんエンジンを止めて、もう一度エンジンをかけてください。
は	配線の不良または機器の故障の可能性があります。 お買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。 本機が故障している。 ● お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
ら	ルート探索ができません。 極端に長い道のりのルートを探索しようとした。 ● 目的地、経由地を近くに設定して、もう一度ルートを探索してください。 録音できませんでした。 SDカードの状態を確認してください。 SDメモリーカードが本機に挿入されていない。 ● SDメモリーカードを本機に挿入してください。 録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。 SDメモリーカードに十分な空き容量がない。 ● 不要な音楽データを消去してください。
い	NSZN-W67D iPod/USB接続用中継ケーブルに異常がありました ケーブルにキャップをした後、電源を入れ直してください。 ケーブルが金属物に触れている。 ● 金属物から離してください。 接続している機器に異常がないことを確認してください。 ● それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
そ	SDカードが書き込み禁止になっています。 SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ● 書き込み禁止スイッチを解除してください。
記 号	○ ディスクまたは本機で禁止されている操作です。

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、約1時間ほど放置してください。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 万一、故障や異常が起こったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は、絶対におやめください。
● 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

文字入力のしかた

1 入力したい文字の種類を選ぶ



- 選ぶごとに種類が切り換わります。
- かな:ひらがな/漢字
- カナ:カタカナ
- 英 数:英字/数字
- 記 号:記号

2 文字を入力し、 変換または無変換を選ぶ(右記)



- 変換は、ひらがなのときのみ選べます。
- 記号入力時は、変換/無変換を選ぶ必要はありません。
- ←→:カーソルを移動
- 修正:1文字削除
1秒以上押して、全文字削除

3 文字入力が終わったら決定を選ぶ



携帯電話のボタンの感覚で入力する

1 入力切換を選ぶ



2 文字の種類を選び、入力する



ひらがな/漢字を入力する



- ←→:変換する範囲を変える
- 無変換:ひらがなのまま入力されます。
- 変換:変換の候補が表示されます。

カタカナを入力する



- 半角/全角:半角・全角の切換
・半角を選ぶと、全角が表示されます。

英字/数字を入力する



- 半角/全角:半角・全角の切換
・半角を選ぶと、全角が表示されます。
- 小文字:大文字・小文字の切換
・選ぶごとに切り換わります。

記号を入力する



お知らせ

- 入力できる字数は、項目によって異なります。
詳しくは、各項目の説明をご覧ください。
- 入力できる文字の種類は、機能によって異なります。(例:名称検索(P.54)で入力できるのは、「ひらがな」のみです。)
- デジタルTVの文字入力のしかたについて
 - 基本的な入力方法は上記と同じです。
 - 漢字は入力できません。

ディスクについて

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

フォーマット ディスク	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3 ^{*3}	WMA ^{*3}
DVD	○	—	—	—	—
DVD-R/RW ^{*1}	○	○	—	—	—
CD	—	—	○	—	—
CD-R/RW ^{*2}	—	—	○	○	○

* 1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

* 2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

* 3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Loss-less、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

DVD-R/RWディスクについて

片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

CD-R/RWディスクについて

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかつたり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- 通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク(CD-Extra, CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど)は、正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワنسをおすすめします。
- MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWは挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。

ディスクに記載されているマークについて

■ リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号。
ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。



■ 画面サイズ(横:縦の比)*¹

4:3の標準サイズ



レター ボックス



* 1 モニターに映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

16:9のワイドサイズ

モニターの画面サイズが標準(4:3)のときは、レターボックスで再生されます。



モニターの画面サイズが標準(4:3)のときは、パン&スキャンで再生されます。



再生できないディスク

- 8 cmディスク*²
- NTSC以外の方式(PAL, SECAM方式など)で記録されたディスク
- AVC REC方式で録画されたDVD
- AVCHD方式で撮影したDVD
- ファイナライズされていないDVD-R/RW
- クローズセッションされていないCD-R/RW
- Blu-ray Disc
- BD-R
- BD-RE
- Ultra HD Blu-ray
- Blu-ray 3D
- BDXL
- カートリッジ付きBD-RE (Ver.1.0)
- BD-ROM
- DVD-ROM
- DVD+R
- DVD+RW
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- CD-R
- フォトCD
- CD-G
- ビデオCD
- CDV
- SVCD
- SACD
- CD-EXTRA*³
- VSD
- CVD
- DualDisc*⁴
- HD DVD-Video
- HD DVD-R
- HD DVD-RW
- HD DVD-RAM
- HD DVD-ROM
- DIVX Videoディスクなど

* 2 シングルラダブラーも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。

* 3 ファーストセッションが音楽データ(CD-DA)の場合は、再生できます。

* 4 ディスクに傷が付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなることがあります。

本体・液晶画面のお手入れ

- 本体は、電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 液晶画面は、市販のクリーニングクロスで拭いてください。
- ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは、使用しないでください。(塗装が変質するおそれがあります)
- 化学ぞうきんは、注意書きに従って、お使いください。



ディスクの取り扱い

■持ちかた

記録面に
触れないように持つ

■ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい
布で拭いたあと、乾いた
布で拭く



- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

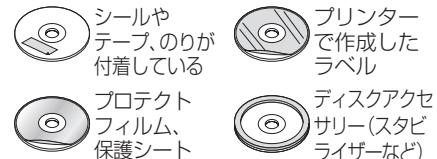
次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光の当たるところ
(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところ

下記のようなディスクは 使用しないでください

本機の内部で引っかかるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク



破損・変形したディスク



透明なディスク



円形以外の特殊な形状のディスク



汚れを防ぐために

ディスクを使用する前など、ときどきディスクの表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。

- ディスクを使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。

お願い

- 市販のレンズクリーナーディスクは、レンズに損傷を与え、故障の原因となりますので、使用しないでください。

SDメモリーカード・USBメモリーについて

SDメモリーカードについて

■本機で使用できるSDメモリーカード

※本書では特にことわりのない限り、下記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と表記しています。

- SDHCメモリーカード(32 GB以下)^{*1}
- SDメモリーカード(2 GB以下)
- microSDHCメモリーカード(32 GB以下)^{*1*2}
- microSDメモリーカード(2 GB以下)^{*2}
- miniSDメモリーカード(2 GB以下)^{*2}

*1 SDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。

*2 カードをSDメモリーカード挿入口へ挿入するときは、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。

取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

■SDメモリーカードは、使用する前に本機で初期化してください。(P.184)

- または、パソコンで「SDフォーマッタ」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。SDフォーマッタについては、下記サイトをご覧ください。http://panasonic.jp/support/sd_w/download/

お知らせ

- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

USBメモリーについて

■本機で使用できるUSBメモリー

- USBマスストレージ規格準拠
- 容量:32 GB以下
- USBコミュニケーションフォーマット:USB2.0(12 Mbps)
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリ一本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。正常に動作しないときは、接続したUSBメモリーを本機から取り外してください。

SDメモリーカード/USBメモリーの取り扱いについて

●読み書きしているときに以下のことはしないでください。

- SDメモリーカードを取り出す
- USBメモリーを取り外す
- 機器の電源を切る
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、SDメモリーカード/USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカード/USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカード/USBメモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカード/USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDメモリーカードにシールやラベルを重ねて貼り付けないでください。
- SDメモリーカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。

データ作成時の留意点

静止画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した画像データを再生できます。

■本機で再生できる画像データ

項目	内容	
対応形式	JPEG(ベースライン)	
拡張子	JPG, jpg (大文字、小文字どちらでも使用可能)	
最大階層	8階層	
最大ファイル数	メディア全体 1 フォルダ内	10 000(ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計) 255(ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
最大フォルダ数	100	
使用可能文字	A~Z(全角/半角)、0~9(全角/半角)、_(アンダースコア)、漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角/半角)	
ファイルサイズ	10MB以下	
画像解像度	16×16~4 092×4 092	

- 解像度が高い画像は画面に合わせて縮小して表示します。

- 以下のようなファイルは再生できません。

- ・プログレッシブ方式
- ・RGB以外(グレースケール、CMYKなど)

動画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。

■本機で再生できる動画データ

項目	内容	
対応規格	MPEG-4 AVC(レベル3まで)、H.264(ベースライン レベル2.1)	
拡張子	MP4、M4V、mp4、m4v (大文字、小文字どちらでも使用可能)	
コーデック	MPEG-4 AVC、H.264	AAC-LC
ビットレート	216 kbps~4 Mbps	8 kbps~320 kbps
フレームレート	15 fps、30 fps	
最大解像度	720×480	
サンプリング周波数		15 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
最大階層	8階層	
最大ファイル数	メディア全体 1 フォルダ内	10 000(ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計) 100(ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
最大フォルダ数	100	
最大表示文字数	半角32文字(全角16文字)	
使用可能文字	A~Z(全角/半角)、0~9(全角/半角)、_(アンダースコア)、漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角/半角)	
ファイルサイズ	1GB以下	

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート(VBR)で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、再生できなかったり、音飛びする可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- Windows Media Videoには対応していません。

データ作成時の留意点

音楽データについて

音楽データの規格について

使用可能なメディア	MP3	WMA	AAC
データの規格、プロファイル	CD-R/RW、SD、USB MPEG Audio Layer 3	CD-R/RW、SD、USB Windows Media Audio	SD、USB Low Complexity
ファイル拡張子	MP3、mp3	WMA、wma	M4A、m4a
最大フォルダ名/ファイル名文字数	CD-R/RW: 全角32文字/半角32文字 SD、USB: 全角32文字/半角64文字		
フォルダ名/ファイル名	A～Z(全角/半角)、0～9(全角/半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角/半角)		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル+フォルダ数: ルートフォルダ含む)		
1メディア内の最大ファイル数	CD-R/RW: 512 SD、USB: 10 000		
1メディア内の最大フォルダ数	CD-R/RW: 255 SD、USB: 400		
表示可能なタグ	CD-R/RW: トラック名/アーティスト名/アルバム名 SD、USB: トラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名		
タグ表示可能文字数	ID3タグ Ver 1.0/1.1: 全角15/半角30文字 ID3タグ Ver 2.2/2.3: CD-R/RW: 全角30文字 半角60文字 SD、USB: 全角32文字 半角64文字	CD-R/RW: 全角30文字 半角30文字 SD、USB: 全角32文字 半角64文字	全角32文字 半角64文字
フォーマット/バージョン	MPEG1 Layer3 MPEG2 Layer3	Version 7/8/9	
サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/ 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz	16 kHz/22.05 kHz/ 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz
ビットレート(kbps)	8 kbps～320 kbps、VBR	48 kbps～320 kbps、VBR	8 kbps～320 kbps
ジャケット写真	CD-R/RW: 非対応 SD、USB: 対応		

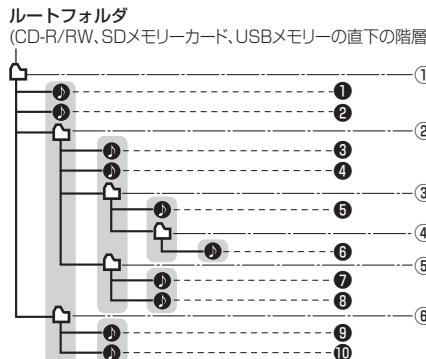
- m3u/MP3!フォーマット/MP3 PRO フォーマット/ディエンファシスには対応しておりません。
- WMA9 Professional/WMA9 Losslessには対応しておりません。
- DRM(デジタル著作権管理)には対応しておりません。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
- 著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。
- 2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。

お知らせ

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AACファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AACファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。クローズセッションでないディスクは再生できません。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- MP3以外のファイルに“MP3”的拡張子、WMA以外のファイルに“WMA”的拡張子またはAAC以外のファイルに“m4a”的拡張子を付けると、MP3ファイル/WMAファイル/AACファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA/AACファイル以外に、“MP3”、“WMA”、“m4a”的拡張子を付けないでください。MP3/WMA/AAC以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

階層と再生順序について

再生順序: ① ファイル ①～⑩
② フォルダ ①～⑥



同じ階層()で囲まれた範囲)内のファイル・フォルダは、書き込まれた日時順に並べ替えて再生します。(下記)



CD-R/RWのMP3/WMAの場合

- ルートフォルダは1つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、1つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ換えることがありますため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかつたり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、①～⑩の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まると同時に時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- フリーформマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

音楽ファイルの再生について

- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- リストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が想定している順とは異なった順で表示されることがあります。
- 正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごとに一度メモリ上に書き込むことをおすすめします。メモリ上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

ファイル名について

- フォルダ名とファイル名の合計が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

ジャケット写真について

- JPEG形式のみに対応しています。他の形式の場合、正常に表示できません。
- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 176×176ピクセル以下の画像は表示エリアよりも小さく表示される場合があります。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

Gracenote音楽認識サービスについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

- Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
- Gracenote, Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および"Powered by Gracenote"ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

● エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバーあるいは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得されたGracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対してても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないとの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

BLUETOOTHについて

■ 使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)があります。

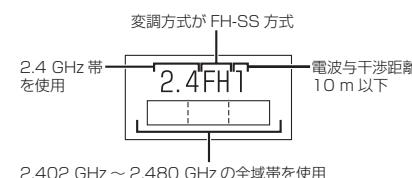
- 1 BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
- 2 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ 機器設定 (無線局の免許は不要です。)

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■ 周波数表示の見方(製品銘板に記載)



■ 使用可能距離

見通し距離約10 m以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■ 他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■ 使用制限

- 全てのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。(BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。)
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 用途制限

- 本機のBLUETOOTH機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器がBLUETOOTH標準規格Ver.1.2以降に対応している必要があります。
- 本機のBLUETOOTHの各機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
 - BLUETOOTH Audio
 - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
 - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
 - ハンズフリー通話
 - Hands-Free Profile (HFP)
 - 電話帳転送
 - Object Push Profile (OPP) または Phone Book Access Profile (PBAP)
 - 「ここにこゝ」/[NaviCon®]/[Drive P@ss]/[CarAV remote]
 - Serial Port Profile (SPP)
 - 音声認識
 - Serial Port Profile (SPP)
 - Hands-Free Profile (HFP)
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

DVD言語コード一覧表

下記の言語コードは、
本機でのみ有効です。

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1027	アファル語	1248	インドネシア語	1495	サンスクリット語
1028	アバジア語	1253	アイスランド語	1498	シンド語
1032	アフリカーンス語	1254	イタリア語	1501	サンゴ語
1039	アムハラ語	1257	ヘブライ語	1502	セルビアクロアチア語
1044	アラビア語	1261	日本語	1503	シンハラ語
1045	アッサム語	1269	イディッシュ語	1505	スロバキア語
1051	アイマラ語	1283	ジャワ語	1506	スロベニア語
1052	アゼルバイジャン語	1287	グルジア語	1507	サモア語
1053	バシキール語	1297	カザフ語	1508	ショナ語
1057	ベラルーシ語	1298	グリーンランド語	1509	ソマリ語
1059	ブルガリア語	1299	カンボジア語	1511	アルバニア語
1060	ビハーリー語	1300	カンナダ語	1512	セルビア語
1061	ビスマラ語	1301	韓国語	1513	シスワティ語
1066	ベンガル、パンガラ語	1305	カシミール語	1514	セストゥ語
1067	チベット語	1307	クルド語	1515	スンダ語
1070	ブルトン語	1311	キルギス語	1516	スウェーデン語
1079	カタロニア語	1313	ラテン語	1517	スワヒリ語
1093	コルシカ語	1326	リンガラ語	1521	タミール語
1097	チェコ語	1327	ラオス語	1525	テルグ語
1103	ウェールズ語	1332	リトニア語	1527	タジク語
1105	デンマーク語	1334	ラトビア、レット語	1528	タイ語
1109	ドイツ語	1345	マダガスカル語	1529	ティグリニヤ語
1130	ブータン語	1347	マオリ語	1531	トルクメン語
1142	ギリシャ語	1349	マケドニア語	1532	タガログ語
1144	英語	1350	マラヤーラム語	1534	セツワナ語
1145	エスペラント語	1352	モンゴル語	1535	トンガ語
1149	スペイン語	1353	モルダビア語	1538	トルコ語
1150	エストニア語	1356	マラータ語	1539	ツォンガ語
1151	バスク語	1357	マレー語	1540	タタール語
1157	ペルシャ語	1358	マルタ語	1543	トイ語
1165	フィンランド語	1363	ミャンマ語	1557	ウクライナ語
1166	フィジー語	1365	ナウル語	1564	ウルドゥー語
1171	フェロー語	1369	ネパール語	1572	ウズベク語
1174	フランス語	1376	オランダ語	1581	ベトナム語
1181	フリジア語	1379	ノルウェー語	1587	ボラビュク語
1183	アイルランド語	1393	プロバンス語	1613	ウォロフ語
1186	スコットランドゲール語	1403	(アファン) オロモ語	1632	コーサ語
1194	ガルシア語	1408	オリヤー語	1665	ヨルバ語
1196	グラニ語	1417	パンジャブ語	1684	中国語
1203	グジャラート語	1428	ポーランド語	1697	ズール語
1209	ハウサ語	1435	パシュトー語		
1217	ヒンディー語	1436	ポルトガル語		
1226	クロアチア語	1463	ケチュア語		
1229	ハンガリー語	1481	ラエティ=ロマン語		
1233	アルメニア語	1482	キルンディ語		
1235	国際語	1483	ルーマニア語		
1239	国際語	1489	ロシア語		
1245	Inupiak 語	1491	キニヤルワンダ語		

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートを登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。

自車位置測位の仕組み

■ GPS (Global Positioning System)

アメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。高度21 000 kmの宇宙にある3つ以上の人工衛星からの電波を受信し、三角測量の原理を利用して測位を行います。本機ではこのGPS衛星の電波を受信して自車の位置を測位します。

■ 現在地を測位するまでの時間

本機を最初にご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、自車の現在地を測位するまでに、5分程度かかります。また、通常は見晴らしの良い場所(GPS衛星の電波をさえぎる建物や樹木のない場所)で、2分程度で測位します。電源を入れてすぐに走行すると測位するまでの時間が長くなるため、見晴らしの良い場所で測位ができるまで停車していることをおすすめします。

■ GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- 樹木の間

■ 準天頂衛星「みちびき」

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) によって打ち上げられた、日本の準天頂衛星システムの初号機です。米国のGPS衛星に加え、日本の真上から電波を送る「みちびき」によって、受信の難しいビル街や山間部でも測位が可能になり、さらに測位の精度が向上します。

※ 現在、準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯が限られます。また、衛星側の都合により、精度が落ちたり・電波を利用できなくなることがあります。

■ マップマッチング

GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自車マークを表示させる機能です。



自車位置精度について

走行環境やGPS衛星の状態により、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- 高速道路と一般道路 が近くにある
- 畢盤目状の道路を走行している



- 角度の小さなY字路を走行している
- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自車マーク位置は自動的に補正されます。

下記の場合も、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- エンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき
- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- エンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき

ナビゲーションシステムとは

自車位置精度について(続き)

GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車マークがずれる場合があります。

■3Dセンサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。(高架判定)

●3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。

●高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 km程度の走行を要する場合があります。

●道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。(道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど)

●下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。(P.19)

- ・別の車に載せかえた
- ・取付位置を変更した

●3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。

(一部地域のみ)

ルート探索・ルート案内について

次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作ることがあります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。
- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることができます。
- 探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは違う場合があります。

電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報(ピンポイント情報)がないため、正確に検索できないことがあります。検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

■本機に登録されている個人名について

登録されている個人名は、公開電話番号の登録者名に基づいています。複数の読み方ができる「名字」については、実際とは異なる読みかたで登録されている場合があります。

例:「河内」という名字の場合、実際の読みが「こうち」でも、「かわち」や「かわうち」で登録されている場合があります。

名称・ジャンル・周辺施設検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号まで正確に検索できないことがあります。検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションでかんたんに目的地を設定できるようにするために開発した、日本全国のあらゆる場所を最大13桁の数字で表したものです。各種情報機器や各種情報メディアでかんたんに位置情報を伝達したり、住所や電話番号で表せない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。

<http://www.e-mapcode.com/>

ETC2.0(電波ビーコン5.8 GHz)について

電波ビーコン5.8 GHzを受信するには、別売のETC2.0車載器が必要です。

■電波ビーコン5.8 GHzの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を行っている場合に、高速道路の電波ビーコン5.8 GHzを受信してしまう場合があります。)
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ

お知らせ

●赤外線反射ガラスまたは電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコン5.8 GHzの受信ができないことがあります。

取り付けの際は販売店にご相談ください。

FM多重放送の受信について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- サービスエリア外

お知らせ

- 一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。(約3分)
- 車のエンジンをかけた(またはACCをONにした)あと、しばらくは情報が表示されません。

VICSについて

- VICSの車載機の動作、その他に関するもの
- VICSのサービスエリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。
(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター

受付時間 9:30～17:45
(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
電話番号 0570-00-8831

- 全国どこからでも市内通話料金でご利用になります。
- PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX番号 03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することができます。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1)VICSサービス：当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2)VICSサービス契約：当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
(3)加入者：当センターとVICSサービス契約を締結した者
(4)VICSデスクランプラー：FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。
(1)文字表示型サービス：文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2)簡易图形表示型サービス：簡易图形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3)地図重疊型サービス：車載機のモニタ上に情報を重疊表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランプラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランプラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対する加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行なうことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1)加入者がVICSデスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2)加入者の所有するVICSデスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することができます。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いをします。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することができます。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雜則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には、一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができないことがあります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表] 視聴料金 300円(税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

重要 !!

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「(株)ゼンリン」）間の「本機」（「機器」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

1. (株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器で使用する権利を許諾します。
2. (株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者（「メーカー」）の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)
 - (3) 本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段（コピープロテクション）が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
 - (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

警告



操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。

本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



運転者は、走行中に操作をしないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

運転中は、画面を注視しないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

地図ソフトについて

【収録情報について】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平26 情使、第244-B226号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。
(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平25 情使、第798-040号)
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。
(測量法第44条に基づく成果使用承認13-061・13-063)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報をを利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2015年11月のものを使用しています。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “ゼンリン”および“ZENRIN”は、株式会社ゼンリンの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2015年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2015年10月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
 - ◆3D交差点……………ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
 - ◆ジャンクションビュー……ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
 - ◆方面看板……………ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。(全国の主要交差点)
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2015年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるものです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ(2015年11月発行)をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。

- 2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東北・関東地方の被災地域においては、表示される地図が現地の状況と異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- VICSリンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会、公益財団法人日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
- ※ 本ソフトの収録エリアには2016年9月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については一般財団法人道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICSに関するお問い合わせ

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)

電話番号: 0570-00-8831

電話受付時間: 9:30 ~ 17:45 (土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX: 03-3562-1719 (24時間受付)

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。
(一部新規開通道路を除く)

- 道路 : 2015年12月(高速・有料道路) / 2015年10月(国道・都道府県道)
- 交通規制^{*1} : 2015年11月
- 電話番号検索 : 2015年11月
- ジャンル検索 : 2015年10月
- 市街地図 : 2015年7月
- 住所検索 : 2015年11月
- 郵便番号検索 : 2015年11月
- 高速・有料道路料金^{*2} : 2015年12月
- 個人宅電話番号検索 : 2015年8月

* 1: 交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

* 2: 料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。また新規開通道路のパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)の施設情報は表示されない場合があります。

【VICS レベル3 対応データ収録エリア】全国47都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2016年9月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については一般財団法人道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

2016年9月発行 製作／株式会社ゼンリン

© 2013 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2015 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2015 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2016 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

あ行

アーティスト	101
あかさたなタッチキー	52
アスペクト	122
頭出し	93, 95, 96, 97, 100, 111, 113, 116, 144
アドレス帳	134
アラーム	73
アルバム	101
アルバムアートワーク	116
アルバム編集	102
アングル	92
安心運転サポート情報	39, 69
案内音声項目設定	182
案内出力スピーカー	182
案内スタート	53
案内ストップ	53
案内図表示	33
案内表示項目設定	182
案内ルート	39
イコライザー	118
イコライザープリセット	118
一時停止	92, 97, 113, 116
位置修正	73
一般情報	74, 76
一般優先	59, 61
緯度・経度	38, 57
緯度・経度を表示	181
迂回	65
エラーコード	164
エコ運転状態表示	37
エコ機能	150
エコタッチキー	37
エリア	87, 89
エリア選局	75
応答保留	132
オーディオチューン	118
オーディオメニュー	24, 80
オート放送局サーチ	88
オープニング画面切換	21
お気に入り	101, 104
お気に入り地点	71
お気に入りフォルダ	104
おでかけキャン	87
おでかけナビサポートこいこい♪	141
おでかけモード	87
音の匠	119
おまかせ	59, 61
音楽ファイル	111, 112, 113
音声	92
音声案内	66
音声認識	145
音声録音	168
音量	18

か行

カード入れ忘れ案内	160
-----------	-----

さ行

サイド	178
サークル	93
細街路探索	61
再スキャン	87, 88
再生選択	105

再生モード	95, 96, 97, 100, 111, 116
再生リスト	113
再探索	68
残距離表示	39
市街地図	32
市街地図での冠水注意ポイント表示	181
市街地図での盗難多発地点表示案内	29
時間規制道路を考慮	181
自局番号	130
事故多発地点	36, 168
事故多発地点案内	43, 69
自車位置	15, 16, 211
自車マーク	36, 42
事象・規制マーク	77
自宅	22, 56
視聴制限レベル	94
自動応答保留	135
自動再探索	68, 181
自動選局	75
自動録音	98
字幕	92
シミュレーション	60
ジャケット写真	105
車種設定	20
車速パルス	19
車速パルス検出レベル	183
車速運動音量	118
シャッフル	116
車両信号情報	19
車両メンテナンス	154
ジャンクションビュー	35
ジャンル	54, 56, 101, 105, 213
ジャンルカスタマイズ	103
住所	55
渋滞・混雑区間	50
渋滞回避	42
渋滞情報	43, 50, 51, 75
周波数再編(リパック)	83
周波数設定	75
周辺施設	55, 213
縮尺表示	36
受信モード	87
常時録画	169
タイトルメニュー	92
タイトルリスト	92
ダイナミックレンジ圧縮	94
タイム	93
タイムスタンプ	50
ダイヤル	133
探索条件	42, 61, 68
地上D選局対象	88
地図SDHCメモリーカード	157
地図更新	156
地図情報を表示	180
地図色	42
地図色設定	180
地図表示型(レベル3)	74, 77
地図モード	180
地図モード画面	38

地点メニュー	49
地点を登録する	70
地点を編集する	72
着信音量	132, 135
着信拒否	132
着信履歴	133
昼夜切換	180
通話設定	135
通話中の着信拒否	135
停止	92
ディスク	91
出入口	52, 54, 57
データベース再探索	103, 106, 107
データ放送	85
デジタルTVメニュー	86
デバイスID表示	86
デバイスアドレス	130
デバイス名	130, 131
デュアルウィンドウ	47, 117, 181
デュアルウィンドウ中の案内割込み	182
テレビ	82
テレビ初期設定	82
電話する	73
電話に出る	132
電話番号	54, 72, 212
電話を切る	132
動画	113, 169
動画ファイル	111, 112, 113
動画情報表示	168
到着予想	181
到着予想時刻	39
盗難多発地点	36
盗難多発地点音声案内	29
盗難多発地点表示案内	29
道路切換	69
登録機器一覧	127, 128, 129, 130
登録地	56, 70
登録地詳細画面	72, 73
登録地編集	22, 70, 71, 72
登録地を表示	181
登録データの初期化	184
登録ルート	63
トーン信号	132
時計表示	181
トップ	177
トップメニュー	92
ドライブ診断	150
ドライブレコーダー	166
トラック編集	102
取付調整	168
トンネル出口案内	66, 182
な行	
ナビ設定	16, 160, 180, 181, 182, 183
ナビチューン	42
並び替え	73
入力履歴の初期化	184
燃費計算	151

ノースアップ	36, 46
ノーマル	177
は行	
パーキングブレーキアラーム	183
バージョンアップ	88
ハイウェイ入口案内	34
ハイウェイマップ	33
ハイウェイモード	47, 182
バスキー	131
パスワード変更	94
パノラマモニター	172, 178
バックモニター	172~177
発信履歴	133
早送り・早戻し	93, 95, 96, 97, 100, 111, 113, 116, 144
番組内容	84
番組表	84
ハンズフリー	126, 132
微調整	38, 44
標高地図	32, 180
フェリーを優先	181
フォルダ	70, 96, 111
フォルダ名編集	70, 104
吹き出し	36, 180
部分地図更新	156
踏切案内	43, 69
プリセット選局	75, 89
プリセットメモリー	89
プリセットモード	87
プレイリスト	92
分岐案内頻度	42
別ルート	59
ヘディングアップ	36, 46
方位マーク	36, 46
放送局一覧	87
方面看板	33, 182
ホームチャンネル	88
ホームモード	87
補助地図	34
本体情報	131
ま行	
マーク	72
マップコード	38, 57, 180, 213
マニュアル	88
右画面表示	47, 117
右画面に地図表示	180
右画面用地図設定	180
道幅優先	42
ミュート	18, 132
名称	54, 72
名称の文字サイズ	180
メイン画面用地図設定(1画面・左画面)	180
メニュークスタマイズ	26
メモ	72
目安線	174
メンテナンス情報	154

モーターアンテナ車	20
モード切換	111, 112, 113
目的地	58, 64
目的地方向直線表示	39
目的地マーク	39
目的地メニュー	25
文字サイズ	42
文字入力	200
文字表示型(レベル1)	74, 76
や行	
ユーザーカスタマイズ	23, 36
優先情報	74, 76
郵便番号	57, 82, 88
有料道路優先	42
有料優先	59, 61
曜日時間規制探索	61, 67
横付け探索	61
ら行	
ライト点灯案内	43, 69
ラジオ	89
ランダム	95, 96, 97, 100, 111
ランチャーメニュー	40
ランドマーク	37, 49
リアル3D表示	34, 182
リジューム	92
リダイヤル	133
立体ランドマーク	37
リバース	19, 173, 177, 178
リピート	95, 96, 97, 100, 111, 116
履歴	54
ルート	42, 53, 59, 64, 212
ルート学習	43
ルート学習結果の初期化	184
ルート削除	53
ルート情報	33, 47, 60
ルート情報の表示	182
ルートの全表示	59, 182
ルート編集	64
ルート保存	63
ローカルアップデート	106, 119
録音	99
録音データ初期化	109
わ行	
ワイド	177, 178
数字・アルファベット・記号	
1画面	47
2画面	47
3モードカメラ	177
3D	36, 46
3D視角調整	180
AAC	111
AUDIO OFF	81, 140
AUDIO ON	81
Audio画面中の案内割込み	182
Audio情報を表示	180
BLUETOOTH	126, 136, 209
BLUETOOTH Audio	97, 127, 129
CarAV remote	144
DISC EJECT	91
Drive P@ss	136, 140
DSP	119
DVD	92
eco	59, 61
ETC	158
ETC音声ガイド	160
ETC管理情報	159
ETCシステム	158
ETC情報	159
ETC履歴	159
ETCレーン案内	35
ETCレーンの表示	182
ETC2.0	74, 162, 213
ETC2.0アップリンク	161, 183
ETC2.0設定	183
EWS(緊急情報)の割込み	182
FADE/BALANCE	118
FM/AM	89
GPS受信状態	36
GPS情報	16
Gracenote	106, 107, 118, 208
HDMI	179
iPod	114
iPod抜き忘れ案内	29
JCTビューの表示	182
LAUNCHER	18, 38, 40, 47, 117
MAPCODEを表示	180
MEMORY MUSIC	100
MODE	80
MP3	96, 111
NaviCon®	141
OPEN	91, 110, 157
SA・PA入口案内	35
SDカード情報	109
SDカードの初期化	168, 184
SDメモリーカード	110
TEL	72
TILT	17
Title Finder	107, 108
TVの初期化	184
USBメモリー	110
VICS	74, 214
VICS案内	67, 182
VICS考慮	43, 62
VICS自動再探索	67, 181
VICS情報	50, 74
VICSマーク	50
VICS WIDE	36, 42
WMA	96, 111
+B電圧	19

商標などについて

- 本機はMicrosoft® Windows® Automotiveで動作します。
- Microsoft、Windows、Windows Automotive、Windows Media、およびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」、「ETC2.0」、「DSRC」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITSスポットは、国土交通省の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- SDHCロゴ、microSDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- “DVD Logo”は、DVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- MHLは、MHL、LLCの登録商標です。
- “ゼンリン”および“ZENRIN”は、株式会社ゼンリンの登録商標です。
- タウンページは、NTT 東日本およびNTT 西日本の商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- 「NaviCon」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi®およびMiracast®は、Wi-Fi® Allianceの商標または登録商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVCビデオ)記録すること。
 - ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。



- 「Made for iPod」「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod, iPhone 専用に接続するよう設計され、Appleが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
 - Appleは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
 - 本製品と iPod, iPhone を使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。
 - Apple, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
 - Lightning は、Apple Inc.の商標です。
 - iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- 本製品の取扱書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。
 - (1)パナソニック株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
 - (2)パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
 - (3)オープンソースソフトウェア

- 上記(3)に分類されるソフトウェアには、以下のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

• RSA Data Security's MD5 License

RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved. License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function. License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work. RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software. Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

• Independent JPEG Group's License

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

• Apache License 2.0

This software includes Google Protocol Buffers. You may obtain a copy of the License at "<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>". Please be noted that a portion of this software is made by changing or modifying original source files.

• OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)
Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。
<http://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>

仕様

	NSZN-X67D	NSZN-W67D
電源		
電源電圧	DC12 V(試験電圧 14.4 V)マイナスアース	
消費電流	2.5 A 以下 (AUDIO OFF時)	2.0 A 以下 (AUDIO OFF時)
液晶ディスプレイ		
画面寸法(幅×高さ×対角)	8V型ワイド 175 mm×105 mm×204 mm	7V型ワイド 157 mm×82 mm×177 mm
映像入力	RGB(ナビゲーション画面)	
画素数	1 152 000 画素(縦480×横800×3)	
有効画素数	99.99 %	
表示方式	透過型カラーフィルター方式	
駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリックス方式	
使用光源	内部光(LED)	
タッチパネル	静電方式	抵抗感圧式アナログタイプ (フィルム+ガラス)
アンプ		
定格出力	18 W×4	
最大出力	50 W×4	
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω(4~8 Ω 使用可能)	
接続端子		
カメラ入力レベル	映像: NTSC 1.0 Vp-p(75 Ω RCAピンジャック)	
ビデオ出力レベル	映像: NTSC 1.0 Vp-p(75 Ω RCAピンジャック)	
HDMI入力	・HDMI端子: 1系統(19ピン typeE端子) ・対応している映像信号: 720p, 1080i, 480p(16:9, 4:3) Field Rate: 59.94 Hz, 60 Hz ・対応している音声信号: リニアPCM (最大2 ch, サンプリング周波数32 kHz/44.1 kHz/48 kHz)	
ナビゲーションユニット		
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	203 mm×130 mm×178 mm (取付奥行き寸法165.5 mm)	206 mm×104 mm×176 mm (取付奥行き寸法161 mm)
質量	約2.6 kg	約2.3 kg
動作温度	−10 °C~+60 °C	

DVDプレーヤー			
信号方式		Y=1.0 Vp-p Cb=Cr=0.7 Vp-p(内部) NTSC方式 1.0 Vp-p(出力)	
周波数特性		DVD	5 Hz~22 kHz
		CD	5 Hz~20 kHz
信号対雑音比(SN比)			90 dB(IHF、A)
ワウ・フラッター			測定限界以下
MP3デコーダー	ビットレート	MPEG 1	64 kbps~320 kbps
		MPEG 2	64 kbps~160 kbps
	サンプリング	MPEG 1	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz
	周波数	MPEG 2	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz
FMチューナー			
受信周波数		76.0 MHz~99.0 MHz	
実用感度(SN比、30 dB)		15 dB μV以下	
SN比(入力54 dB μV)		50 dB以上	
ステレオ分離度(入力60 dB μV)		35 dB	
AMチューナー			
受信周波数		522 kHz~1 629 kHz	
実用感度(SN比、20 dB)		37 dB μV	
地上デジタルTVチューナー			
受信可能放送		地上デジタル放送(ワンセグ対応)	
受信周波数		470 MHz~710 MHz(13CH~52CH)	
入力信号レベル		−75 dBm~−20 dBm	
入力インピーダンス		50 Ω	
iPod/USB中継ケーブル接続端子			
通信方式		USB	
出力電圧		5 V 1 000 mA	
BLUETOOTH			
通信周波数		2 402 MHz~2 480 MHz	
RF出力		−4 dBm(0.4 mW)	
通信方式		周波数ホッピングスペクトラム拡散	

● 液晶ディスプレイのV型は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 尺寸・質量はおおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書(別に添付しています。)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店から受取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
万一、故障が発生したときは、保証書の内容にしたがって、お買い上げの販売店で修理させていただきます。おそれりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

2. 補修用性能部品の最低保有期間

このSDナビゲーションの補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。
アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

メモ

無償地図更新サービスのご案内

サービスのご提供方法を次のどちらか(ⒶまたはⒷ)1つ選択のうえ、お申し込みください。

**A Webダウンロード更新
(最大5年間利用可能)**

Web申込 のみ

お客様ご自身で地図データのダウンロード更新を最大5年間ご利用いただけます。

- 利用可能期間: 本製品の利用開始日から5年間(お申し込み日から5年間ではありません)
- データ提供期間: 2016年9月(予定)～2022年12月(予定)
 - ・部分地図更新: 最大5年間可能(道路データは2カ月毎更新、索引データは4カ月毎更新)
 - ・全地図更新: 期間中2回可能(地図の全データは年1回更新)

● お申込み方法

下記サイトよりダウンロードした地図更新アプリ経由で、ナビcafeにユーザー登録してください。
お申し込みが遅くなるとご利用いただける期間が短くなりますのでご注意ください。

<http://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>

● 登録受付期間

Webダウンロード更新の利用可能期間内(本製品利用開始日より5年間)

**B SDメモリーカードの送付
(2020年度版1回のみ)**

ハガキ申込 または Web申込

2020年度版地図データを格納したSDメモリーカードを、パナソニック株式会社から、ご登録済の住所へ郵送いたします。(発送時期: 2019年10月予定)

● お申込み方法

- 本製品に同梱されているハガキに必要事項を記入のうえ送付してください。
- ・必要事項がすべて記入されていなかったり、シリアルNo.ラベル(本書の入ったポリ袋に添付されています)が貼られていないと、本サービスを受けることができませんのでご注意ください。
 - ・Webサイトでのお申し込みも可能です。下記サイトよりダウンロードした地図更新アプリ経由で、ナビcafeにユーザー登録してください。

<http://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>

● 登録受付期間

ハガキ、Webとも2018年8月31日まで(ハガキは当日消印有効)

- ・登録受付期間を過ぎますと、本サービスを受けることができませんのでご注意ください。

■ ご注意

本サービスはⒶまたはⒷのどちらか1つしか選択できません。お申し込み後は変更できません。
重複してお申し込みされた場合は先に登録が完了したサービスを優先いたします。

その際お客様にはご連絡いたしませんのでご了承ください。

■ ご連絡先変更時のお願い

パナソニック株式会社 オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 お客様ご相談センター

0120-50-8729 ※携帯電話・PHSからもご利用になります。

上記電話番号がご利用できない場合

045-929-0511 ※ご利用の際の通話料金はお客様のご負担となります。

個人情報のお取り扱いについて

以下の「個人情報のお取り扱いについて」をご確認いただき、同意したうえでハガキを送付してください。
(必要事項記入欄の下にあるチェック欄にチェックしてください。)

- (1) 会社名および個人情報保護管理者
パナソニック株式会社 オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社
インフォテインメントシステム事業部 市販・用品ビジネスユニット長
- (2) 個人情報の利用目的
お客様の個人情報は無償地図更新サービス対応のみに利用させていただきます。またアンケートは今後の商品作りへ反映させるために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- (3) 個人情報の第三者提供について
委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
- (4) 個人情報の取扱いについて
取得した個人情報につきましては、地図データの発送業務およびダウンロードシステムへのユーザー登録業務において、委託する場合があります。
- (5) 開示対象個人情報の開示等および問い合わせ窓口について
ご本人からの求めにより、当社が保有する開示対象個人情報の、利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去および提供の停止(「開示等」といいます。)に応じます。開示等に応じる窓口は下記となります。
パナソニック株式会社 オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 お客様ご相談センター(電話番号につきましては、上記の「ご連絡先変更時のお願い」をご覧ください。)